

様式1

大学等名	常葉大学
プログラム名	常葉大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム

リテラシーレベルのプログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違しない

② 対象となる学部・学科名称

③ 修了要件

全学必修科目的「情報リテラシーI（前期1単位）」および「情報リテラシーII（後期1単位）」の2単位を履修し修得すること。

必要最低科目数・単位数 科目 単位 履修必須の有無 令和6年度以前より、履修することが必須のプログラムとして実施

④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
情報リテラシーI	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					

⑤「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
情報リテラシーI	1	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>					
情報リテラシーII	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					

⑥「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
情報リテラシーI	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					
情報リテラシーII	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					

⑦「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
情報リテラシーI	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					
情報リテラシーII	1	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
情報リテラシーⅡ	1	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容	
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	・ビッグデータ、IoT、AI、生成AI、ロボット「情報リテラシーⅠ」(5~6回目) ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会「情報リテラシーⅠ」(5~6回目) ・複数技術を組み合わせたAIサービス「情報リテラシーⅠ」(5~6回目) ・人間の知的活動とAIの関係性「情報リテラシーⅠ」(5~6回目) ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方「情報リテラシーⅠ」(5~6回目)
	1-6	・AI最新技術の活用例(生成AIなど)「情報リテラシーⅠ」(5~6回目) ・AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど)「情報リテラシーⅠ」(5~6回目)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	・調査データ、実験データ「情報リテラシーⅡ」(2~8回目) ・1次データ、2次データ、データのメタ化「情報リテラシーⅡ」(2~8回目)
	1-3	・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)「情報リテラシーⅠ」(5~6回目) ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど「情報リテラシーⅡ」(4回目、8回目、11~14回目) ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など「情報リテラシーⅡ」(4回目、8回目、11~14回目) ・対話、コンテンツ生成、翻訳・要約・執筆支援、コーディング支援など生成AIの応用「情報リテラシーⅠ」(5~6回目)
(3)様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	・データ解析:予測、グルーピング、パターン発見「情報リテラシーⅡ」(4回目) ・データ可視化:複合グラフ、2軸グラフ、関係性の可視化「情報リテラシーⅡ」(6回目、8回目) ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ「情報リテラシーⅠ」(5~6回目) ・マルチモーダル(言語、画像、音声など)、生成AIの活用(プロンプトエンジニアリング)「情報リテラシーⅠ」(5~6回目)
	1-5	・データサイエンスのサイクル(データの取得・管理・加工、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案)「情報リテラシーⅡ」(4回目、8回目、11~14回目) ・ビジネス、教育、芸術、流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用、事例紹介「情報リテラシーⅠ」(5~6回目)

(4) 活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上で留意事項への理解をする	3-1 <ul style="list-style-type: none"> ・倫理的・法的・社会的課題①情報リテラシーⅠ」(11回目) ・個人情報保護、忘れる権利「情報リテラシーⅠ」(11回目) ・データ倫理: データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護「情報リテラシーⅠ」(12回目、14回目) ・AI社会原則(公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)「情報リテラシーⅠ」(12回目) ・データバイアス「情報リテラシーⅠ」(14回目) ・AIサービスの責任論「情報リテラシーⅠ」(5~6回目) ・データガバナンス「情報リテラシーⅠ」(14回目) ・データ・AI活用における負の事例紹介「情報リテラシーⅠ」(5~6回目) ・生成AIの留意事項(ハルシネーションによる誤情報の生成、偽情報や有害コンテンツの生成・氾濫など)「情報リテラシーⅠ」(5~6回目)
	3-2 <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティの3要素「情報リテラシーⅠ」(12回目) ・匿名加工情報、暗号化と復号、ユーザ認証とパスワード、アクセス制御、悪意ある情報搾取・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介・サイバーセキュリティ「情報リテラシーⅠ」(12~14回目)、「情報リテラシーⅡ」(第14回)
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1 <ul style="list-style-type: none"> ・データの種類(量的変数、質的変数)「情報リテラシーⅡ」(1~2回目) ・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)「情報リテラシーⅡ」(2~4回目) ・代表値の性質の違い「情報リテラシーⅡ」(2~4回目) ・データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)、外れ値「情報リテラシーⅡ」(2~4回目) ・相関と因果(相関係数、擬似相関、交絡)「情報リテラシーⅡ」(2~4回目) ・観測データに含まれる誤差の扱い「情報リテラシーⅡ」(2~4回目) ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列「情報リテラシーⅡ」(2~4回目)
	2-2 <ul style="list-style-type: none"> ・データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ、箱ひげ図)「情報リテラシーⅡ」(5~8回目) ・データの比較「情報リテラシーⅡ」(5~8回目) ・データの図表表現(チャート化)「情報リテラシーⅡ」(6回目、8回目、14回目) ・相手に的確かつ正確に情報を伝える技術や考え方(スライド作成、プレゼンテーションなど)「情報リテラシーⅡ」(9~14回目)
	2-3 <ul style="list-style-type: none"> ・データの取得「情報リテラシーⅡ」(2~4回目) ・データの集計(和、平均)「情報リテラシーⅡ」(2~4回目) ・データの並び替え、ランキング「情報リテラシーⅡ」(2~4回目) ・表形式のデータ(csv)「情報リテラシーⅡ」(2~4回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

ICTを利活用した課題解決のための基礎的素養と、数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な理解力を修得すること

リテラシーレベルのプログラムの履修者数等の実績について

①プログラム開設年度

令和6 年度(和暦)

②大学等全体の男女別学生数

男性 3774 人 女性 3624 人 (合計 7398 人)

(令和6年5月1日時点)

③履修者・修了者の実績

学部・学科名称	学生数	入学定員	収容定員	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度		履修者数合計	履修率
				履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数		
教育学部	1,360	330	1,200	411	399											411	34%
外国語学部	618	220	780	167	156											167	21%
経営学部	1,475	345	1,290	446	420											446	35%
社会環境学部	451	120	440	122	87											122	28%
保育学部	621	160	640	150	147											150	23%
造形学部	382	100	400	101	98											101	25%
法学部	606	200	720	137	118											137	19%
健康科学部	586	140	560	160	156											160	29%
健康プロデュース学部	1,003	300	1,200	234	228											234	20%
保健医療学部	296	80	320	65	62											65	20%
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
合計	7,398	1,995	7,550	1,993	1,871	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,993	26%

大学等名 常葉大学

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① 全学の教員数 (常勤) 314 人 (非常勤) 419 人

② プログラムの授業を教えている教員数 31 人

③ プログラムの運営責任者

(責任者名) 安藤 雅之 (役職名) 副学長・委員長

④ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)

常葉大学 教養教育運営委員会

(責任者名) 安藤 雅之 (役職名) 副学長・委員長

⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

常葉大学 教養教育運営委員会規程

⑥ 体制の目的

本プログラムは、常葉大学の教養教育科目において必修科目として学生に提供されている。教養教育科目のプログラムの自己点検・評価についての責任は、教養教育運営委員会規程のもと、同委員会が実施する。次に、本プログラムの所掌についても、教養教育運営委員会が責任をもって教育プログラムの自己点検・評価の責任を持つ。さらに、数理・データサイエンス・AI教育の専門性の観点から、本教育プログラムの改善・進化については、教養教育運営委員会で検討することに加えて、文部科学省事業「大学の数理及びデータサイエンス教育の全国展開」の協力校として採択を受けた国立大学法人静岡大学大学教育センターと契約を交わし、密に情報の交換を行いながら学生に対して質を保証した当該授業の提供を行っている。

⑦ 具体的な構成員

教養教育運営委員会

- ・運営委員長 副学長（教学実施推進） 安藤 雅之
- ・副運営委員長 教務部長 笛木 茂雄
- ・副運営委員長 教務部課長 栗田 真典
- ・運営委員（外国語関係） 英米語学科長 新妻 明子
- ・運営委員（情報関係） WG（数理・データサイエンス・AI）長 出口 憲
- ・運営委員（体育関係） 教育学部 木宮 敬信
- ・運営委員（キャリア関係） キャリアサポートセンター長 土村 宜明
- ・運営委員（その他の科目） 副教務部長（静岡水落） 千葉 のり子
- ・運営委員（その他の科目） 副教務部長（静岡草薙・静岡瀬名） 鈴木 和正
- ・運営委員（その他の科目） 副教務部長（浜松） 池谷 昌枝
- ・運営委員（時間割関係） 草薙教務課主任 中村 紗衣
- ・運営委員（時間割関係） 水落教務課主任 杉本 智美
- ・運営委員（時間割関係） 浜松教務課 塩崎 稜

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画 ※様式1の「履修必須の有無」で「計画がある」としている場合は詳細について記載すること

令和6年度実績	26%	令和7年度予定	50%	令和8年度予定	75%
令和9年度予定	100%	令和10年度予定	100%	収容定員(名)	7,550

具体的な計画

各年度（5年間）の履修者数の実績、および目標は以下の通り。

- ・令和6年度 1,993名（令和6年度履修者実績）
- ・令和7年度 1,962名（令和7年度入学者数）
- ・令和8年度 1,995名（令和8年度入学定員数、予定）
- ・令和9年度 1,995名（令和9年度入学定員数、予定）
- ・令和10年度 1,995名（令和10年度入学定員数、予定）

目標を実現するために、プログラムを構成する授業科目に1年次全学必修科目の「情報リテラシーI」と「情報リテラシーII」を設定し、学生のプログラム履修を促進している。したがって、各年度の履修者数予定については入学者ベースとなる。必修科目のため、基礎教育センターにおける当該授業のサポートや、授業内外での質問対応の受付、静岡大学と契約して関連する動画の視聴機会を設けるなど、大学生の学修サポート体制についての取組みを行っている。

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

本プログラムは、全学生が1年次の必修科目として履修する科目であり、学部・学科に関わらず全員が受講できる体制と取組を行っている。また、静岡大学大学教育センターと契約して関連する動画の視聴機会を設けるなど、大学生の学修サポート体制についての取組を行っている。

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

本教育プログラムは、全学生が1年次の必修科目として履修する科目であり、学部・学科に関わらず全員が履修できる体制と取組を行っている。前期と後期に実施されるガイダンスにおいて履修についての周知徹底を図り、ポータルサイトやMicrosoft365（全学生が利用可能）により、当該授業に関連する情報の配信や教材等を閲覧できるような取組を行う。

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

本学の基礎教育センターでの指導や学生ピアサポートなどの体制を整備し、学生が当該プログラムを修得できるような体制を整えている。また、静岡大学大学教育センターと契約を結び、同大学が制作した数理・データサイエンス・AIに関する動画を視聴できるサポート体制を構築し、当該授業に関する理解・修得を目指す。

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

本学では週2コマのオフィスアワーをすべての教員が設定し、授業時間外の学習指導や質問を受け付ける仕組みを構築している。また、基礎教育センターでの指導や学生ピアサポートの体制も整備している。

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)

常葉大学 教養教育運営委員会

(責任者名) 安藤 雅之

(役職名) 副学長・委員長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	受講生のプログラムの履修・修得状況については、教養教育委員会が履修データ、成績分布などを用いた分析と点検を実施し、問題点を抽出・把握、および改善案を策定し、実行する。当該授業は全学必修科目のため、履修状況については考慮する必要は発生しないが、修得状況（単位取得状況）については、同委員会において状況を把握し、定期的に各学部に状況を報告し、学生の単位取得につなげる。
学修成果	本教育プログラムの学修成果を把握する仕組みとして、当該授業の単位取得の状況および成績評価の分布を本学使用のポータルサイトシステムを用いて取得する。また、学生アンケートを実施し、どのような学修が行われたかをアンケート調査を用いて定量的・定性的に分析するためのデータを得る。これらのデータについては、教養教育委員会および数理・データサイエンス・AIワーキンググループを中心に分析を行い、プログラムの学修成果を評価する。令和6年度の修得率はそれぞれ96.6%及び94.3%であり、シラバスに記載の到達目標は概ね達成しているといえる。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	受講者対象の学生アンケート（5段階評価）において、「情報リテラシーで扱われる内容は全体として理解できましたか」は平均4.01、「数理（Excel等による統計処理（合計・平均を求めるなど）に関する内容を理解できましたか」は3.87、「データサイエンス（コンピュータを用いた情報処理、Excel等によるデータのグラフ化や視覚化）に関する内容を理解できましたか」は平均3.83、「AIの活用に関する内容を理解できましたか」は平均3.76という結果が示されたことから、当該授業に関する内容は概ね理解されたと考えられる。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推薦度	学生アンケートにより「後輩等他の学生に情報リテラシーの履修を推奨したいと思いますか。（5段階評価）」の設問を確認したところ、評価の平均値は4.09が示されたことから、後輩等他の学生へ当該授業を推薦したい考えがあることが示された。

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	全学的な履修者数と履修率向上に関して、情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡは1年次の開講科目として必修科目であり、文系理系問わずすべての学部・学科の学生が履修するため、履修率は100%である。今後の計画として、教養教育運営委員会において定期的に授業内容について見直し等を検討し、当該授業の改善と向上を図っていく。
学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	令和6年度に1年生対象の科目として開講したため履修者が卒業しておらず、現時点での詳細な評価はできないが、定期的に全学的な卒業生調査を実施しており、数理・データサイエンス・AI教育プログラム開始後と開始前を比較することで、本教育プログラムの評価を行う。また、学生の就職先、地域・企業・公共団体等への調査も全学的に実施し、本プログラムを修了した卒業生の採用状況、企業評価を把握している。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	本学では毎年度、商工会及び企業等の有識者を構成員に含む外部の委員が教育等に関する評価及び検証を行う「外部評価委員会」を実施している。令和5年度に実施した外部評価委員会では、本学の教育改革の一つとして「全学教育科目」の再構築及び「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」への申請も含めたデータサイエンス教育の充実についての取組みを報告し意見を求め、県内の当該教育の充実化を図った。今後も継続してデータサイエンスに関わる定期的な意見収集を行い、教育プログラムの改善に活用する予定である。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	当該教育プログラムでは、理系の学生はもとより文系の学生においても数理データサイエンスAIを学ぶために必要かつ興味を持つようなシラバスを策定し、授業を実践している。また静岡大学大学教育センターの協力を得て、当該授業に関連する動画を配信し、履修生は視聴できる環境にある。この動画では、数理データサイエンスAIの必要性など学生への期待を説明しているとともに、授業の全般において数理データサイエンスの実際の最先端事例を紹介し、学ぶ楽しさとその意義について理解できる動画となっている。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること ※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載	当該授業に関する授業アンケートの分析結果や、昨今の数理データサイエンスAIの社会的背景を参考に新たな教育内容の導入を検討するとともに、既存の教育内容についての見直しも検討する。また学部での専門教育との連携を行っていくために、学部教員と連携を図りながら本学の教養教育委員会を中心にシラバスチェックなどの点検を行い、4年間の学びを踏まえた教育活動を行う体制を整えている。

講義名	情報リテラシーI【教(学)】(草薙)	担当教員	山根 悠介						
期間・曜日・時限	前期 月曜日 3時限	配当年次	1年	単位数	1単位				
授業の概要		授業の目的							
本科目は、学部や学科、専攻に関わらず日々の学生生活を営む中で、日常や専門科目、さらには卒業後の知識基盤社会のあらゆる分野で共通して必要とされる数理・データサイエンス・AIの基本的な理解、ICTを利活用した課題解決のための基礎的素養を身につけることを目指す。特に、「情報機器とOSの基本操作に関するスキル・知識」「情報を収集し判断するためのスキル・知識（社会で起きている変化、社会で活用されている情報（データ）の種類、そしてデータ・AIの活用領域、情報（データ）を読むなどを含む）」「情報（データ）を表現・発信するためのスキル・知識としてのワープロソフトの利活用」「コミュニケーションスキルとしてのメールの利活用」「情報倫理（データ・AIを扱う上での留意事項、情報（データ）を守る上での留意事項などを含む）」について、課題解決型の実践演習を通して学修する。		本科目の目的は、受講生がICTを利活用した課題解決のための基礎的素養と数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な理解力を身につけることである。この目的の達成を図るべく、以下の到達目標を定める。							
授業の到達目標		卒業認定・学位授与の方針との関連性							
<ul style="list-style-type: none"> ・ファイル及びフォルダを効率的に管理することができる ・多様な情報源を駆使して課題解決に資する情報を収集・判断することができる ・データ・AIの活用により、社会でどのような変化が起きているか説明できる ・ワープロソフトを用いて的確かつ効果的な情報の発信・表現をることができる ・メールの基本操作（送受信、転送、CC、BCC、添付ファイル）を行うことができる ・著作権、個人情報について説明することができる ・適切に文献等を引用することができる ・データ・AIを活用する上での留意事項を説明できる ・ネットワーク上での自己防衛の方法について説明することができる 		全学共通科目のDP1とDP5に該当する。							
授業の計画と内容									
第1回 ガイダンス、情報の収集及びコミュニケーションのためのICT活用									
「情報機器とOSの基本操作」									
第2回 ファイルおよびフォルダの効率的な管理									
「メールを利活用したコミュニケーション」									
第3回 メールの送信と受信／（実践演習）メールによるコミュニケーション実践									
「情報を収集し判断する」									
第4回 検索エンジンを用いた情報の収集／（実践演習）多様な情報源を駆使した情報の収集									
「AIの活用事例」									
第5回 データ・AIの活用事例と社会で起きている変化									
第6回 （実践演習）AIの活用事例に関する調査（グループ学習を含む）									
「ワープロソフトを利活用して情報（データ）を表現・発信する」									
第7回 フォントの設定、ページの設定									
第8回 画像・図形・ワードアートの挿入と編集、罫線の挿入と設定									
第9回 表の作成と編集、印刷									
第10回 （実践演習）ワープロソフトによる情報の発信と表現									
「情報倫理」									
第11回 著作権（財産権）、著作者人格権、個人情報とは、適切な文献等の引用、肖像の利用									
第12回 ネットワーク社会での自己防衛、AI活用上の留意事項・情報（データ）を守る上での留意事項（授業外学修を含む）									
第13回 （実践演習）チケットに配慮したメールの作成、適切な文献等引用をふまえた文章作成									
第14回 確かな情報倫理に基づく情報の収集・判断・表現・発信に関する総合演習（AI利活用の留意事項に関するグループ学習を含む）									
第15回 まとめ、総合演習の発表と評価・講評（AI利活用についての発表を含む）									
定期試験									
教科書名①	30時間アカデミック 情報リテラシー Office2021	杉本くみ子、大澤栄子	実教出版	2022					
教科書名②	2024 事例でわかる情報モラル&セキュリティ	実教出版編修部	実教出版	2024					
教科書名③									
教科書名④									
教科書名⑤									
教科書名⑥									
参考書名①	ビジネス現場で使えるAI&データサイエンスの全知識	三好大吾	インプレス	2022					
参考書名②	できるWord 2021 Office2021 & Microsoft 365両対応	田中亘・できるシリーズ編集部	インプレスブックス	2022					
参考書名③									
成績評価の方法		成績評価の基準		フィードバックの方法					
学期末に行う定期試験（70%）と平常課題（レポートや演習課題の提出状況等、30%）により評価する。		メールとワード、検索エンジンを使った情報収集に関する実技課題を正確に行うことができたかどうか、またパソコンとネットワーク、情報倫理、AIとデータサイエンスに関する知識を正しく理解できたかどうかを評価基準とする。		提出されたワークシートや実技課題に対して、返却時にコメントを入力又は授業時に捕捉説明する。					
授業時間外学修		実務経験のある教員の授業内容		その他					
授業内容の復習と応用のための実技課題（60分）を行うこと。パソコンの操作の修得にとって大切なことは、とにかくたくさん触って慣れることである。授業の中だけでパソコンに触るのではなく、例えばサークル活動等の授業以外の活動における資料作成などに本授業で学習したスキルや知識を積極的に使うことをすすめる。わからない点はその都度担当教員に質問すること。									

講義名	情報リテラシーⅡ【教（学）】（草薙）	担当教員	山根 悠介						
期間・曜日・時限	後期 月曜日 3時限	配当年次	1年	単位数	1単位				
授業の概要		授業の目的							
本科目は、学部や学科、専攻に関わらず日々の学生生活を営む中で、日常や専門科目、さらに卒業後の知識基盤社会のあらゆる分野で共通して必要とされるICTを利活用した課題解決のための基礎的素養を、「情報リテラシーⅠ」で学修した事項をベースにしながら身につけることを目指す。特に、数理・データサイエンスに関する内容として、「データを分析するためのスキル・知識としてのエクセルの利活用（データ・AI利活用のための技術、データを説明する、データを扱うを含む）」「データを表現・発信するためのスキル・知識としてのパワーポイントの利活用（データを説明する、データを扱うを含む）」について、課題解決型の実践演習を通して学修する。		本科目の目的は、受講生がICTを利活用した課題解決のための基礎的素養と数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な理解力を身につけることである。この目的の達成を図るべく、以下の到達目標を定める。							
授業の到達目標		卒業認定・学位授与の方針との関連性							
<ul style="list-style-type: none"> 表計算ソフトを用いて正確かつ効率的にデータ分析を行い、その結果をグラフ及び表を用いてデータを説明し、分析結果を的確に示すことができる 与えられたテーマについてスライドを作成し、決められた時間の中で、データを分析・可視化したグラフ等を用いながら、論理的かつ説得力のあるプレゼンテーションを行うことができる 		全学共通科目のDP1とDP5に該当する。							
授業の計画と内容									
第1回 ガイダンス、情報の分析と発信のためのICT活用									
<p>「エクセルを利活用してデータを分析する」</p> <p>第2回 データ活用のための技術：数式入力による計算、数式のコピーを用いた計算、絶対参照と相対参照を用いたデータ及び計算式のコピー</p> <p>第3回 データを説明する・データを扱う：基本的なエクセル関数（SUM、AVERAGE、MAX、MINなどの初步的統計関数）の利用</p> <p>第4回（実践演習）エクセルによるデータの的確な分析</p>									
<p>「エクセルを利活用してデータの分析結果を表現する」</p> <p>第5回 データを扱う：データの並べかえ、罫線の入力と設定、表の行列の高さと幅の調整</p> <p>第6回 データを説明する・データを扱う：グラフの作成、グラフの設定と編集、目的に合わせたグラフ作成について</p> <p>第7回 データを説明する・データを扱う：セルの設定と編集、データの表現方法</p> <p>第8回（実践演習）エクセルによるデータの分析結果の表現</p>									
<p>「パワーポイントを利活用してデータを表現・発信する」</p> <p>第9回 データ活用のための技術：新しいスライドの作成、スライドの追加・削除・複製、スライドのレイアウトとデザインの設定</p> <p>第10回 データを説明する・データを扱う：図やグラフのレイアウトの設定、プレゼンテーションの実行と操作</p> <p>第11回（実践演習）プレゼンテーション実演：（事前説明を含む）</p> <p>第12回（実践演習）プレゼンテーション実演</p> <p>第13回（実践演習）プレゼンテーション実演（評価・講評を含む）</p> <p>第14回 エクセルとパワーポイントを利活用した情報の分析・表現・発信に関する総合演習</p>									
第15回 まとめ、総合演習の発表と評価・講評									
定期試験									
教科書名①	30時間アカデミック 情報リテラシー Office2021	杉本くみ子、大澤栄子	実教出版	2022					
教科書名②	2024 事例でわかる情報モラル&セキュリティ	実教出版編修部	実教出版	2024					
教科書名③									
教科書名④									
教科書名⑤									
教科書名⑥									
参考書名①	できるExcel関数 Office 2021/2019/2016&Microsoft 365対応	尾崎 裕子・できるシリーズ編集部	インプレス	2022					
参考書名②	ビジネスの現場で使えるAI&データサイエンスの全知識	三好大吾	インプレス	2022					
参考書名③									
成績評価の方法		成績評価の基準		フィードバックの方法					
学期末に行う定期試験（70%）と平常課題（レポートや演習課題の提出状況等、30%）により評価する。		エクセル及びデータサイエンスに関する実技課題を正確に行うことができたかどうか、またパワーポイントを効果的に使用してプレゼンテーションを行うことができたかどうかを評価基準とする。		提出された実技課題に対してコメントを入力する。また、プレゼンテーションに対してアドバイスを行う。					
授業時間外学修		実務経験のある教員の授業内容		その他					
授業内容の復習と応用のための実技課題（60分）を行うこと。また、プレゼンテーションのためのパワーポイント資料を作成すること（180分）。パソコンの操作の修得にとって大切なことは、とにかくたくさん触って慣れることである。授業の中だけでパソコンに触るのではなく、例えばサークル活動等の授業以外の活動における資料作成などに本授業で学習したスキルや知識を積極的に使うことをすすめる。わからない点はその都度担当教員に質問すること。									

令和 6 年度に実施した授業のシラバスに関する資料について

常葉大学は年度ごとの全てのシラバスをホームページにより一般公開しており、当該授業について電子シラバス上で、令和 6 年度（2024 年度）に実施したことが確認できます。

ホームページで公開されているシラバス（前回の申請時に提出したシラバスと同様の内容です）を追加資料として提出いたします。以下のホームページと合わせてご確認ください。

- 常葉大学の電子シラバスのページを開き、「講義から検索」をクリックします。

<https://www.tokoha-u.ac.jp/campuslife/support/syllabus/>



- 【年度】を令和 6 年度にあたる「2024」を選択し、続いて【講義名称】と【担当教員】をそれぞれ入力します。

● 年度	2024 年度
● キャンパス	--未選択--
● カリキュラム	--未選択--
● 分野系列	--未選択-- (分野系列を指定する場合は、カリキュラムの選択が必要です。)
● 対象学年	--未選択-- (対象学年を指定する場合は、カリキュラムの選択が必要です。)
● 講義名称	情報リテラシー
● 担当教員	山根 悠介

- 令和 6 年度に実施した情報リテラシー I と情報リテラシー II のシラバスを確認できます。

No	講義コード	講義名	開講期間 曜日・時限	担当教員
1	100A12404	情報リテラシー I【法】(草履)	前期 月曜日 1時限	山根 悠介
2	100A12413	情報リテラシー I【教(学)】(草履)		
3	100A12438	情報リテラシー I【教(生)】(草履)		
4	100A12426	情報リテラシー I【外(英)】(草履)	前期 小曜日 3時限	山根 悠介
5	100A12504	情報リテラシー II【法】(草履)	後期 月曜日 1時限	山根 悠介
6	100A12513	情報リテラシー II【教(学)】(草履)		
7	100A12538	情報リテラシー II【教(生)】(草履)		

シラバス参照

全開講対象学科	2022年度 初等教育課程
担当教員	山根 悠介
分野系列	全学共通科目
講義名	情報リテラシー I【教(学)】(草薙)
単位数	1
選択・必修	必修
形態	
配当年次	1年
期間・曜日・時限・教室	前期 月曜日 3時限

授業の概要	本科目は、学部や学科、専攻に関わらず日々の学生生活を営む中で、日常や専門科目、さらには卒業後の知識基盤社会のあらゆる分野で共通して必要とされる数理・データサイエンス・AIの基本的な理解、ICTを利活用した課題解決のための基礎的素養を身につけることを目指す。特に、「情報機器とOSの基本操作に関するスキル・知識」「情報を収集し判断するためのスキル・知識(社会で起きている変化、社会で活用されている情報(データ)の種類、そしてデータ・AIの活用領域、情報(データ)を読むなどを含む)」「情報(データ)を表現・発信するためのスキル・知識としてのワープロソフトの利活用」「コミュニケーションスキルとしてのメールの利活用」「情報倫理(データ・AIを扱う上での留意事項、情報(データ)を守る上での留意事項などを含む)」について、課題解決型の実践演習を通して学修する。							
授業の目的	本科目の目的は、受講生がICTを利活用した課題解決のための基礎的素養と数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な理解力を身につけることである。この目的の達成を図るべく、以下の到達目標を定める。							
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> □ ファイル及びフォルダを効率的に管理することができる □ 多様な情報源を駆使して課題解決に資する情報を収集・判断することができる □ データ・AIの活用により、社会でどのような変化が起きているか説明できる □ ワープロソフトを用いて的確かつ効果的な情報の発信・表現をることができる □ メールの基本操作(送受信、転送、CC、BCC、添付ファイル)を行うことができる □ 著作権・個人情報について説明することができる □ 適切に文献等を引用することができる □ データ・AIを活用する上での留意事項を説明できる □ ネットワーク上の自己防衛の方法について説明することができる 							
卒業認定・学位授与の方針との関連性	全学共通科目のDP1とDP5に該当する。							
授業の計画と内容	<p>第1回 ガイダンス、情報の収集及びコミュニケーションのためのICT活用 「情報機器とOSの基本操作」 第2回 ファイルおよびフォルダの効率的な管理 「メールを利活用したコミュニケーション」 第3回 メールの送信と受信／(実践演習)メールによるコミュニケーション実践 「情報を収集し判断する」 第4回 検索エンジンを用いた情報の収集／(実践演習)多様な情報源を駆使した情報の収集 「AIの活用事例」 第5回 データ・AIの活用事例と社会で起きている変化 第6回 (実践演習)AIの活用事例に関する調査(グループ学習を含む) 「ワープロソフトを利活用して情報(データ)を表現・発信する」 第7回 フォントの設定、ページの設定 第8回 画像・図形・ワードアートの挿入と編集、罫線の挿入と設定 第9回 表の作成と編集、印刷 第10回 (実践演習)ワープロソフトによる情報の発信と表現 「情報倫理」 第11回 著作権(財産権)、著作者人格権、個人情報とは、適切な文献等の引用、肖像の利用 第12回 ネットワーク社会での自己防衛、AI活用上の留意事項・情報(データ)を守る上での留意事項(授業外学修を含む) 第13回 (実践演習)ネチケットに配慮したメールの作成、適切な文献等引用をふんだえた文章作成 第14回 確かな情報倫理に基づく情報の収集・判断・表現・発信に関する総合演習(AI利活用の留意事項に関するグループ学習を含む) 第15回 まとめ、総合演習の発表と評価・講評(AI利活用についての発表を含む) 定期試験</p>							
教科書	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>金額(参考)</th> <th>ISBN</th> </tr> </thead> </table>	番号	書籍名	著者	出版社	出版年	金額(参考)	ISBN
番号	書籍名	著者	出版社	出版年	金額(参考)	ISBN		

	1. 30時間アカデミック 情報リテラシー Office2021 2. 2024 事例でわかる情報モラル&セキュリティ	杉本くみ子、大澤栄子 実教出版編修部	実教出版 2022 2024	1,430円 510円	9784407359435 9784407363661
参考書・参考資料	番号 1. ビジネス現場で使えるAI&データサイエンスの全知識 2. できるWord 2021 Office2021 & Microsoft 365 両対応	書籍名 三好大吾 田中亘・できるシリーズ編集部	著者 インプレス	出版社 2022	出版年 1,980円+税 9784295013631
成績評価の方法	学期末に行う定期試験(70%)と平常課題(レポートや演習課題の提出状況等、30%)により評価する。				
成績評価の基準	メールとワード、検索エンジンを使った情報収集に関する実技課題を正確に行うことができたかどうか、またパソコンとネットワーク、情報倫理、AIとデータサイエンスに関する知識を正しく理解できたかどうかを評価基準とする。				
フィードバックの方法	提出されたワークシートや実技課題に対して、返却時にコメントを入力又は授業時に捕捉説明する。				
授業時間外学修	授業内容の復習と応用のための実技課題(60分)を行うこと。パソコンの操作の修得にとって大切なことは、とにかくたくさん触って慣れることである。授業の中だけでパソコンに触るのではなく、例えばサークル活動等の授業以外の活動における資料作成などに本授業で学習したスキルや知識を積極的に使うことをすすめる。わからない点はその都度担当教員に質問すること。				
実務経験のある教員の授業内容					
その他					
更新日付	2024/03/11 11:00				

シラバス参照

全開講対象学科	2022年度 初等教育課程
担当教員	山根 悠介
分野系列	全学共通科目
講義名	情報リテラシーⅡ【教(学)】(草薙)
単位数	1
選択・必修	必修
形態	
配当年次	1年
期間・曜日・時限・教室	後期 月曜日 3時限

授業の概要	本科目は、学部や学科、専攻に関わらず日々の学生生活を営む中で、日常や専門科目、さらに卒業後の知識基盤社会のあらゆる分野で共通して必要とされるICTを利活用した課題解決のための基礎的素養を、「情報リテラシーⅠ」で学修した事項をベースにしながら身につけることを目指す。特に、数理・データサイエンスに関わる内容として、「データを分析するためのスキル・知識としてのエクセルの利活用(データ・AI利活用のための技術、データを説明する、データを扱うを含む)」「データを表現・発信するためのスキル・知識としてのパワーポイントの利活用(データを説明する、データを扱うを含む)」について、課題解決型の実践演習を通して学修する。																					
授業の目的	本科目の目的は、受講生がICTを利活用した課題解決のための基礎的素養と数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な理解力を身につけることである。この目的の達成を図るべく、以下の到達目標を定める。																					
授業の到達目標	・表計算ソフトを用いて正確かつ効率的にデータ分析を行い、その結果をグラフ及び表を用いてデータを説明し、分析結果を的確に示すことができる ・与えられたテーマについてスライドを作成し、決められた時間の中で、データを分析・可視化したグラフ等を用いながら、論理的かつ説得力のあるプレゼンテーションを行うことができる																					
卒業認定・学位授与の方針との関連性	全学共通科目のDP1とDP5に該当する。																					
授業の計画と内容	<p>第1回 ガイダンス、情報の分析と発信のためのICT活用 「エクセルを利活用してデータを分析する」 第2回 データ活用のための技術：数式入力による計算、数式のコピーを用いた計算、絶対参照と相対参照を用いたデータ及び計算式のコピー 第3回 データを説明する・データを扱う：基本的なエクセル関数(SUM、AVERAGE、MAX、MINなどの初步的統計関数)の利用 第4回 (実践演習)エクセルによるデータの的確な分析</p> <p>「エクセルを利活用してデータの分析結果を表現する」 第5回 データを扱う：データの並べかえ、転置の入力と設定、表の行列の高さと幅の調整 第6回 データを説明する・データを扱う：グラフの作成、グラフの設定と編集、目的に合わせたグラフ作成について 第7回 データを説明する・データを扱う：セルの設定と編集、データの表現方法 第8回 (実践演習)エクセルによるデータの分析結果の表現</p> <p>「パワーポイントを利活用してデータを表現・発信する」 第9回 データ活用のための技術：新しいスライドの作成、スライドの追加・削除・複製、スライドのレイアウトとデザインの設定 第10回 データを説明する・データを扱う：図やグラフのレイアウトの設定、プレゼンテーションの実行と操作 第11回 (実践演習)プレゼンテーション実演：(事前説明を含む) 第12回 (実践演習)プレゼンテーション実演 第13回 (実践演習)プレゼンテーション実演(評価・講評を含む) 第14回 エクセルとパワーポイントを利活用した情報の分析・表現・発信に関する総合演習</p> <p>第15回 まとめ、総合演習の発表と評価・講評 定期試験</p>																					
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>金額(参考)</th> <th>ISBN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>30時間アカデミック 情報リテラシー Office2021</td> <td>杉本くみ子、大澤栄子</td> <td>実教出版</td> <td>2022</td> <td>1,430円</td> <td>9784407359435</td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>2024 事例でわかる情報モラル&セキュリティー</td> <td>実教出版編修部</td> <td>実教出版</td> <td>2024</td> <td>510円</td> <td>9784407363661</td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者	出版社	出版年	金額(参考)	ISBN	1.	30時間アカデミック 情報リテラシー Office2021	杉本くみ子、大澤栄子	実教出版	2022	1,430円	9784407359435	2.	2024 事例でわかる情報モラル&セキュリティー	実教出版編修部	実教出版	2024	510円	9784407363661
番号	書籍名	著者	出版社	出版年	金額(参考)	ISBN																
1.	30時間アカデミック 情報リテラシー Office2021	杉本くみ子、大澤栄子	実教出版	2022	1,430円	9784407359435																
2.	2024 事例でわかる情報モラル&セキュリティー	実教出版編修部	実教出版	2024	510円	9784407363661																
参考書・参考資料	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>金額(参考)</th> <th>ISBN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者	出版社	出版年	金額(参考)	ISBN														
番号	書籍名	著者	出版社	出版年	金額(参考)	ISBN																

	1. できるExcel関数 Office 2021/2019/2016&Microsoft 365対応 2. ビジネスの現場で使えるAI&データサイエンスの全知識	尾崎 裕子・できるシリーズ 編集部 三好大吾	インプレス インプレス	2022 2022	1,580円+税 1,980円	9784295015079 9784295013631
成績評価の方法	学期末に行う定期試験(70%)と平常課題(レポートや演習課題の提出状況等、30%)により評価する。					
成績評価の基準	エクセル及びデータサイエンスに関する実技課題を正確に行うことができたかどうか、またパワーポイントを効果的に使用してプレゼンテーションを行うことができたかどうかを評価基準とする。					
フィードバックの方法	提出された実技課題に対してコメントを入力する。また、プレゼンテーションに対してアドバイスを行う。					
授業時間外学修	授業内容の復習と応用のための実技課題(60分)を行うこと。また、プレゼンテーションのためのパワーポイント資料を作成すること(180分)。パソコンの操作の修得にとって大切なことは、とにかくたくさん触って慣れることである。授業の中だけでパソコンに触るのではなく、例えばサークル活動等の授業以外の活動における資料作成などに本授業で学習したスキルや知識を積極的に使うことをすすめる。わからない点はその都度担当教員に質問すること。					
実務経験のある教員の授業内容						
その他						
更新日付	2024/03/11 11:03					

2024年度 教育学部 学校教育課程 カリキュラムマップ ナンバリングコード

<◎：大いに該当する ○：該当する △：一部該当する>

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
全 学 共 通 科 目	教養セミナー	FZTE000010S1	◎	○	○	○	◎
	人間力セミナー	FZTE000010S1	○	◎	○	○	◎
	キャリア開発論 I	FZTE090200S1	◎	○	○	○	◎
	キャリア開発論 II	FZTE090200S1	○	◎	○	○	◎
	文学	FZTE020000L1	◎	◎	○		
	哲学	FZTE010000L1	◎	◎	○		
	歴史学	FZTE030000L1	◎	◎	○		
	芸術学	FZTE010000L1	○	◎	○		
	国際文化論	FZTE060000L1	◎	◎	○		
	心理学	FZTE100000L1	◎	◎	○		
	法学（日本国憲法を含む）	FZTE050000L1	◎	◎	○		
	社会学	FZTE080000L1	◎	◎	○		
	教育学	FZTE090000L1	◎	◎	○		
	政治学	FZTE060000L1	◎	◎	○		
	経済学	FZTE070000L1	◎	◎	○		
	数学	FZTE110000L1	◎	◎	○		
	物理学	FZTE130000L1	◎	◎	○		
	化学	FZTE320000L1	◎	◎	○		
	生物学	FZTE450000L1	◎	◎	○		
	環境科学論	FZSE170000L1	◎	◎	○		
	情報科学	FZTE600000L1	◎	◎	○		
	体育講義	FZTE590000L1	◎	◎	○		
	英語コミュニケーション I	FZTE021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーション II	FZTE021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーション III	FZTE021000S2	◎			○	◎
	英語コミュニケーション IV	FZTE021000S2	◎			○	◎
学 科 部 目 共 通	情報リテラシー I	FZTE090700S1	◎			○	◎
	情報リテラシー II	FZTE090700S1	◎			○	◎
	体育実技A	FZTE590000P1	◎			○	◎
	体育実技B	FZTE590000P1	◎			○	◎
	ドイツ語 I a	FZTE021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語 I b	FZTE021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語 II a	FZTE021000S2	◎			○	◎
	ドイツ語 II b	FZTE021000S2	◎			○	◎
	フランス語 I a	FZTE021000S1	◎			○	◎
	フランス語 I b	FZTE021000S1	◎			○	◎
	フランス語 II a	FZTE021000S2	◎			○	◎
	フランス語 II b	FZTE021000S2	◎			○	◎
学 科 部 目 共 通	中国語 I a	FZTE021000S1	◎			○	◎
	中国語 I b	FZTE021000S1	◎			○	◎
	中国語 II a	FZTE021000S2	◎			○	◎
	中国語 II b	FZTE021000S2	◎			○	◎
	職業・企業研究 I	FZTE070011L2	○		○	○	
学 科 部 目 共 通	職業・企業研究 II	FZTE070011P2		○	○		○
	キャリアプランニング I	FZTE090201L3	○	○	○		
	キャリアプランニング II	FZTE090201L3	○	○	○		

区分		授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
				1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
課程共通科目 (初等)	教科に関する専門的事項	国語 I A	FETE090404S1	◎		○	△	
		国語 I B	FETE090404S1	◎		○	△	
		国語 II	FETE090404L3	◎	△			◎
		社会 I A	FETE090404S1	◎				
		社会 I B	FETE090404S1	◎				
		社会 II	FETE090404L3	◎				
		算数 I A	FETE090404S1	◎	○			
		算数 I B	FETE090404S1		◎			○
		算数 II	FETE090404L3	○				◎
		理科 I A	FETE090404S1	◎	○			
		理科 I B	FETE090404S1	◎	○			
		理科 II	FETE090404L3	◎		△		○
		音楽 I A	FETE090404S1	◎				
		音楽 I B	FETE090404S1	◎	△			
		音楽 II	FETE090404L3	△	◎			○
		生活 I	FETE090404S2	△		○		◎
		生活 II	FETE090404L3	◎	△			○
		図画工作 I	FETE090404S1	◎				◎
		図画工作 II	FETE090404L3	◎				◎
		家庭 I	FETE090404S2	◎	◎		○	
		家庭 II	FETE090404L3	◎	◎		○	
		体育 I	FETE090404S2	◎				◎
		体育 II	FETE090404L3	◎				
		英語 I	FETE090404S2	◎	○			◎
		英語 II	FETE090404L4	◎	○			◎
専門教育科目	教科の指導法	国語科教育法	FETE090404L2	◎	○			◎
		社会科教育法	FETE090404L2	○		△		◎
		算数科教育法	FETE090404L2	○	◎			
		理科教育法	FETE090404L3	◎			△	○
		音楽科教育法	FETE090404L2	◎	○			◎
		生活科教育法	FETE090404L3	◎	○	△		
		図画工作科教育法	FETE090404L2	◎	○			◎
		家庭科教育法	FETE090404L3	◎	◎	○		
		体育科教育法	FETE090404L2	◎	◎	○		
		英語科教育法	FETE090404L3	◎	○			◎
専門教育科目 (中等)	特別研究		FETE090404T4		◎	◎	◎	
	国語学	国語学概論	FETE020707L1	◎	○	△		
		国語学演習 I A	FETE020707S2	○	◎		△	
		国語学演習 I B	FETE020707S3	○	◎		△	
		国語学演習 II A	FETE020707S4	○	◎		△	
		国語学演習 II B	FETE020707S4	○	◎		△	
		音声表現論	FETE020607L3	○	◎		△	
	文章表現論		FETE020607L2	○			△	◎
	国語専攻科目 (中等)	国文学概論 I	FETE020107L1	◎	○			△
		国文学概論 II	FETE020107L2	◎		○		
		古典文学講読	FETE020107L2	○	◎			△
		古典文学演習 A	FETE020107S3		△		○	◎
		古典文学演習 B	FETE020107S3		○	△		◎
		現代文学講読 A	FETE020107L2	○		○		◎
		現代文学講読 B	FETE020107L3	◎	○			
		現代文学演習 A	FETE020107S4	○	○			
		現代文学演習 B	FETE020107S4	○	○			
		国文学特論	FETE020107L4	○	△			○
社会専攻科目 (中等)	漢文学	漢文学概論	FETE020207L2	◎	○	○		
		漢文学講読 A	FETE020207L2	◎	○			△
		漢文学講読 B	FETE020207L3	◎	○			△
		漢文学演習 A	FETE020207S3	◎	○			△
		漢文学演習 B	FETE020207S4	◎	○			△
	書道	書道・書写 A	FETE020607S2	◎	○			◎
		書道・書写 B	FETE020607S2	◎	○			◎
	教導科法の指	国語科教育 I	FETE090407L3	◎	○			
		国語科教育 II	FETE090407L3	◎	○	○	△	○
		国語科教育 III	FETE090407L4	◎	○			○
		国語科教育 IV	FETE090407L4	◎			○	◎
日本史	日本史	日本史概論 A	FETE030207L2	◎	○	△		
		日本史概論 B	FETE030207L2	◎	○	△		
		日本史演習 A	FETE030207S3	△		○		◎
		日本史演習 B	FETE030207S3	△		○		◎
		日本史特論 A	FETE030207L4		○		○	
		日本史特論 B	FETE030207L4		○		○	
		民俗学概論	FETE040307L2				○	◎

区分		授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
社会専攻科目(中等)	外国史	西洋史概論	FETE030407L1	◎	○			△
		東洋史概論	FETE030307L2	◎	○			△
		世界史演習A	FETE030107S2		○	◎		△
		世界史演習B	FETE030107S2		◎	○		△
		世界史特論A	FETE030107L4			◎	△	○
		世界史特論B	FETE030107L4	◎			△	○
	び人 自然地理 地理学及 地理学	地理学概論	FETE040107L2	◎	○			△
		地理学演習A	FETE040107S3	○	◎			△
		地理学演習B	FETE040107S3	○	◎			△
		地理学特論	FETE040107L4	◎	○			△
	地誌	地誌概論	FETE040107L1	◎	○		△	
		地誌演習A	FETE040107S2	◎	○			△
		地誌演習B	FETE040107S2	◎	○			△
	政学・法律	法律学概論	FETE050107L3	◎			○	
		法律学演習	FETE050107S4	◎	◎		○	
		政治学概論	FETE060107L3	◎	◎		△	
	哲学・社会 経済	社会学概論	FETE080107L2	◎	○	◎		
		経済学概論	FETE070107L2	○	○	○		
		哲学概論	FETE010107L3		○	○		
	学哲・学 宗・教 倫 学理	哲学演習	FETE010107S3		○	○		
		倫理学概論	FETE010107L2		○	○		△
		宗教学概論	FETE010307L3	○	○	△		
	教科の指導法	社会科教育I	FETE090407L3	○		△		○
		社会科教育II	FETE090407L3	◎	○			△
		社会科教育III	FETE090407L4	○	○			△
		社会科教育IV	FETE090407L4			○	△	○
		地理歴史科教育I	FETE090407L3	◎			△	○
		地理歴史科教育II	FETE090407L3	○	△			○
専門教育科目	数学専攻科目(中等)	代数学序論	FETE110107L2	◎	○	△		
		代数学I	FETE110107S2	◎	○			△
		代数学II	FETE110107S3	◎	○			△
		代数学III	FETE110107S3	◎	○			△
		代数学特論A	FETE110107L4	○	○			△
		代数学特論B	FETE110107L4	○	○			△
	幾何学	幾何学序論	FETE110207L2	◎	○			
		幾何学I	FETE110207S2	○	○			
		幾何学II	FETE110207S3		○	◎		
		幾何学III	FETE110207S3		○	△	○	
		幾何学特論A	FETE110207L4		○	○	△	
		幾何学特論B	FETE110207L4		△	○	○	
	解析学	解析学序論	FETE120107L1	◎			○	
		解析学I	FETE120107S2	◎			○	
		解析学II	FETE120107S2	◎		△	○	
		解析学III	FETE120107S3	◎			○	
		解析学特論A	FETE120107L3	○		○	△	
		解析学特論B	FETE120107L4	○		○	△	
	確率論・統計学	確率論・統計学序論	FETE120407L2	◎	○	△		
		確率論・統計学I	FETE120407S2	◎	○			△
		確率論・統計学II	FETE120407S3	○	○			△
		確率論・統計学特論	FETE120407L3	○	○			△
		コンピュータ基礎	FETE600107L1	○	○			△
		プログラミング演習	FETE600507S3	○	○			△
	教科の指導法	数学科教育I	FETE090407L3	◎	○			△
		数学科教育II	FETE090407L3	◎	○			△
		数学科教育III	FETE090407L4	○		△		○
		数学科教育IV	FETE090407L4	○	△			○
		物理学概論	FETE130107L2	◎	○			
		物理学I	FETE130107L2	◎	○			
	理科専攻科目(中等)	物理学II	FETE130107L3		○	○		
		物理学III	FETE130107L4			○	○	
		物理学演習	FETE130107S4			○		○
		物理学実験	FETE130107E2		○			○
		化学概論	FETE320107L1	◎	○			
		化学I	FETE320107L2	◎	○			
	化学	化学II	FETE320107L3	○	○			
		化学III	FETE320107L4	○	○	△		
		化学演習	FETE320107S2	○	△			○
		化学実験	FETE320107E3		○		△	○
		生物学概論	FETE450207L1	◎	○	△		
	生物学	生物学I	FETE450207L2	◎	○	△		
		生物学II	FETE450207L2	◎	○	△		
		生物学III	FETE450207L3	◎	○	△		
		生物学演習	FETE450207S4	△	○	○	◎	

区分		授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
				1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
理科専攻科目(中等)	地学	生物学実験	FETE450207E3	○	○	△		
		地学概論	FETE170407L2	○	○	△		
		地学 I	FETE170407L2	○	○	△		
		地学 II	FETE170107L3	○	○	△		
		地学 III	FETE170207L3	○	○	△		
	地学実験	地学演習	FETE170407S4	○	○			△
		地学実験	FETE170407E3	△	○			○
		理科教育 I	FETE090407L3	○	○			△
		理科教育 II	FETE090407L3	△	○			○
		理科教育 III	FETE090407L4		○	△		○
		理科教育 IV	FETE090407L4		△	○		○
専門教育科目	音楽専攻科目(中等)	ソルフェージュ	FETE010707S1	○	○			△
		キーボードハーモニー	FETE010707S2	○		○		△
		合唱	FETE010707S2	○	○			△
		基礎声楽演習	FETE010707S2	○	○			△
		声楽演奏法	FETE010707S2	○	○			△
	声楽	声楽演奏法演習	FETE010707S3		○	○		△
		声楽表現法	FETE010707S3		△	○		○
		声楽研究	FETE010707S4			△	○	○
		伴奏法	FETE010707S3		○	○		△
		基礎器楽演習	FETE010707S2	○	○			△
	器楽	器楽演奏法	FETE010707S2	○	○			△
		器楽演奏法演習	FETE010707S3		○	○		△
		器楽表現法	FETE010707S3		△	○		○
		器楽研究	FETE010707S4			△	○	○
		教育楽器演奏論	FETE010707L2	○		○		△
	指揮法	民族・和楽器演奏論	FETE010707L3	○		○		△
		管弦打楽器演奏論	FETE010707L3	○		○		△
		指揮法	FETE010707S3	△	○			○
		音楽理論	FETE010507L1	○	○			
		楽式論	FETE010507L2	○	○	△		
	その他	楽曲分析	FETE010507L3	△	○	○		
		作曲・編曲法	FETE010707S3	△		○	○	
		民族・日本音楽概説	FETE010507L3	○		○		△
		西洋音楽史	FETE010507L3	○	△	○		
		音楽総合演習	FETE010707S4		△		○	○
教職科目	教育の基礎的目理解に	音楽科教育 I	FETE090407L3	○	○			○
		音楽科教育 II	FETE090407L3	○	○			○
		音楽科教育 III	FETE090407L4	○		○		○
		音楽科教育 IV	FETE090407L4	○		○		○
		教職概論	FETE090108L1		○	○	○	
	びの道徳、時間、指導法等に総合的、指的、教育法相習する科目	教育原理	FETE090108L1	○	○	○		
		教育史	FETE090108L3	○		○		
		教育心理学	FETE100208L1	○	○			
		発達心理学	FETE100208L2			○	○	○
		教育制度論	FETE090108L1	○	○	○		
	教育実践科目に関する実践	教育経営論	FETE090208L4	○	○	○		
		特別支援教育論	FETE090608L2	○	○	○		
		教育課程論	FETE090108L1	○	○			
		道徳教育の理論と方法	FETE090408L2	○		○		
		総合的な学習の時間の指導法	FETE090408L2			○	○	
	教職実践科目に関する実践	特別活動の理論と方法	FETE090408L2	○	○	○		
		教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む）	FETE090708L2	○		○		
		生徒指導・進路指導論	FETE090408L2	○		○		○
		教育相談	FETE090408L2			○	○	○
		初等教育実習指導	FETE090408S2			○	○	○
		中等教育実習指導	FETE090408S3			○	○	○
		初等教育実習 I	FETE090408P2	○	○	○		
		初等教育実習 II	FETE090408P3			○	○	○
		中等教育実習 I	FETE090408P4			○	○	○
		中等教育実習 II	FETE090408P4			○	○	○
		教職実践演習	FETE090408S4			○	○	○

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
教職科目	授業実践演習	FETE090408S1	◎	◎			
	学校教育研究法	FETE090408S1		◎	◎		
	学校教育観察法	FETE090408S2	◎	◎	○		
	教材開発演習	FETE090408S3	◎		◎		◎
	地域の伝統・文化	FETE090408L2			◎	○	△
	地域教育課題研究	FETE090408S3		◎			◎
	教育のための統計	FETE090708S2	◎				◎
	野外教育活動	FETE090408P2				◎	◎
	学校経営と学校図書館	FETE900208L3	◎				○
	学校図書館メディアの構成	FETE900208L2	○				
	学習指導と学校図書館	FETE090408L3		○			◎
	読書と豊かな人間性	FETE090408L2		○			◎
	情報メディアの活用	FETE900208L1	○				
特別支援教育に関する科目	特別支援教育の基礎理論に関する科目	特別支援教育総論	FETE090608L1	◎		◎	◎
	特別支援教育科目領域	知的障害児の心理	FETE090608L2	◎	◎	○	
		知的障害児の生理・病理	FETE090608L2	◎	◎	○	
		肢体不自由児の心理・生理・病理	FETE090608L3	◎	○	○	△
		病弱児の心理・生理・病理	FETE090608L3	◎	○	○	△
		知的障害児の教育Ⅰ	FETE090608L2	◎	○	○	△
		知的障害児の教育Ⅱ	FETE090608L3	△	◎	△	◎
	の育特別する領域別域支科目に以援開外教	肢体不自由児の教育	FETE090608L3	◎	○	○	
		病弱児の教育	FETE090608L3	◎	○	○	○
		視覚障害児教育総論	FETE090608L4	◎		○	○
		聴覚障害児教育総論	FETE090608L4	◎	○	○	○
		重複障害児教育総論	FETE090608L3	◎	○	○	△
特別支援教育科目に関する	LD児等教育総論	FETE090608L3	◎	○	○	○	○
	特別支援学校教育実習事前事後指導	FETE090608S4			○	◎	◎
	特別支援学校教育実習	FETE090608P4			○	◎	◎
	その他	発達支援アセスメント演習	FETE090608S3	◎	◎		◎
		発達障害児指導法	FETE090608S3	◎		△	◎
		特別支援教育コーディネーター論	FETE090608L3	◎	○		△
		特別支援教育事例演習	FETE090608S4	○	○	△	

2024年度 教育学部 生涯学習学科 カリキュラムマップ ナンバリングコード

<◎：大いに該当する ○：該当する △：一部該当する>

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
全 学 共 通 科 目	教養セミナー	FZLL000010S1	◎	○	○	○	◎
	人間力セミナー	FZLL000010S1	○	◎	○	○	◎
	キャリア開発論 I	FZLL090200L1	◎	○	○	○	◎
	キャリア開発論 II	FZLL090200L2	○	◎	○	○	◎
	文学	FZLL020000L1	◎	◎	○		
	哲学	FZLL010000L1	◎	◎	○		
	歴史学	FZLL030000L1	◎	◎	○		
	芸術学	FZLL010000L1	◎	◎	○		
	国際文化論	FZLL060000L1	◎	◎	○		
	心理学	FZLL100000L1	◎	◎	○		
	法学（日本国憲法を含む）	FZLL050000L1	◎	◎	○		
	社会学	FZLL080000L1	◎	◎	○		
	教育学	FZLL090000L1	◎	◎	○		
	政治学	FZLL060000L1	◎	◎	○		
	経済学	FZLL070000L1	◎	◎	○		
	数学	FZLL110000L1	◎	◎	○		
	物理学	FZLL130000L1	◎	◎	○		
	化学	FZLL320000L1	◎	◎	○		
	生物学	FZLL450000L1	◎	◎	○		
	環境科学論	FZSE170000L1	◎	◎	○		
	情報科学	FZLL600000L1	◎	◎	○		
	体育講義	FZLL590000L1	◎	◎	○		
	英語コミュニケーション I	FZLL021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーション II	FZLL021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーション III	FZLL021000S2	◎			○	◎
	英語コミュニケーション IV	FZLL021000S2	◎			○	◎
学 科 部 目 共 通	情報リテラシー I	FZLL090700S1	◎			○	◎
	情報リテラシー II	FZLL090700S1	◎			○	◎
	体育実技A	FZLL590000P1	◎			○	◎
	体育実技B	FZLL590000P1	◎			○	◎
	ドイツ語 I a	FZLL021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語 I b	FZLL021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語 II a	FZLL021000S2	◎			○	◎
	ドイツ語 II b	FZLL021000S2	◎			○	◎
	フランス語 I a	FZLL021000S1	◎			○	◎
	フランス語 I b	FZLL021000S1	◎			○	◎
	フランス語 II a	FZLL021000S2	◎			○	◎
	フランス語 II b	FZLL021000S2	◎			○	◎
	中国語 I a	FZLL021000S1	◎			○	◎
	中国語 I b	FZLL021000S1	◎			○	◎
	中国語 II a	FZLL021000S2	◎			○	◎
	中国語 II b	FZLL021000S2	◎			○	◎

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
学科共通科目	生涯学習概論Ⅰ	FELL090104L1	○		○		
	生涯学習概論Ⅱ	FELL100204L2	○		○		
	生涯発達心理学	FELL100204L2	○			○	
	相談心理学(カウンセリング)	FELL100304L4	○			○	
	行動科学	FELL100104L4	○	○			
	教育行政基礎	FELL090204L1	○	○			
	社会教育経営概論	FELL090104L1	○	○	○		
	社会教育経営特講	FELL090104L2	○	○	○		
	生涯学習支援概論	FELL090104L2	○	○	○		
	生涯学習支援特講	FELL090104L2	○	○	○		
	生涯学習施設経営	FELL090104L3	○		○		
	図書館概論	FELL900204L1	○				
	博物館概論	FELL030704L1	○		○		
	生涯学習体系論	FELL090104L2	○	○	○		
	生涯学習と学校教育	FELL090104L4	○	○	○		
	生涯学習と社会教育	FELL090104L4		○			
	生涯学習と家庭教育	FELL090104L4	○				
	男女共同参画社会論	FELL800304L1		○	○	○	
	人権教育	FELL080204L1	○		○		
	共生教育論	FELL080204L2	○	○			
	スポーツ・健康科学	FELL590204L4	○		○	○	
	情報機器の操作(応用)Ⅰ	FELL600004S2					○
	情報機器の操作(応用)Ⅱ	FELL600004S3					○
	博物館情報・メディア論	FELL030704L4	○				○
専門教育科目	調査・統計法	FELL080104L3	○	○			
	社会教育実習Ⅰ	FELL090104P1			○	○	○
	社会教育実習Ⅱ	FELL090104P2			○	○	○
	社会教育経営研究	FELL090104S2		○		○	○
	生涯学習支援研究	FELL090104S3		○		○	○
	職業・キャリア教育	FELL090204L3	○	○			
	生涯学習特別研究	FELL090104S4	○	○	○	○	○
	青少年教育	FELL090107L2	○		○		
	成人教育	FELL090107L3	○	○			
	ボランティア活動	FELL080207L2	○	○			
生涯学習専攻科目	ボランティア活動実習	FELL080207P3			○	○	○
	文化活動論	FELL010707L1		○	○		
	図書館制度・経営論	FELL900207L4	○				
	図書館情報技術論	FELL900207L1	○	○			
	図書館サービス概論	FELL900207L2	○				
	情報サービス論	FELL900207L2	○				
	児童サービス論	FELL900207L3	○				
	情報サービス演習(前)	FELL900207S3					○
	情報サービス演習(後)	FELL900207S3					○
	図書館情報資源概論	FELL900207L2	○				
	情報資源組織論	FELL900207L2	○				
	情報資源組織演習(前)	FELL900207S3					○
	情報資源組織演習(後)	FELL900207S3					○
	図書館基礎特論	FELL900207L4		○	○		
	図書館サービス特論	FELL900207L3	○				○
	図書館情報資源特論	FELL900207L3	○				
	図書・図書館史	FELL900207L4	○		○		
	図書館施設論	FELL900207L4	○		○		
	図書館総合演習	FELL900207S3			○		
	図書館実習Ⅰ	FELL900207P4	○			○	○
	図書館実習Ⅱ	FELL900207P4				○	○
	博物館経営論	FELL030707L2	○		○		
	博物館資料論	FELL030707L2	○		○		
	博物館資料保存論	FELL030707L4	○		○		
	博物館展示論	FELL030707L3	○		○		
	博物館教育論	FELL030707L2	○		○		
	美術指導演習A	FELL010707S3			○		
	美術指導演習B	FELL010707S3			○		○
	博物館実習	FELL030707P3		○		○	○

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
専門教育科目 生涯スポーツ専攻科目	生涯スポーツ概論 I	FELL590207L2			○	○	
	生涯スポーツ概論 II	FELL590207L2	○		○		
	レクリエーション援助論	FELL590307L2	○		○		
	レクリエーション援助実習A	FELL590307P2				○	○
	レクリエーション援助実習B	FELL590307P2				○	○
	野外活動論	FELL590307L2				○	○
	野外活動実習	FELL590307P2				○	○
	福祉スポーツ論	FELL590207L3				○	○
	福祉スポーツ実習	FELL590207P3			○		○
	スポーツビジネス論	FELL590207L3		○	○		
	救急法	FELL590407S3	○				○
	器械運動	FELL590307P2		○		◎	○
	陸上競技	FELL590307P2	○	○			○
	水泳	FELL590307P1			○		○
	球技G型1	FELL590307P2			○	○	○
	球技G型2	FELL590307P3				○	○
	球技N型	FELL590307P4			○	○	○
	球技B型・体つくり運動	FELL590307P1	○		○		
	武道(柔道・剣道)	FELL590307P1	○				○
	ダンス	FELL590307P3	○		○		
	スキー	FELL590307P2			○		○
	体育原理	FELL590307L1	○	○	○		
	体育心理学	FELL590207L2	○	○		○	○
	体育経営管理学	FELL590207L3	○		○		
	体育社会学	FELL590207L3			○	○	
	体育史	FELL590307L1	○	○			
	運動学	FELL590207L2	○	○			
	生理学	FELL480207L2	○	○			
	衛生学及び公衆衛生学	FELL580207L3	○	○			
	学校保健	FELL090407L1	○	○			
	生涯スポーツ実習	FELL590207P1	○				○
設定学 する る 科 自 に	野外教育活動	FELL590308P2				○	○
	学校経営と学校図書館	FELL900208L3		○			◎
	学校図書館メディアの構成	FELL900208L2	○				
	学習指導と学校図書館	FELL900208L3	○				○
	読書と豊かな人間性	FELL900208L2		○			○
	情報メディアの活用	FELL900208L1	○				
教職 科目	教職概論	FELL090108L1	◎	○	○		
	教育学概論	FELL090108L1	○	○	◎		
	学校と教育の歴史	FELL090108L3	○		○		
	教育心理学	FELL100208L1	○	◎			
	学習・発達論	FELL100208L1			○	○	○
	教育制度論	FELL090108L2	○	○	○		
	教育経営論	FELL090408L3	○	○	○		
	特別支援教育	FELL090608L3	○	○	○		
	教育課程編成論	FELL090408L1	○	○			
	保健体育科教育I	FELL090408L3	○	○			
	保健体育科教育II	FELL090408L3	○	○			○
	保健体育科教育III	FELL090408L4	○			○	○
	保健体育科教育IV	FELL090408L4		○			○
	道徳教育指導論	FELL090408L2	○		○		
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	FELL090408L4	○	○	○	○	○
	教育方法・技術論	FELL090708L3	○		○		
	生徒・進路指導論	FELL090208L3	○		◎		◎
	教育相談の基礎	FELL100308L4			○	○	○
	中等教育実習指導	FELL090408S3	△	△	○	◎	◎
	中等教育実習A	FELL090408P4	△	△	○	◎	◎
	中等教育実習B	FELL090408P4	△	△	○	◎	◎
	教職実践演習(中・高)	FELL090408S4	○	○	○	○	○

2024年度 教育学部 心理教育学科 カリキュラムマップ ナンバリングコード

<◎：大いに該当する ○：該当する △：一部該当する>

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
全 学 共 通 科 目	教養セミナー	FZIS000010S1	◎	○	○	○	◎
	人間力セミナー	FZIS000010S1	○	◎	○	○	◎
	キャリア開発論 I	FZIS090200L1	◎	○	○	○	◎
	キャリア開発論 II	FZIS090200L2	○	◎	○	○	◎
	文学	FZIS020000L1	◎	◎	○		
	哲学	FZIS010000L1	◎	◎	○		
	歴史学	FZIS030000L1	◎	◎	○		
	芸術学	FZIS010000L1	◎	◎	○		
	国際文化論	FZIS060000L1	◎	◎	○		
	心理学	FZIS100000L1	◎	◎	○		
	法学（日本国憲法を含む）	FZIS050000L1	◎	◎	○		
	社会学	FZIS080000L1	◎	◎	○		
	教育学	FZIS090000L1	◎	◎	○		
	政治学	FZIS060000L1	◎	◎	○		
	経済学	FZIS070000L1	◎	◎	○		
	数学	FZIS110000L1	◎	◎	○		
	物理学	FZIS130000L1	◎	◎	○		
	化学	FZIS320000L1	◎	◎	○		
	生物学	FZIS450000L1	◎	◎	○		
	環境科学論	FZIS170000L1	◎	◎	○		
	情報科学	FZIS600000L1	◎	◎	○		
	体育講義	FZIS590000L1	◎	◎	○		
	英語コミュニケーション I	FZIS021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーション II	FZIS021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーション III	FZIS021000S2	◎			○	◎
	英語コミュニケーション IV	FZIS021000S2	◎			○	◎
学 科 部 目 共 通	情報リテラシー I	FZIS090700S1	◎			○	◎
	情報リテラシー II	FZIS090700S1	◎			○	◎
	体育実技A	FZIS590000P1	◎			○	◎
	体育実技B	FZIS590000P1	◎			○	◎
	ドイツ語 I a	FZIS021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語 I b	FZIS021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語 II a	FZIS021000S2	◎			○	◎
	ドイツ語 II b	FZIS021000S2	◎			○	◎
	フランス語 I a	FZIS021000S1	◎			○	◎
	フランス語 I b	FZIS021000S1	◎			○	◎
	フランス語 II a	FZIS021000S2	◎			○	◎
	フランス語 II b	FZIS021000S2	◎			○	◎
	中国語 I a	FZIS021000S1	◎			○	◎
	中国語 I b	FZIS021000S1	◎			○	◎
	中国語 II a	FZIS021000S2	◎			○	◎
	中国語 II b	FZIS021000S2	◎			○	◎

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
基幹科目	心理学基礎実験Ⅰ	FEPE100505P2	△	○			◎
	心理学基礎実験Ⅱ	FEPE100505P2	△	○			◎
	心理学研究法Ⅰ	FEPE100505L2	△	○			◎
	心理学研究法Ⅱ	FEPE100505L2	△	○			◎
	心理調査概論	FEPE100505L1	△	○			◎
	心理学実験Ⅰ	FEPE100505P3	△	○			◎
	心理学実験Ⅱ	FEPE100505P3	△	○			◎
	心理学統計法	FEPE100505L2	◎	○			△
	教育統計演習	FEPE600305S3	○	△			◎
	心理学概論	FEPE100505L1	○	△	○		
	発達心理学	FEPE100205L1	○	○		△	
	教育心理学	FEPE100205L1	○		◎		
	臨床心理学概論	FEPE100305L1	○	○	○		
	学習・言語心理学	FEPE100405L1	○	○		△	
	青年心理学	FEPE100205L1	○	○			
	乳幼児心理学	FEPE100205L2	○	○		△	
	発達臨床心理学	FEPE100205L2	○	△		◎	
	教育・学校心理学	FEPE100205L2	○	○	◎		
	福祉心理学	FEPE100105L1	△		◎		○
	障害者・障害児心理学	FEPE100105L1	○	○	○		
	情報機器の操作(応用)Ⅰ	FEPE600005P2			◎		◎
	情報機器の操作(応用)Ⅱ	FEPE600005P2	○		○		◎
	ボランティア論	FEPE080205L1	○		◎	○	
	知的障害児の心理	FEPE090605L2	○	○	○		
	知的障害児の生理・病理	FEPE090605L2	○	○	○		
	知的障害児の教育Ⅰ	FEPE090605L2	○	○	○		
	知的障害児の教育Ⅱ	FEPE090605L3		○			◎
	LD児等教育総論	FEPE090605L3	○		○		
	心理教育課題研究	FEPE100515S3		○	○	△	○
	特別研究	FEPE100525S3	○	○	◎	○	◎
専門教育科目	感情・人格心理学	FEPE100106L1		○	○	△	
	社会・集団・家族心理学Ⅰ	FEPE100106L2	○	○		△	
	社会・集団・家族心理学Ⅱ	FEPE100106L2	○		◎	△	
	神経・生理心理学	FEPE100406L2	○	○		△	
	知覚・認知心理学	FEPE100406L4	○	○		△	
	比較心理学	FEPE100106L1	○	○		○	
	司法・犯罪心理学	FEPE100106L3	○	○		○	
	産業・組織心理学	FEPE100106L2	○	○			
	生涯心理学	FEPE100206L2		○	◎	△	
	臨床心理学文献講読	FEPE100306L2	○		○		
	発達心理学文献講読	FEPE100206L2	○	○	◎		
	健康・医療心理学	FEPE100306L3	○	△			○
	人体の構造と機能及び疾病	FEPE480106L3	○	○	△		
	精神疾患とその治療	FEPE520306L3		△	◎	○	
	関係行政論	FEPE050206L1	○	○	△		
	公認心理師の職責	FEPE100516L2	○	○		△	
	心理的アセスメント	FEPE100306L3			○	◎	
	発達検査法	FEPE100306L2	○		◎		
	心理学的支援法	FEPE100516L2			○	△	○
展開科目	カウンセリング実習	FEPE100306P2		△		○	○
	心理演習Ⅰ	FEPE100516P3	○	△			○
	心理演習Ⅱ	FEPE100516P3	○	△			○
	心理実習	FEPE100516P3	○	△			○
	臨床・教育フィールドワークⅠ	FEPE100516P1		○	◎		
	臨床・教育フィールドワークⅡ	FEPE100516P2		○	○		
	臨床・教育フィールドワークⅢ	FEPE100516P3			○	◎	
	臨床・教育フィールドワークⅣ	FEPE100516P4			○		○
	社会人力セミナーⅠ	FEPE100516S3		○	△		○
	社会人力セミナーⅡ	FEPE100516S4		○		△	○
	臨床心理学演習Ⅰ	FEPE100306S2			△	○	○
	臨床心理学演習Ⅱ	FEPE100306S4					○
	教育心理学演習Ⅰ	FEPE100206S2	○	○			○
	教育心理学演習Ⅱ	FEPE100206S4			◎	○	○
	発達心理学演習Ⅰ	FEPE100206S2	○	○		△	
	発達心理学演習Ⅱ	FEPE100206S4	○	○		△	
	事例研究演習	FEPE100516S4		○		△	○
	臨床心理学特講	FEPE100306L2	○	○	△		
	発達心理学特講	FEPE100306L3	○	○	○	○	

2024年度 外国語学部 英米語学科 カリキュラムマップ ナンバリングコード

<◎：大いに該当する ○：該当する △：一部該当する>

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
全 学 共 通 科 目	教養セミナー	FZEN000010S1	◎	○	○	○	○
	人間力セミナー	FZEN000010S1	○	◎	○	○	○
	キャリア開発論Ⅰ	FZEN090200L1	◎	○	○	○	○
	キャリア開発論Ⅱ	FZEN090200L2	○	○	○	○	○
	文学	FZEN020000L1	◎	○	○		
	哲学	FZEN010000L1	◎	○	○		
	歴史学	FZEN030000L1	◎	○	○		
	芸術学	FZEN010000L1	◎	○	○		
	国際文化論	FZEN060000L1	◎	○	○		
	心理学	FZEN100000L1	◎	○	○		
	法学（日本国憲法を含む）	FZEN050000L1	◎	○	○		
	社会学	FZEN080000L1	◎	○	○		
	教育学	FZEN090000L1	◎	○	○		
	政治学	FZEN060000L1	◎	○	○		
	経済学	FZEN070000L1	◎	○	○		
	数学	FZEN110000L1	◎	○	○		
	物理学	FZEN130000L1	◎	○	○		
	化学	FZEN320000L1	◎	○	○		
	生物学	FZEN450000L1	◎	○	○		
	環境科学論	FZEN170000L1	◎	○	○		
	情報科学	FZEN600000L1	◎	○	○		
	体育講義	FZEN590000L1	◎	○	○		
	英語コミュニケーションⅠ	FZEN021000S1	◎			○	○
	英語コミュニケーションⅡ	FZEN021000S1	◎			○	○
	英語コミュニケーションⅢ	FZEN021000S2	◎			○	○
	英語コミュニケーションⅣ	FZEN021000S2	◎			○	○
学 科 部 目 共 通	情報リテラシーⅠ	FZEN090700S1	◎			○	○
	情報リテラシーⅡ	FZEN090700S1	◎			○	○
	体育実技A	FZEN590000P1	◎			○	○
	体育実技B	FZEN590000P1	◎			○	○
	ドイツ語Ⅰa	FZEN021000S1	◎			○	○
	ドイツ語Ⅰb	FZEN021000S1	◎			○	○
	ドイツ語Ⅱa	FZEN021000S2	◎			○	○
	ドイツ語Ⅱb	FZEN021000S2	◎			○	○
	フランス語Ⅰa	FZEN021000S1	◎			○	○
	フランス語Ⅰb	FZEN021000S1	◎			○	○
	フランス語Ⅱa	FZEN021000S2	◎			○	○
	フランス語Ⅱb	FZEN021000S2	◎			○	○
専 門 教 育 科 目	中国語Ⅰa	FZEN021000S1	◎			○	○
	中国語Ⅰb	FZEN021000S1	◎			○	○
	中国語Ⅱa	FZEN021000S2	◎			○	○
	中国語Ⅱb	FZEN021000S2	◎			○	○
	職業・企業研究Ⅰ	FFEN070011L2	○		○	○	
	職業・企業研究Ⅱ	FFEN070011P2		○	○		○
学 部 共 通 科 目	キャリアプランニングⅠ	FFEN090201L3	○	○	○		
	キャリアプランニングⅡ	FFEN090201L3	○	○	○		
	日本語教育入門A	FFEN020903L1				○	○
	日本語教育入門B	FFEN020903L1				○	○
	外国語学習のための言語学	FFEN020603L1		○	○		
	社会言語学A	FFEN020603L2		○	○		
	社会言語学B	FFEN020603L2		○	○		
	日本語教育文法	FFEN020903L2		○	○		
	日本語音声	FFEN020703L2		○	○		
	日本語の意味・語彙・文字・表記	FFEN020703L2		○	○		
	口頭コミュニケーション技法	FFEN021003L3				○	○
	対照言語学	FFEN020603L2	○		○		
	日本語教授法	FFEN020903L3				○	○
	教案作成指導・教案開発	FFEN020903L2				○	○
	コースデザイン・評価	FFEN020903L2				○	○
	日本語教育実習	FFEN020903P3				○	○
	日本語教育実習事前・事後指導	FFEN020903S3				○	○
	検定日本語教育能力I	FFEN021153S1					○
	検定日本語教育能力II	FFEN021153S2					○
	検定日本語教育能力III	FFEN021153S3					○

区分		授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
				1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
社会 人力	社会 人力	国際経済学	FFEN070403L2	◎	○	○		
		民法	FFEN050603L3	◎	○	○		
		会社法	FFEN050603L3	◎	○	○		
		観光ビジネス	FFEN800203L3		○	◎		
		航空ビジネス	FFEN800103L3				○	◎
		貿易実務	FFEN070903L3	◎	○	○		
		国際化時代のマネージメント	FFEN070803L3	◎	○	○		
		国際化時代のマーケティング	FFEN070903L3	◎	○	○		
		ビジネスITスキルA	FFEN021163S2					◎
		ビジネスITスキルB	FFEN021163S2					◎
		検定ITスキル・情報リテラシーI	FFEN021163S1					◎
		検定ITスキル・情報リテラシーII	FFEN021163S2					◎
		検定ITスキル・情報リテラシーIII	FFEN021163S3					◎
		ビジネス英語	FFEN021003L2				○	◎
		観光英語	FFEN021003L3				○	◎
		Media English A	FFEN021003L2		△	◎		○
		Media English B	FFEN021003L2		△	◎		○
専門 教育 科目	専門 教育 科目	TOEIC Basic A	FFEN021103S1					◎
		TOEIC Basic B	FFEN021103S1					◎
		TOEIC Advanced A	FFEN021103S2					◎
		TOEIC Advanced B	FFEN021103S2					◎
		TOEFL A	FFEN021103S1					◎
		TOEFL B	FFEN021103S1					◎
		検定英語Ia	FFEN021103S1					◎
		検定英語Ib	FFEN021103S1					◎
		検定英語Ic	FFEN021103S1					◎
		検定英語IIa	FFEN021103S2					◎
		検定英語IIb	FFEN021103S2					◎
		検定英語IIc	FFEN021103S2					◎
		検定英語IIIa	FFEN021103S3					◎
		検定英語IIIb	FFEN021103S3					◎
		検定英語IIIc	FFEN021103S3					◎
		検定スペイン語I	FFEN021113S1					◎
		検定スペイン語II	FFEN021113S2					◎
学部 共通 科目	学部 共通 科目	検定スペイン語III	FFEN021113S3					◎
		検定ポルトガル語I	FFEN021123S1					◎
		検定ポルトガル語II	FFEN021123S2					◎
		検定ポルトガル語III	FFEN021123S3					◎
		検定中国語I	FFEN021133S1					◎
		検定中国語II	FFEN021133S2					◎
		検定中国語III	FFEN021133S3					◎
		検定韓国語I	FFEN021143S1					◎
		検定韓国語II	FFEN021143S2					◎
		検定韓国語III	FFEN021143S3					◎
		海外留学A	FFEN021303S2		○	△		◎
		海外留学B	FFEN021303S2		○	△		◎
		海外留学C	FFEN021303S2		○	△		◎
		海外留学D	FFEN021303S2		○	△		◎
		海外留学E	FFEN021303S2		○	△		◎
		海外留学F	FFEN021303S2		○	△		◎
異文化 理解力	異文化 理解力	異文化コミュニケーションA	FFEN020903L2		○	◎		
		異文化コミュニケーションB	FFEN020903L2		○	◎		
		日本文化論A	FFEN040303L2	◎	○	○		
		日本文化論B	FFEN040303L2	◎	○	○		
		アジア文化論	FFEN040303L1	◎	○	○		
		ヨーロッパ文化論	FFEN040303L1	◎	○	○		
		比較文学	FFEN020503L2	◎	○	○		
		文化資源学	FFEN800103L2		○	○		
		国際協力	FFEN800103L1		○	○		
		国際関係論A	FFEN060103L2		○	○		
		国際関係論B	FFEN060103L2		○	○		

区分		授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
				1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
英語科目	必修英語(Basic English)	Basic English IA	FFEN021204L1	○				○
		Basic English IB	FFEN021204L1	○				○
		Basic English IIA	FFEN021204L2	○				○
		Basic English IIB	FFEN021204L2	○				○
		Academic Literacies IA	FFEN021204L1	○				○
		Academic Literacies IB	FFEN021204L1	○				○
		Academic Literacies IIA	FFEN021204L2	○				○
		Academic Literacies IIB	FFEN021204L2	○				○
		Oral Communication IA	FFEN021204S1	○				○
		Oral Communication IB	FFEN021204S1	○				○
		Oral Communication IIA	FFEN021204S2	○				○
		Oral Communication IIB	FFEN021204S2	○				○
	選択科目(Elective)	Integrated English Skills IA	FFEN021204L1	○				○
		Integrated English Skills IB	FFEN021204L1	○				○
		Integrated English Skills IIA	FFEN021204L2	○				○
		Integrated English Skills IIB	FFEN021204L2	○				○
		Academic Writing A	FFEN021206L3	○				○
		Academic Writing B	FFEN021206L3	○				○
専門教育科目	基礎科目(Basic Subjects)	Discussion and Debate A	FFEN021206L3	○				○
		Discussion and Debate B	FFEN021206L3	○				○
		Presentation and Public Speaking A	FFEN021206L3	○				○
		Presentation and Public Speaking B	FFEN021206L3	○				○
		AEP IA	FFEN021206S2	○				○
		AEP IB	FFEN021206S2	○				○
		AEP IIA	FFEN021206S3	○	△			○
		AEP IIB	FFEN021206S3	○	△			○
		Advanced Business English A	FFEN021006L3				○	○
		Advanced Business English B	FFEN021006L3				○	○
		北アメリカ基礎知識	FFEN800105L1	○		○	△	
		イギリス基礎知識	FFEN800105L1	○		○	△	
研究科目	研究科目(Research)	オセアニア基礎知識	FFEN800105L1	○		○	△	
		イギリス史A	FFEN030405L2	○		○	△	
		イギリス史B	FFEN030405L2	○		○	△	
		アメリカ史A	FFEN030405L2	○		○	△	
		アメリカ史B	FFEN030405L2	○		○	△	
		英米地域研究入門	FFEN02305L1	○		○	△	
		英米言語研究入門	FFEN020805L1	○		○	△	
		Cultures of the English-speaking World	FFEN021005L1	○		○	△	
		英語教育英文法A	FFEN020807L3	○	△	○		
		英語教育英文法B	FFEN020807L3	○	△	○		
		英語音声学A	FFEN020807L2	○	△	○		
国際交流科目	発展科目(Development)	英語音声学B	FFEN020807L2	○	△	○		
		英語学概論A	FFEN020807L3	○	△	○		
		英語学概論B	FFEN020807L3	○	△	○		
		言語習得論A	FFEN021007L2	○	△	○		
		言語習得論B	FFEN021007L2	○	△	○		
		英語圏の文学A	FFEN020307L3	○	△	○		
		英語圏の文学B	FFEN020307L3	○	△	○		
		英語圏の文学C	FFEN020307L3	○	△	○		
		英語圏の文学D	FFEN020307L3	○	△	○		
		イギリス文化論A	FFEN800107L2	○	△	○		
		イギリス文化論B	FFEN800107L2	○	△	○		
		アメリカ文化論A	FFEN800107L2	○	△	○		
専門セミナー	国際交流科目	アメリカ文化論B	FFEN800107L2	○	△	○		
		Cross Cultural Communication A	FFEN800107L3	○		○		△
		Cross Cultural Communication B	FFEN800107L3	○		○		△
		英米映像文化論A	FFEN021007L3	○	△	○		
		英米映像文化論B	FFEN021007L3	○	△	○		
		Global and Social Issues A	FFEN021007L2	○		○		△
		Global and Social Issues B	FFEN021007L2	○		○		△
		応用言語学A	FFEN021007L3	○	△	○		
		応用言語学B	FFEN021007L3	○	△	○		

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
に大 設学 科定が す独 る自	学校経営と学校図書館	FFLL900208L3		○			○
	学校図書館メディアの構成	FFLL900208L2	○				
	学習指導と学校図書館	FFLL900208L3	○				○
	読書と豊かな人間性	FFLL900208L2		○			○
	情報メディアの活用	FFLL900208L1	○				
教 職 科 目	教職概論	FFLL090108L1		○		○	
	教育学概論	FFLL090108L1	○	○	○		
	学校と教育の歴史	FFLL090108L3	○		○		
	教育心理学	FFLL100208L1	○				
	学習・発達論	FFLL100208L1	○				
	教育制度論	FFLL090108L2	○	○	○	○	○
	教育経営論	FFLL090408L3	○	○	○	○	○
	特別支援教育	FFLL090608L3	○	○	○		
	教育課程編成論	FFLL090408L1	○	○			
	英語科教育Ⅰ	FFLL021008L3	○	○	△	△	
	英語科教育Ⅱ	FFLL021008L3	○	○	△	△	
	英語科教育Ⅲ	FFLL021008L4	○	○	△	△	
	英語科教育Ⅳ	FFLL021008L4	○	○	△	△	
	道徳教育指導論	FFLL090408L2	○		○		
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	FFLL090408L4	○	○	○	○	○
	教育方法・技術論	FFLL090708L3	○				
	生徒・進路指導論	FFLL090208L3	○		○		○
	教育相談の基礎	FFLL100308L4	○	○			
	中等教育実習指導	FFLL090408S3	△	△	○	○	○
	中等教育実習A	FFLL090408P4	△	△	○	○	○
	中等教育実習B	FFLL090408P4	△	△	○	○	○
	教職実践演習(中・高)	FFLL090408S4	○	○	○	○	○

2024年度 外国語学部 グローバルコミュニケーション学科 カリキュラムマップ ナンバリングコード

<◎：大いに該当する ○：該当する △：一部該当する>

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
全 学 共 通 科 目	教養セミナー	FZEN000010S1	◎	○	○	○	◎
	人間力セミナー	FZEN000010S1	○	○	○	○	◎
	キャリア開発論Ⅰ	FZEN090200L1	◎	○	○	○	○
	キャリア開発論Ⅱ	FZEN090200L2	○	○	○	○	○
	文学	FZEN020000L1	◎	○	○		
	哲学	FZEN010000L1	◎	○	○		
	歴史学	FZEN030000L1	◎	○	○		
	芸術学	FZEN010000L1	◎	○	○		
	国際文化論	FZEN060000L1	◎	○	○		
	心理学	FZEN100000L1	◎	○	○		
	法学（日本国憲法を含む）	FZEN050000L1	◎	○	○		
	社会学	FZEN080000L1	◎	○	○		
	教育学	FZEN090000L1	◎	○	○		
	政治学	FZEN060000L1	◎	○	○		
	経済学	FZEN070000L1	◎	○	○		
	数学	FZEN110000L1	◎	○	○		
	物理学	FZEN130000L1	◎	○	○		
	化学	FZEN320000L1	◎	○	○		
	生物学	FZEN450000L1	◎	○	○		
	環境科学論	FZEN170000L1	◎	○	○		
	情報科学	FZEN600000L1	◎	○	○		
	体育講義	FZEN590000L1	◎	○	○		
	英語コミュニケーションⅠ	FZEN021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーションⅡ	FZEN021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーションⅢ	FZEN021000S2	◎			○	◎
	英語コミュニケーションⅣ	FZEN021000S2	◎			○	◎
	情報リテラシーⅠ	FZEN090700S1	◎			○	◎
	情報リテラシーⅡ	FZEN090700S1	◎			○	◎
	体育実技A	FZEN590000P1	◎			○	◎
	体育実技B	FZEN590000P1	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅰa	FZEN021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅰb	FZEN021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅱa	FZEN021000S2	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅱb	FZEN021000S2	◎			○	◎
	フランス語Ⅰa	FZEN021000S1	◎			○	◎
	フランス語Ⅰb	FZEN021000S1	◎			○	◎
	フランス語Ⅱa	FZEN021000S2	◎			○	◎
	フランス語Ⅱb	FZEN021000S2	◎			○	◎
	中国語Ⅰa	FZEN021000S1	◎			○	◎
	中国語Ⅰb	FZEN021000S1	◎			○	◎
	中国語Ⅱa	FZEN021000S2	◎			○	◎
	中国語Ⅱb	FZEN021000S2	◎			○	◎
学 科 部 目 共 通	職業・企業研究Ⅰ	FFEN070011L2	○		○	○	
	職業・企業研究Ⅱ	FFEN070011P2		○	○		○
	キャリアプランニングⅠ	FFEN090201L3	○	○	○		
	キャリアプランニングⅡ	FFEN090201L3	○	○	○		
専 門 教 育 科 目	日本語教育入門A	FFGC020903L1				○	◎
	日本語教育入門B	FFGC020903L1				○	◎
	外国語学習のための言語学	FFGC020603L1		○	◎		
	社会言語学A	FFGC020603L2		○	◎		
	社会言語学B	FFGC020603L2		○	◎		
	日本語教育文法	FFGC020903L2		○	◎		
	日本語音声	FFGC020703L2		○	◎		
	日本語の意味・語彙・文字・表記	FFGC020703L2		○	◎		
	口頭コミュニケーション技法	FFGC021003L3				○	◎
	対照言語学	FFGC020603L2	○		○		
	日本語教授法	FFGC020903L3				○	◎
	教案作成指導・教案開発	FFGC020903L2				○	◎
	コースデザイン・評価	FFGC020903L2				○	◎
	日本語教育実習	FFGC020903P3				○	◎
	日本語教育実習事前・事後指導	FFGC020903S3				○	◎
学 部 共 通 科 目	検定日本語教育能力I	FFGC021153S1					○
	検定日本語教育能力II	FFGC021153S2					○
	検定日本語教育能力III	FFGC021153S3					○

区分		授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
				1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
社会 人力	社会 人力	国際経済学	FFGC070403L2	◎	○	○		
		民法	FFGC050603L3	◎	○	○		
		会社法	FFGC050603L3	◎	○	○		
		観光ビジネス	FFGC800203L3		○	◎		
		航空ビジネス	FFGC800103L3				○	◎
		貿易実務	FFGC070903L3	◎	○	○		
		国際化時代のマネージメント	FFGC070803L3	◎	○	○		
		国際化時代のマーケティング	FFGC070903L3	◎	○	○		
		ビジネスITスキルA	FFGC021163S2					◎
		ビジネスITスキルB	FFGC021163S2					◎
		検定ITスキル・情報リテラシーI	FFGC021163S1					◎
		検定ITスキル・情報リテラシーII	FFGC021163S2					◎
		検定ITスキル・情報リテラシーIII	FFGC021163S3					◎
		ビジネス英語	FFGC021003L2				○	◎
		観光英語	FFGC021003L3				○	◎
学部 共通 科目	語 学 力	Media English A	FFGC021003L2		△	◎		○
		Media English B	FFGC021003L2		△	◎		○
		TOEIC Basic A	FFGC021103S1					◎
		TOEIC Basic B	FFGC021103S1					◎
		TOEIC Advanced A	FFGC021103S2					◎
		TOEIC Advanced B	FFGC021103S2					◎
		TOEFL A	FFGC021103S1					◎
		TOEFL B	FFGC021103S1					◎
		検定英語Ia	FFGC021103S1					◎
		検定英語Ib	FFGC021103S1					◎
		検定英語Ic	FFGC021103S1					◎
		検定英語IIa	FFGC021103S2					◎
		検定英語IIb	FFGC021103S2					◎
		検定英語IIc	FFGC021103S2					◎
		検定英語IIIa	FFGC021103S3					◎
		検定英語IIIb	FFGC021103S3					◎
		検定英語IIIc	FFGC021103S3					◎
		検定スペイン語I	FFGC021113S1					◎
		検定スペイン語II	FFGC021113S2					◎
		検定スペイン語III	FFGC021113S3					◎
		検定ポルトガル語I	FFGC021123S1					◎
		検定ポルトガル語II	FFGC021123S2					◎
		検定ポルトガル語III	FFGC021123S3					◎
		検定中国語I	FFGC021133S1					◎
		検定中国語II	FFGC021133S2					◎
		検定中国語III	FFGC021133S3					◎
専 門 教 育 科 目	異 文 化 理 解 力	検定韓国語I	FFGC021143S1					◎
		検定韓国語II	FFGC021143S2					◎
		検定韓国語III	FFGC021143S3					◎
		海外留学A	FFGC021303S2		○	△		◎
		海外留学B	FFGC021303S2		○	△		◎
		海外留学C	FFGC021303S2		○	△		◎
		海外留学D	FFGC021303S2		○	△		◎
		海外留学E	FFGC021303S2		○	△		◎
		海外留学F	FFGC021303S2		○	△		◎
		異文化コミュニケーションA	FFGC020903L2		○	◎		
		異文化コミュニケーションB	FFGC020903L2		○	◎		
		日本文化論A	FFGC040303L2	◎	○	○		
		日本文化論B	FFGC040303L2	◎	○	○		
		アジア文化論	FFGC040303L1	◎	○	○		
学科 専攻 科目	基礎 会 人 材 開 発 リ ア	ヨーロッパ文化論	FFGC040303L1	◎	○	○		
		比較文学	FFGC020503L2	◎	○	○		
		文化資源学	FFGC800103L2		○	◎		
		国際協力	FFGC800103L1		○	◎		
		国際関係論A	FFGC060103L2		○	◎		
		国際関係論B	FFGC060103L2		○	◎		
		協働研究セミナーBasic A	FFGC090117S1		○		○	
		協働研究セミナーBasic B	FFGC090117S1		○		○	
		協働研究セミナーI A	FFGC090117S2		○		○	
		協働研究セミナーI B	FFGC090117S2		○		○	
学科 専攻 科目	キ ヤ 開 発 リ ア	社会と産業	FFGC070017L1	◎		○		
		現代の産業A	FFGC070017L2	○		◎		
		現代の産業B	FFGC070017L2	○		◎		
		ビジネス実務A	FFGC070017L3				○	◎
		ビジネス実務B	FFGC070017L3				○	◎

区分		授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
				1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
専門教育科目	学科専攻科目	スペイン語会話入門	FFGC021217S1	○		△		◎
		ポルトガル語会話入門	FFGC021227S1	○		△		◎
		中国語会話入門	FFGC021237S1	○		△		◎
		韓国語会話入門	FFGC021247S1	○		△		◎
		英語会話Basic A	FFGC021207S1	○		△		◎
		英語会話Basic B	FFGC021207S1	○		△		◎
		英語会話 I A	FFGC021207S2	○		△		◎
		英語会話 I B	FFGC021207S2	○		△		◎
		英語会話 II A	FFGC021207S3	○		△		◎
		英語会話 II B	FFGC021207S3	○		△		◎
		スペイン語会話 I A	FFGC021217S2	○		△		◎
		スペイン語会話 I B	FFGC021217S2	○		△		◎
		専攻スペイン語 I A	FFGC021217S2	○		△		◎
		専攻スペイン語 I B	FFGC021217S2	○		△		◎
		スペイン語会話 II A	FFGC021217S3	○		△		◎
		スペイン語会話 II B	FFGC021217S3	○		△		◎
		専攻スペイン語 II A	FFGC021217S3	○		△		◎
		専攻スペイン語 II B	FFGC021217S3	○		△		◎
		スペイン語会話 III A	FFGC021217S4	○		△		◎
		スペイン語会話 III B	FFGC021217S4	○		△		◎
		ポルトガル語会話 I A	FFGC021227S2	○		△		◎
		ポルトガル語会話 I B	FFGC021227S2	○		△		◎
		専攻ポルトガル語 I A	FFGC021227S2	○		△		◎
		専攻ポルトガル語 I B	FFGC021227S2	○		△		◎
		ポルトガル語会話 II A	FFGC021227S3	○		△		◎
		ポルトガル語会話 II B	FFGC021227S3	○		△		◎
		専攻ポルトガル語 II A	FFGC021227S3	○		△		◎
		専攻ポルトガル語 II B	FFGC021227S3	○		△		◎
		ポルトガル語会話 III A	FFGC021227S4	○		△		◎
		ポルトガル語会話 III B	FFGC021227S4	○		△		◎
		中国語会話 I A	FFGC021237S2	○		△		◎
		中国語会話 I B	FFGC021237S2	○		△		◎
		専攻中国語 I A	FFGC021237S2	○		△		◎
		専攻中国語 I B	FFGC021237S2	○		△		◎
		中国語会話 II A	FFGC021237S3	○		△		◎
		中国語会話 II B	FFGC021237S3	○		△		◎
		専攻中国語 II A	FFGC021237S3	○		△		◎
		専攻中国語 II B	FFGC021237S3	○		△		◎
		中国語会話 III A	FFGC021237S4	○		△		◎
		中国語会話 III B	FFGC021237S4	○		△		◎
		韓国語会話 I A	FFGC021247S2	○		△		◎
		韓国語会話 I B	FFGC021247S2	○		△		◎
		専攻韓国語 I A	FFGC021247S2	○		△		◎
		専攻韓国語 I B	FFGC021247S2	○		△		◎
		韓国語会話 II A	FFGC021247S3	○		△		◎
		韓国語会話 II B	FFGC021247S3	○		△		◎
		専攻韓国語 II A	FFGC021247S3	○		△		◎
		専攻韓国語 II B	FFGC021247S3	○		△		◎
		韓国語会話 III A	FFGC021247S4	○		△		◎
		韓国語会話 III B	FFGC021247S4	○		△		◎

区分		授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
				1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
専門教育科目	学科専攻科目	スペイン・ラテンアメリカ概論	FFGC800107L1	○		○		
		ブラジル・ポルトガル概論	FFGC800107L1	○		○		
		中国概論	FFGC800107L1	○		○		
		韓国概論	FFGC800107L1	○		○		
		スペイン・ラテンアメリカの文化	FFGC800107L2	○		○		
		スペイン・ラテンアメリカの社会	FFGC800107L2	○		○		
		スペイン・ラテンアメリカの国際関係	FFGC060207L2	○		○		
		東アジアの文化	FFGC800107L2	○		○		
		東アジアの社会	FFGC800107L2	○		○		
		東アジアの国際関係	FFGC060207L2	○		○		
		スペイン・ラテンアメリカ研究A	FFGC800107L3	○	△			○
		スペイン・ラテンアメリカ研究B	FFGC800107L3	○	△			○
		ブラジル・ポルトガル研究A	FFGC800107L3	○	△			○
		ブラジル・ポルトガル研究B	FFGC800107L3	○	△			○
		中国研究A	FFGC800107L3	○	△			○
		中国研究B	FFGC800107L3	○	△			○
		韓国研究A	FFGC800107L3	○	△			○
		韓国研究B	FFGC800107L3	○	△			○
		スペイン・中南米地域研究主題講義A	FFGC800107L3	○	○		△	
		スペイン・中南米地域研究主題講義B	FFGC800107L3	○	○		△	
		スペイン・中南米地域研究主題講義C	FFGC800107L3	○	○		△	
		スペイン・中南米地域研究主題講義D	FFGC800107L3	○	○		△	
		東アジア地域研究主題講義A	FFGC800107L3	○	○		△	
		東アジア地域研究主題講義B	FFGC800107L3	○	○		△	
		東アジア地域研究主題講義C	FFGC800107L3	○	○		△	
		東アジア地域研究主題講義D	FFGC800107L3	○	○		△	
Cross Cultural Studies	Cross Cultural Studies	コミュニケーション総論A	FFGC021007L1				○	○
		コミュニケーション総論B	FFGC021007L1				○	○
		言語の学習と獲得A	FFGC020607L1	○				○
		言語の学習と獲得B	FFGC020607L1	○				○
		表象文化論	FFGC010507L3	○	○			
		対照言語研究A	FFGC020607L1	○			○	
		対照言語研究B	FFGC020607L1	○			○	
		多文化共生研究A	FFGC021007L3	○	○			
		多文化共生研究B	FFGC021007L3	○	○			
		海外中国語研修A	FFGC021317S1			○	△	○
		海外中国語研修B	FFGC021317S1			○	△	○
		海外韓国語研修A	FFGC021317S1			○	△	○
		海外韓国語研修B	FFGC021317S1			○	△	○
		海外スペイン語研修A	FFGC021317S1			○	△	○
		海外スペイン語研修B	FFGC021317S1			○	△	○
		海外ポルトガル語研修A	FFGC021317S1			○	△	○
		海外ポルトガル語研修B	FFGC021317S1			○	△	○
		海外中国語研修事前・事後指導	FFGC021317S1	○	○			△
		海外韓国語研修事前・事後指導	FFGC021317S1	○	○			△
		海外スペイン語研修事前・事後指導	FFGC021317S1	○	○			△
		海外ポルトガル語研修事前・事後指導	FFGC021317S1	○	○			△
卒業研究	卒業研究	臨地実習A	FFGC800107S1		○		○	
		臨地実習B	FFGC800107S1		○		○	
		臨地実習C	FFGC800107S1		○		○	
		卒業研究I	FFGC021407T4	○	○	△	△	
		卒業研究II	FFGC021407T4	○	○	△	△	
		卒業研究III	FFGC021407T4	○	○	△	△	

2024年度 造形学部 造形学科 カリキュラムマップ ナンバリングコード

<◎：大いに該当する ○：該当する △：一部該当する>

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
全 学 共 通 科 目	教養セミナー	FZAD000010S1	◎	○	○	○	◎
	人間力セミナー	FZAD000010S1	○	◎	○	○	◎
	キャリア開発論Ⅰ	FZAD090200L1	◎	○	○	◎	○
	キャリア開発論Ⅱ	FZAD090200L2	○	◎	○	○	◎
	文学	FZAD020000L1	◎	○	○		
	哲学	FZAD010000L1	◎	○	○		
	歴史学	FZAD030000L1	◎	○	○		
	芸術学	FZAD010000L1	◎	○	○		
	国際文化論	FZAD060000L1	◎	○	○		
	心理学	FZAD100000L1	◎	○	○		
	法学（日本国憲法を含む）	FZAD050000L1	◎	○	○		
	社会学	FZAD080000L1	◎	○	○		
	教育学	FZAD090000L1	◎	○	○		
	政治学	FZAD060000L1	◎	○	○		
	経済学	FZAD070000L1	◎	○	○		
	数学	FZAD110000L1	◎	○	○		
	物理学	FZAD130000L1	◎	○	○		
	化学	FZAD320000L1	◎	○	○		
	生物学	FZAD450000L1	◎	○	○		
	環境科学論	FZSE170000L1	◎	○	○		
	情報科学	FZAD600000L1	◎	○	○		
	体育講義	FZAD590000L1	◎	○	○		
	英語コミュニケーションⅠ	FZAD021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーションⅡ	FZAD021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーションⅢ	FZAD021000S2	◎			○	◎
	英語コミュニケーションⅣ	FZAD021000S2	◎			○	◎
学 科 部 目 共 通	情報リテラシーⅠ	FZAD090700S1	◎			○	◎
	情報リテラシーⅡ	FZAD090700S1	◎			○	◎
	体育実技A	FZAD590000P1	◎			○	◎
	体育実技B	FZAD590000P1	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅰa	FZAD021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅰb	FZAD021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅱa	FZAD021000S2	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅱb	FZAD021000S2	◎			○	◎
	フランス語Ⅰa	FZAD021000S1	◎			○	◎
	フランス語Ⅰb	FZAD021000S1	◎			○	◎
	フランス語Ⅱa	FZAD021000S2	◎			○	◎
	フランス語Ⅱb	FZAD021000S2	◎			○	◎
	中国語Ⅰa	FZAD021000S1	◎			○	◎
	中国語Ⅰb	FZAD021000S1	◎			○	◎
	中国語Ⅱa	FZAD021000S2	◎			○	◎
	中国語Ⅱb	FZAD021000S2	◎			○	◎
学 科 部 目 共 通	職業・企業研究Ⅰ	FZAD070011L2	◎	○	△		
	職業・企業研究Ⅱ	FZAD070011P2	◎	○	△		
	キャリアプランニングⅠ	FZAD090201L3	◎	○	△		
	キャリアプランニングⅡ	FZAD090201L3	◎	○	△		

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
専門教育科目	美術概論	FAAD010503L1	◎		○	△	
	西洋美術史	FAAD010603L2	◎		○	△	
	東洋美術史	FAAD010603L2	◎		○	△	
	日本美術史	FAAD010603L1	◎		○	○	
	古美術巡検	FAAD010603S3	◎		△	○	
	造形理論	FAAD010503L2	◎	○	△		
	構成原理	FAAD010503L1	◎		△		○
	デザイン理論	FAAD900113L1	◎	○	△		
	色彩学 I	FAAD900113L1	◎		○		△
	色彩学 II	FAAD900113L1	◎		○		△
	図学	FAAD230403L1	○	△			○
	福祉環境論	FAAD230303L1	◎	○	△		
	近代デザイン史	FAAD230403L3	○	◎	○		
	景観論	FAAD230403L3	○	◎	○		
	マーケティング理論	FAAD070903L3	◎	△	○		
	工芸 A	FAAD900153S2	○		△		○
	工芸 B	FAAD900153S3	○		△		○
	卒業研究・制作	FAAD010713P4	◎	○	○	○	○
	領域ゼミナール I A	FAAD010713S2		△	○	○	
	領域ゼミナール I B	FAAD010713S2		△	○	○	
	領域ゼミナール II A	FAAD010713S3		△	○	○	
	領域ゼミナール II B	FAAD010723S3		△	○	○	
	サスティナブル造形論	FAAD900173L3	◎	△	○		
	フィールドワーク論	FAAD900183L2	◎	△	○		
専門教育科目	現代美術概論	FAAD010506L3	◎	△	○		
	美術解剖学	FAAD010506L2	◎	△	○		
	視覚伝達論	FAAD900136L2	◎	△	○		
	デジタル表現論	FAAD900146L3	◎	△	○		
	建築デザイン論	FAAD230406L2	◎	△	○		
	プロダクト・工芸論	FAAD900156L2	◎	△	○		
	デザインマネジメント論	FAAD900166L3	◎	△	○		
	アートマネジメント論	FAAD010756L3	◎	△	○		
	デッサン	FAAD010726P1	◎	△			○
	立体造形表現	FAAD010726P1	◎	△			○
	デザイン基礎	FAAD900126P1	◎	○	△		
	コンピュータ表現基礎	FAAD900126P1	◎	○			△
	平面表現A	FAAD010736P2	○		△		○
	平面表現B	FAAD010736P2	○		△		○
	プレゼンテーション	FAAD900136S3	◎	△			○
	デジタル表現	FAAD900136P2	◎	△			○
	立体表現A	FAAD010736P2	△	○			○
	立体表現B	FAAD010736P3	△	○			○
	空間表現	FAAD010736S3		△	○		○
	設計製図	FAAD230306S2		○	○		○
	アート表現基礎A	FAAD010746P1	◎			△	○
	アート表現基礎B	FAAD010746P1	○		△		○
	アート表現基礎C	FAAD010746P1	○	◎			△
	絵画制作A	FAAD010746P2	◎		△		○
	絵画制作B	FAAD010746P2	◎		△		○
	絵画制作C	FAAD010746P2		△	○		○
	絵画制作D	FAAD010746S3		○		△	○
	絵画制作E	FAAD010746S3		△		○	○
	絵画制作F	FAAD010746S3		○	△		○
	平面メディア表現	FAAD010746P2	○		△		○
	平面メディア表現研究A	FAAD010746S3	○		△		○
	平面メディア表現研究B	FAAD010746S3	△	○			○
	平面メディア表現研究C	FAAD010746S3	○		△		○
	メディア表現	FAAD010746P2	○		△		○
	立体メディア表現A	FAAD010746P2	◎	△			○
	立体メディア表現B	FAAD010746P2	◎	△			○
	空間メディア表現	FAAD010746S3	◎			△	○

区分		授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)					
				1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>	
専門教育科目	学科専攻科目	ビジュアルデザイン基礎A	FAAD900136P1		◎	△	○		
		ビジュアルデザイン基礎B	FAAD900136P1		◎	△	○		
		情報デザイン基礎A	FAAD900136P1	◎	○			△	
		情報デザイン基礎B	FAAD900136P1		◎	△	○		
		デジタルデザイン基礎A	FAAD900136P1	◎	○			△	
		デジタルデザイン基礎B	FAAD900136P1		◎	△	○		
		デザインシンキングA	FAAD900136P2		◎	△	○		
		デザインシンキングB	FAAD900136P2		◎	△	○		
		WebデザインIA	FAAD900136P2	◎	○			△	
		WebデザインIB	FAAD900136P2	◎	○			△	
		UXデザインA	FAAD900136P2		◎	△	○		
		ビジュアルコンテンツA	FAAD900136P2		△	○		◎	
		ビジュアルコンテンツB	FAAD900136P2		△	○		◎	
		ワークショップデザイン	FAAD900136P2		◎	△	○		
		デザインプロデュース	FAAD900136P2		◎	△	○		
		プロモーションデザイン	FAAD900136P2	◎	○			△	
		WebデザインII	FAAD900136P2	◎	○			△	
		地域共創デザイン	FAAD900136P2		◎	△	○		
		デザインプログラミング	FAAD900136P2	◎	○			△	
		UXデザインB	FAAD900136P2		◎	△	○		
		ビジュアルコンテンツC	FAAD900136P2		△	○		◎	
		ビジュアルコンテンツD	FAAD900136P2		△	○		◎	
		コミュニケーションデザインA	FAAD900136S3		◎	△	○		
		コミュニケーションデザインB	FAAD900136S3		◎	△	○		
		情報デザインA	FAAD900136S3	△	○			○	
		情報デザインB	FAAD900136S3	△	○			○	
		メディアデザインA	FAAD900136S3	◎	○			△	
		メディアデザインB	FAAD900136S3	◎	○			△	
		インクルーシブデザインA	FAAD900136S3	△	○			○	
		インクルーシブデザインB	FAAD900136S3	△	○			○	
		オープンイノベーションプロジェクトA	FAAD900136S3	△	○			○	
		オープンイノベーションプロジェクトB	FAAD900136S3	△	○			○	
		オープンイノベーションプロジェクトC	FAAD900136S3	△	○			○	
		オープンイノベーションプロジェクトD	FAAD900136S3	△	○			○	
		ソーシャルイノベーションプロジェクトA	FAAD900136S3	△	○			○	
		ソーシャルイノベーションプロジェクトB	FAAD900136S3	△	○			○	
		ソーシャルイノベーションプロジェクトC	FAAD900136S3	△	○			○	
		ソーシャルイノベーションプロジェクトD	FAAD900136S3	△	○			○	
	環境デザイン領域科目	立体デザイン	FAAD900156P1	△	○			◎	
		建築基礎設計	FAAD230306P1	△	○			◎	
		空間デザイン	FAAD900156P1	△		○		◎	
		環境デザインA	FAAD900156P2	△	○			◎	
		環境デザインB	FAAD230306P2	△	○			◎	
		環境デザインC	FAAD230106P2	△	○			◎	
		環境デザインD	FAAD900156S3	△	○			◎	
		環境デザインE	FAAD230106S3	△	○			◎	
		環境デザインF	FAAD230406S3	◎	○		△		
		環境デザインG	FAAD230306S3		○	○	△	◎	
		環境デザインH	FAAD900156S3		○	○	△	◎	
		建築設計A	FAAD230306S2		○	△		◎	
		建築設計B	FAAD230306S3		○	○	△	◎	
		建築設計C	FAAD230306S3		○	○	△	◎	
		建築計画	FAAD230306L2	◎	○				
大学が独自に設定する科目		構造力学	FAAD230106L2	◎	○				
		建築法規	FAAD230306L3	◎	○				
		建築史	FAAD230406L2	◎	○				
		建築構法	FAAD230106L2	◎	○				
		建築材料学	FAAD230106L2	◎	○				
		建築生産	FAAD230106L2	◎	○				
		地域の伝統・文化	FAAD230106L2			◎	○	△	

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
教職科目	教職概論	FAAD090108L2		◎	○	○	
	教育学概論	FAAD090108L2	◎	◎	○		
	学校と教育の歴史	FAAD090108L3	◎		○		
	教育心理学	FAAD100208L3	◎	◎			
	学習・発達論	FAAD100208L2			○	○	○
	教育制度論	FAAD090108L3	◎	○	○		
	教育経営論	FETT090208L4	◎	○	○		
	特別支援教育	FAAD090608L3	◎	○	○		
	教育課程編成論	FAAD090408L2	◎	◎			
	美術科教育Ⅰ	FAAD090408L3	◎		○	△	
	美術科教育Ⅱ	FAAD090408L3	◎		○	△	
	美術科教育Ⅲ	FAAD090408L3	◎		○	△	
	美術科教育Ⅳ	FAAD090408L3	◎		○	△	
	工芸科教育Ⅰ	FAAD090408L3	◎		○	△	
	工芸科教育Ⅱ	FAAD090408L3	◎		○	△	
	道徳教育指導論	FAAD090408L3	◎		○		
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	FAAD090408L4	○	◎	○	○	○
	教育方法・技術論	FAAD090108L3	◎		○		
	生徒・進路指導論	FAAD090408L3	◎		◎		◎
	教育相談の基礎	FAAD090408L4			○	○	○
	中等教育実習指導	FAAD090408S3	△	△	○	◎	◎
	中等教育実習A	FAAD090408P4	△	△	○	◎	◎
	中等教育実習B	FAAD090408P4	△	△	○	◎	◎
	教職実践演習(中・高)	FAAD090408S4	○	○	○	○	○
博物館関連科目	生涯学習概論	FAAD090108L3	△		◎	○	
	博物館概論	FAAD030708L1	△		◎	○	
	博物館経営論	FAAD030708L3	△		◎	○	
	博物館資料論	FAAD030708L2	△		◎	○	
	博物館資料保存論	FAAD030708L4	△	○	◎		
	博物館展示論	FAAD030708L3	△	○	◎		
	博物館教育論	FAAD030708L2	△	○	◎		
	博物館情報・メディア論	FAAD030708L3	△		◎	○	
	博物館実習	FAAD030708P4	△			○	◎

2024年度 法学部 法律学科 カリキュラムマップ ナンバリングコード

<◎：大いに該当する ○：該当する △：一部該当する>

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
全 学 共 通 科 目	教養セミナー	FZLA000010S1	◎	○	○	○	◎
	人間力セミナー	FZLA000010S1	○	◎	○	○	◎
	キャリア開発論 I	FZLA090200L1	◎	○	○	○	○
	キャリア開発論 II	FZLA090200L1	○	◎	○	○	○
	文学	FZLA020000L1	◎	◎	○		
	哲学	FZLA010000L1	◎	◎	○		
	歴史学	FZLA030000L1	◎	◎	○		
	芸術学	FZLA010000L1	○	◎	○		
	国際文化論	FZLA060000L1	◎	◎	○		
	心理学	FZLA100000L1	◎	◎	○		
	法学（日本国憲法を含む）	FZLA050000L1	◎	◎	○		
	社会学	FZLA080000L1	◎	◎	○		
	教育学	FZLA090000L1	◎	◎	○		
	政治学	FZLA060000L1	◎	◎	○		
	経済学	FZLA070000L1	◎	◎	○		
	数学	FZLA110000L1	◎	◎	○		
	物理学	FZLA130000L1	◎	◎	○		
	化学	FZLA320000L1	◎	◎	○		
	生物学	FZLA450000L1	◎	◎	○		
	環境科学論	FZSE170000L1	◎	◎	○		
	情報科学	FZLA600000L1	◎	◎	○		
	体育講義	FZLA590000L1	◎	◎	○		
	英語コミュニケーション I	FZLA021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーション II	FZLA021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーション III	FZLA021000S2	◎			○	◎
	英語コミュニケーション IV	FZLA021000S2	◎			○	◎
	情報リテラシー I	FZLA090700S1	◎			○	◎
	情報リテラシー II	FZLA090700S1	◎			○	◎
	体育実技A	FZLA590000P1	◎			○	◎
	体育実技B	FZLA590000P1	◎			○	◎
	ドイツ語 I a	FZLA021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語 I b	FZLA021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語 II a	FZLA021000S2	◎			○	◎
	ドイツ語 II b	FZLA021000S2	◎			○	◎
	フランス語 I a	FZLA021000S1	◎			○	◎
	フランス語 I b	FZLA021000S1	◎			○	◎
	フランス語 II a	FZLA021000S2	◎			○	◎
	フランス語 II b	FZLA021000S2	◎			○	◎
	中国語 I a	FZLA021000S1	◎			○	◎
	中国語 I b	FZLA021000S1	◎			○	◎
	中国語 II a	FZLA021000S2	◎			○	◎
	中国語 II b	FZLA021000S2	◎			○	◎

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
専門科目	法学・政策学基礎演習	FLLA050103S2			○	○	◎
	市民と裁判	FLLA050106L1	○	○	◎		
	情報と法	FLLA050705L1	○	○	◎		
	法哲学	FLLA050105L2	○	◎	○		
	法社会学	FLLA050105L2	○	◎	○		
	法制史	FLLA050106L2	○	○	○		
	外国法1	FLLA050105L2	○	○	◎		
	外国法2	FLLA050106L2	○	○	◎		
	憲法1	FLLA050203L1	○	○	◎		
	憲法2	FLLA050203L1	○	○	○		
	憲法3	FLLA050205L2	○	○	○		
	憲法4	FLLA050205L2	○	◎	○		
	刑法1	FLLA050503L1	○	○	○		
	刑法2	FLLA050503L1	○	○	○		
	刑法3	FLLA050505L2	○	○	○		
	刑法4	FLLA050505L2	○	○	○		
	刑事政策	FLLA050506L3	○	○	○		
	刑事法特殊講義	FLLA050506L3	○	◎	○		
	民法総則1	FLLA050603L1	○	○	○		
	民法総則2	FLLA050603L1	○	○	○		
	物権総論	FLLA050603L2	○	○	○		
	債権各論1	FLLA050603L2	○	○	○		
	債権各論2	FLLA050603L2	○	○	○		
	担保物権	FLLA050605L3	○	○	○		
	債権総論1	FLLA050605L3	○	○	○		
	債権総論2	FLLA050605L3	○	○	○		
	家族法1	FLLA050606L2	○	○	○		
	家族法2	FLLA050606L2	○	○	○		
	民法特殊講義	FLLA050606L3	○	○	○		
	行政法1	FLLA050205L2	○	○	○		
	行政法2	FLLA050205L2	○	○	○		
	行政法3	FLLA050206L3	○	○	○		
	行政法4	FLLA050206L3	○	○	○		
	租税法1	FLLA050206L3	○	○	○		
	租税法2	FLLA050206L3	○	○	○		
	会社法1	FLLA050606L3	○	○	○		
	会社法2	FLLA050606L3	○	○	○		
	会社法3	FLLA050606L4	○	○	○		
	会社法4	FLLA050606L4	○	○	○		
	商法1	FLLA050605L3	○	○	○		
	商法2	FLLA050605L3	○	○	○		
	民事手続法1	FLLA050605L3	○	○	○		
	民事手続法2	FLLA050606L3	○	○	○		
	刑事訴訟法1	FLLA050506L3	○	○	○		
	刑事訴訟法2	FLLA050506L3	○	○	○		
	消費者法	FLLA050706L3	○	◎	○		
	経済法1	FLLA050406L3	○	○	○		
	経済法2	FLLA050406L3	○	○	○		
	労働法1	FLLA050405L3	○	○	○		
	労働法2	FLLA050405L3	○	○	○		
	国際法1	FLLA050306L3	○	○	○		
	国際法2	FLLA050306L3	○	○	○		
	保険法	FLLA050606L3	○	○	○		
	知的財産法1	FLLA050706L3	○	○	○		
	知的財産法2	FLLA050706L3	○	○	○		

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
地域 法 政 策 科 目	政治学概論	FLLA060103L1	○	○	◎		
	行政学	FLLA060105L2	◎	○	○		
	地域文化論	FLLA060105L3	◎	○	○		
	地方制度史	FLLA060106L3	◎	○	○		
	政策過程論	FLLA060105L2	◎	◎	○		
	地方自治論	FLLA060105L3	◎	○	○		
	国際政治学	FLLA060205L3	◎	◎	○		
	福祉制度論	FLLA060106L3	◎	○	○		
	比較地域論	FLLA060105L3	◎	○	○		
	地域政治論	FLLA060105L3	◎	◎	○		
	公共政策論	FLLA060105L3	◎	○	○		
	経済学概論	FLLA060103L1	○	○	◎		
	経営学	FLLA070806L3	◎	○	○		
	ミクロ経済学	FLLA070105L2	◎	○	○		
	マクロ経済学	FLLA070105L2	◎	○	○		
	金融論1	FLLA070606L3	◎	○	○		
	金融論2	FLLA070606L3	◎	○	○		
	地域経済論	FLLA070406L3	◎	○	○		
	公共経済学	FLLA070506L3	◎	○	○		
	地方財政論	FLLA070506L3	◎	○	○		
	財政学	FLLA070505L3	◎	○	○		
	国際経済学	FLLA070406L3	◎	○	○		
	地域産業論	FLLA070406L2	◎	○	○		
	経済地理学	FLLA040206L3	◎	○	○		
	地域企業論	FLLA070806L3	◎	○	○		
専 門 科 目	法・政策概論	FLLA050103L2	◎	○	○		
	都市社会学	FLLA080106L2	○	○	◎		
	農村社会学	FLLA080106L2	○	○	◎		
	都市と法	FLLA050105L3	◎	○	○		
	現代社会の政策課題	FLLA060106L3	◎	○	◎		
	地域と福祉	FLLA060106L3	◎	○	○		
	法政策特殊講義	FLLA060106L3	◎	○	○		
	観光学	FLLA800206L3	◎	○	○		
	都市政策論	FLLA050106L3	◎	○	○		
	地域政策実習（前）	FLLA060106P3	○		○	◎	
専 門 演 習	地域政策実習（後）	FLLA060106P3	○		○	◎	
	地域産業実習	FLLA070806P3	○		○	◎	
	公法演習1A	FLLA050206S4	◎		○	○	
	公法演習1B	FLLA050206S4	◎		○	○	
	公法演習2A	FLLA050206S4	◎		○	○	
	公法演習2B	FLLA050206S4	◎		○	○	
	刑事法演習1A	FLLA050506S4	◎		○	○	
	刑事法演習1B	FLLA050506S4	◎		○	○	
	刑事法演習2A	FLLA050506S4	◎		○	○	
	刑事法演習2B	FLLA050506S4	◎		○	○	
	民事法演習1A	FLLA050606S4	◎		○	○	
	民事法演習1B	FLLA050606S4	◎		○	○	
	民事法演習2A	FLLA050606S4	◎		○	○	
	民事法演習2B	FLLA050606S4	◎		○	○	
	企業法演習1A	FLLA050606S4	○	◎		○	
	企業法演習1B	FLLA050606S4	○	◎		○	
	企業法演習2A	FLLA050606S4	○	◎	○	○	
	企業法演習2B	FLLA050606S4	○	◎	○	○	
	社会法演習1A	FLLA050406S4	○	◎		○	
	社会法演習1B	FLLA050406S4	○	◎		○	
	社会法演習2A	FLLA050406S4	○	◎		○	
	社会法演習2B	FLLA050406S4	○	◎		○	
	基礎法演習1	FLLA050106S4	○	◎		○	
	基礎法演習2	FLLA050106S4	○	◎		○	
	政治学演習1A	FLLA060106S4	○	◎	○		
	政治学演習1B	FLLA060106S4	○	◎		○	
	政治学演習2A	FLLA060106S4	○	◎	○		
	政治学演習2B	FLLA060106S4	○	◎		○	
	経済学演習1A	FLLA070106S4	○	◎		○	
	経済学演習1B	FLLA070106S4	○	◎		○	
	経済学演習2A	FLLA070106S4	○	◎		○	
	経済学演習2B	FLLA070106S4	○	◎		○	
	静岡学演習1	FLLA800106S4			○	○	◎
	静岡学演習2	FLLA800106S4			○	○	◎

2024年度 健康科学部 看護学科 カリキュラムマップ ナンバリングコード

<◎：大いに該当する ○：該当する △：一部該当する>

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
全 学 共 通 科 目	教養セミナー	FZNU000010S1	◎	○	○	○	◎
	人間力セミナー	FZNU000010S1	○	○	○	○	◎
	キャリア開発論Ⅰ	FZNU090200L1	◎	○	○	○	○
	キャリア開発論Ⅱ	FZNU090200L2	○	○	○	○	○
	文学	FZNU020000L1	◎	○	○	○	○
	哲学	FZNU010000L1	◎	○	○	○	○
	歴史学	FZNU030000L1	◎	○	○	○	○
	芸術学	FZNU010000L1	◎	○	○	○	○
	国際文化論	FZNU060000L1	◎	○	○	○	○
	心理学	FZNU100000L1	◎	○	○	○	○
	法学(日本国憲法を含む)	FZNU050000L1	◎	○	○	○	○
	社会学	FZNU080000L1	◎	○	○	○	○
	教育学	FZNU090000L1	◎	○	○	○	○
	政治学	FZNU060000L1	◎	○	○	○	○
	経済学	FZNU070000L1	◎	○	○	○	○
	数学	FZNU110000L1	◎	○	○	○	○
	物理学	FZNU130000L1	◎	○	○	○	○
	化学	FZNU320000L1	◎	○	○	○	○
	生物学	FZNU450000L1	◎	○	○	○	○
	環境科学論	FZNU170000L1	◎	○	○	○	○
	情報科学	FZNU600000L1	◎	○	○	○	○
	体育講義	FZNU590000L1	◎	○	○	○	○
	英語コミュニケーションⅠ	FZNU021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーションⅡ	FZNU021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーションⅢ	FZNU021000S2	◎			○	◎
	英語コミュニケーションⅣ	FZNU021000S2	◎			○	◎
	情報リテラシーⅠ	FZNU090700S1	◎			○	◎
	情報リテラシーⅡ	FZNU090700S1	◎			○	◎
	体育実技A	FZNU590000P1	◎			○	◎
	体育実技B	FZNU590000P1	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅰa	FZNU021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅰb	FZNU021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅱa	FZNU021000S2	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅱb	FZNU021000S2	◎			○	◎
	フランス語Ⅰa	FZNU021000S1	◎			○	◎
	フランス語Ⅰb	FZNU021000S1	◎			○	◎
	フランス語Ⅱa	FZNU021000S2	◎			○	◎
	フランス語Ⅱb	FZNU021000S2	◎			○	◎
	中国語Ⅰa	FZNU021000S1	◎			○	◎
	中国語Ⅰb	FZNU021000S1	◎			○	◎
	中国語Ⅱa	FZNU021000S2	◎			○	◎
	中国語Ⅱb	FZNU021000S2	◎			○	◎
教 学 養 部 共 用 通	医療と倫理	FHNU580101L2	○		△	○	
	人間関係論	FHNU100101L2	◎			△	○
	社会福祉学	FHNU080201L1		◎	○	△	
	医療英語	FHNU020801S2	○			△	◎
専 門 基 础 科 目	学 部 共 通	医療概論	FHNU580103L1	◎		○	△
		栄養生化学	FHNU590403L1	◎	△	○	
		薬理学	FHNU470403L1	◎	△	○	
		臨床心理学	FHNU100303L2	◎	△	○	
		病態学Ⅰ	FHNU490503L1	◎	△	○	
		病態学Ⅱ	FHNU490703L2	◎	△	○	
		病態治療学Ⅰ	FHNU530203L2	◎	○	△	
		病態治療学Ⅱ	FHNU560203L2	◎	○	△	
		病態治療学Ⅲ	FHNU530103L2	◎	○	△	
		救急医学と蘇生法	FHNU550603L2	◎	○	△	
		人間発達学	FHNU080103L1	◎	△	○	
		健康増進論	FHNU580303L1	◎	△	○	
		チーム連携論	FHNU590103L3			○	△
		形態機能学Ⅰ	FHNU480105L1	◎	○	△	
		形態機能学Ⅱ	FHNU480205S1	◎	○	△	
		臨床栄養学	FHNU590405S2	◎	△		○
		保健医療福祉制度論	FHNU580805L2	◎	○		△
		ICTと医療	FHNU620105L3	◎	△	○	

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
基礎看護学	看護学原論	FHNU580506L1	◎		○	△	
	フィジカルアセスメント	FHNU580506S2	◎	○		△	
	看護過程	FHNU580506L2	○	◎		△	
	基礎看護技術論 I	FHNU580506S2	◎	○		△	
	基礎看護技術論 II	FHNU580506S2	◎	○		△	
	基礎看護技術論 III	FHNU580506S2	◎	○		△	
	基礎看護技術論 IV	FHNU580506S2	◎	○		△	
	臨床ケア論	FHNU580506L3	◎	○		△	
実践看護学	看護管理学	FHNU580506L4	◎		△		○
	成人看護学概論	FHNU580606L2	◎		○	△	
	成人看護援助論 I	FHNU580606L2	◎	○	△		
	成人看護援助論 II	FHNU580606L2	◎	○	△		
	成人看護援助論 III	FHNU580606S3	○	◎		△	
	老年看護学概論	FHNU580806L2	◎		○	△	
	老年看護援助論 I	FHNU580806L2	◎	○	△		
	老年看護援助論 II	FHNU580806S3	○	◎		△	
	母性看護学概論	FHNU580706L2	◎		○	△	
	母性看護援助論 I	FHNU580706L2	◎	○	△		
	母性看護援助論 II	FHNU580706S3	○	◎		△	
	小児看護学概論	FHNU580706L2	◎	○		△	
	小児看護援助論 I	FHNU580706L2	◎	○	△		
	小児看護援助論 II	FHNU580706S3	○	◎		△	
	精神看護学概論	FHNU580606S2	◎		○	△	
	精神看護援助論 I	FHNU580606L2	◎	○	△		
専門科目	精神看護援助論 II	FHNU580606S3	○	◎	△		
	在宅看護学概論	FHNU580806L2	◎		△		○
	在宅看護援助論 I	FHNU580806L2	◎	○		△	
	在宅看護援助論 II	FHNU580806S3	○	◎		△	
	生活と地域	FHNU580806L1	◎	○		△	
	地域包括ケアと看護	FHNU580806L4	○	◎		△	
	リハビリテーション看護論	FHNU590106L3	◎	○		△	
	家族看護論	FHNU580706L2	◎	○		△	
	緩和ケア論	FHNU580606L4	◎	○		△	
看護学臨地実習	生活者を知る実習	FHNU580806P1	△		◎	○	
	早期実験実習	FHNU580506P1	△		◎	○	
	基礎看護学実習	FHNU580506P2	○	◎		△	
	成人看護学実習 I (慢性期)	FHNU580606P3	○	◎		△	
	成人看護学実習 II (急性期)	FHNU580606P3	○	◎		△	
	成人看護学実習 III	FHNU580606P4	○	◎		△	
	老年看護学実習 I (病院実習)	FHNU580806P3	○	◎		△	
	老年看護学実習 II (施設実習)	FHNU580806P3	○	◎		△	
	母性看護学実習	FHNU580706P3	○	◎		△	
	小児看護学実習	FHNU580706P3	○	◎		△	
	精神看護学実習	FHNU580606P3	○	◎		△	
	在宅看護学実習	FHNU580806P3	○	◎			△
統合科目	地域包括支援実習	FHNU580806P4	○		◎		△
	看護研究 I	FHNU590106L3	◎		○	△	
	看護研究 II	FHNU590106S4	○		◎	△	
	看護統合実習	FHNU580606P4		◎	○		△
	看護倫理	FHNU580106L3	○		△	◎	
	看護英文講読	FHNU020806L4	△		◎		○
	看護教育学	FHNU580506L4	◎		○	△	
	感染看護論	FHNU580606L4	◎	○	△		
	災害看護論	FHNU580806L4	◎		△		○
	国際看護論	FHNU580306L4	○		◎	△	

<◎：大いに該当する ○：該当する △：一部該当する>

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
全学共通科目	教養セミナー	FZPT000010S1	◎	○	○	○	◎
	人間力セミナー	FZPT000010S1	○	◎	○	○	◎
	キャリア開発論 I	FZPT090200L1	◎	○	○	○	◎
	キャリア開発論 II	FZPT090200L2	○	◎	○	○	◎
	文学	FZPT020000L1	◎	◎	○		
	哲学	FZPT010000L1	◎	◎	○		
	歴史学	FZPT030000L1	◎	◎	○		
	芸術学	FZPT010000L1	○	◎	○		
	国際文化論	FZPT060000L1	○	◎	○		
	心理学	FZPT100000L1	○	◎	○		
	法学（日本国憲法を含む）	FZPT050000L1	○	◎	○		
	社会学	FZPT080000L1	○	◎	○		
	教育学	FZPT090000L1	○	◎	○		
	政治学	FZPT060000L1	○	◎	○		
	経済学	FZPT070000L1	○	◎	○		
	数学	FZPT110000L1	○	◎	○		
	物理学	FZPT130000L1	○	◎	○		
	化学	FZPT320000L1	○	◎	○		
	生物学	FZPT450000L1	○	◎	○		
	環境科学論	FZPT170000L1	○	◎	○		
	情報科学	FZPT600000L1	○	◎	○		
	体育講義	FZPT590000L1	○	◎	○		
	英語コミュニケーション I	FZPT021000S1	○			○	◎
	英語コミュニケーション II	FZPT021000S1	○			○	◎
	英語コミュニケーション III	FZPT021000S2	○			○	◎
	英語コミュニケーション IV	FZPT021000S2	○			○	◎
	情報リテラシー I	FZPT090700S1	○			○	◎
	情報リテラシー II	FZPT090700S1	○			○	◎
	体育実技A	FZPT590000P1	○			○	◎
	体育実技B	FZPT590000P1	○			○	◎
	ドイツ語 I a	FZPT021000S1	○			○	◎
	ドイツ語 I b	FZPT021000S1	○			○	◎
	ドイツ語 II a	FZPT021000S2	○			○	◎
	ドイツ語 II b	FZPT021000S2	○			○	◎
	フランス語 I a	FZPT021000S1	○			○	◎
	フランス語 I b	FZPT021000S1	○			○	◎
	フランス語 II a	FZPT021000S2	○			○	◎
	フランス語 II b	FZPT021000S2	○			○	◎
	中国語 I a	FZPT021000S1	○			○	◎
	中国語 I b	FZPT021000S1	○			○	◎
	中国語 II a	FZPT021000S2	○			○	◎
	中国語 II b	FZPT021000S2	○			○	◎
教学養成部科目通	医療と倫理	FZPT580101L2	○		△	◎	
	人間関係論	FZPT100101L2	○		△	○	
	社会福祉学	FZPT080201L1		◎	○	△	
	医療英語	FZPT020801S2	○		△	◎	
専門基礎科目	医療概論	FHPT580103L1	○		○		△
	栄養生化学	FHPT590403L1	○	△	○		
	薬理学	FHPT470403L1	○	△	○		
	臨床心理学	FHPT100303L2	○	△	○		
	病態学 I	FHPT490503L1	○	△	○		
	病態学 II	FHPT490703L2	○	△	○		
	病態治療学 I	FHPT530203L2	○	○	△		
	病態治療学 II	FHPT560203L2	○	○	△		
	病態治療学 III	FHPT530103L2	○	○	△		
	救急医学と蘇生法	FHPT550603L2	○	○	△		
	人間発達学	FHPT080103L1	○	△	○		
	健康増進論	FHPT580303L2	○	△	○		
	チーム連携論	FHPT590103L3			○	△	◎
	解剖学	FHPT480105L1	○	○		○	△
	解剖学実習	FHPT480105P1	○	△		○	○
人体の構造と発達機能及	機能解剖学	FHPT480105S2	○		△		○
	生理学	FHPT480205L1	○	○	△		
	運動生理学	FHPT480205S2	○	○	△		○
	基礎運動学	FHPT200105L2	○	○	△		
	運動学演習	FHPT200105S2	○	○	△		○
	病態運動学	FHPT590105S2	○	○	△		

区分		授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
				1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
専門基礎科目	ち疾及び障害の進歩の程成のり併立	精神医学	FHPT520305L2	○	△	○		
		リハビリテーション障害学 I (運動器)	FHPT590105L2	○	○	△		
		リハビリテーション障害学 II (神経・筋系障害)	FHPT590105L2	○	○	△		
		リハビリテーション障害学 III (内部障害、その他)	FHPT590105L2	○	○	△		
		臨床検査と画像データ解析	FHPT520405L3	○	○	△		
		小児の発達と障害	FHPT520505L2	○	○	△		
		保健医療福祉とリハビリテーションの概論	FHPT590105L1	○		○	△	
		保健医療福祉と地域リハビリテーションの理念	FHPT590105L1	○		○	△	
専門科目	基礎理学療法学	理学療法概論	FHPT590106L1	○	○	△		
		基礎理学療法学	FHPT590106L2	○	○	△		
		基礎理学療法学演習 I	FHPT590106S2	○	○		△	○
		基礎理学療法学演習 II	FHPT590106S2	○	○		△	○
		理学療法研究方法論	FHPT590106S3	○		○		△
	評価学療法	理学療法管理学	FHPT590106L4	○	△	○		
		理学療法評価学	FHPT590106L2	○	△	○		
		理学療法評価学演習 I	FHPT590106S2	○	○		○	○
		理学療法評価学演習 II	FHPT590106S2	○	○		○	○
		障害別機能評価演習	FHPT590106S3	○	○		○	○
専門科目	理学療法治療学	運動器障害理学療法学	FHPT590106L3	○	△	○		
		運動器障害理学療法学演習 I	FHPT590106S3	○	○		○	○
		運動器障害理学療法学演習 II	FHPT590106S3	○	○		○	○
		神経障害理学療法学	FHPT590106L3	○	△	○		
		神経障害理学療法学演習 I	FHPT590106S3	○	○		○	○
		神経障害理学療法学演習 II	FHPT590106S3	○	○		○	○
		内部障害理学療法学	FHPT590106L3	○	△	○		
		内部障害理学療法学演習 I	FHPT590106S3	○	○		○	○
		内部障害理学療法学演習 II	FHPT590106S3	○	○		○	○
		高齢者理学療法	FHPT590106S3	○	○		○	○
専門科目	理学療法療学	小児発達障害理学療法学	FHPT590106S3	○	○	○		
		スポーツ障害と理学療法	FHPT590106S4	○	○		○	○
		装具学と補装具療法	FHPT590106L3	○	○	○		△
		義肢学と切断者の理学療法	FHPT590106L2	○	○	○		△
		理学療法技術論 I	FHPT590106L3	○	○			○
	地域理学	理学療法技術論 II	FHPT590106S4	○	○		○	○
		マニュアル・セラピー	FHPT590106S4	○	○		○	○
		地域と理学療法	FHPT590106L3	○	○	○		○
		高齢者の医療福祉と介護予防	FHPT590106L3	○	○	○		
		生活環境論	FHPT590106S3	○	○	○		△
専門科目	臨床実習	住環境と福祉用具	FHPT590106S3	○	○	○		△
		臨床見学実習	FHPT590116P1	△	△	○	○	○
		臨床体験実習	FHPT590116P2	○	○	○	○	○
		臨床実習 I	FHPT590116P3	○	○	○	○	○
		臨床実習 II	FHPT590116P4	○	○	○	○	○
		臨床実習セミナー I	FHPT590116P3	○	○	○	○	○
		臨床実習セミナー II	FHPT590116P4	○	○	○	○	○
		卒業研究	FHPT590126S4	○	○	○	○	○
		理学療法学特論	FHPT590106L4	○	○	○		○
		理学療法研究セミナー	FHPT590106L4	○	○	○		○

2024年度 経営学部 経営学科 カリキュラムマップ ナンバリングコード

<◎：大いに該当する ○：該当する △：一部該当する>

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
全 学 共 通 科 目	教養セミナー	FZBA000010S1	◎	○	○	○	◎
	人間力セミナー	FZBA000010S1	○	◎	○	○	◎
	キャリア開発論 I	FZBA090200L1	◎	○	○	○	◎
	キャリア開発論 II	FZBA090200L2	○	◎	○	○	◎
	文学	FZBA020000L1	◎	◎	○		
	哲学	FZBA010000L1	◎	◎	○		
	歴史学	FZBA030000L1	◎	◎	○		
	芸術学	FZBA010000L1	○	◎	○		
	国際文化論	FZBA060000L1	◎	◎	○		
	心理学	FZBA100000L1	◎	◎	○		
	法学（日本国憲法を含む）	FZBA050000L1	◎	◎	○		
	社会学	FZBA080000L1	◎	◎	○		
	教育学	FZBA090000L1	◎	◎	○		
	政治学	FZBA060000L1	◎	◎	○		
	経済学	FZBA070000L1	◎	◎	○		
	数学	FZBA110000L1	◎	◎	○		
	物理学	FZBA130000L1	◎	◎	○		
	化学	FZBA320000L1	◎	◎	○		
	生物学	FZBA450000L1	◎	◎	○		
	環境科学論	FZBA170000L1	◎	◎	○		
	情報科学	FZBA600000L1	◎	◎	○		
	体育講義	FZBA590000L1	◎	◎	○		
	英語コミュニケーション I	FZBA021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーション II	FZBA021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーション III	FZBA021000S2	◎			○	◎
	英語コミュニケーション IV	FZBA021000S2	◎			○	◎
学 部 共 通 科 目	情報リテラシー I	FZBA090700S1	◎			○	◎
	情報リテラシー II	FZBA090700S1	◎			○	◎
	体育実技A	FZBA590000P1	◎			○	◎
	体育実技B	FZBA590000P1	◎			○	◎
	ドイツ語 I a	FZBA021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語 I b	FZBA021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語 II a	FZBA021000S2	◎			○	◎
	ドイツ語 II b	FZBA021000S2	◎			○	◎
	フランス語 I a	FZBA021000S1	◎			○	◎
	フランス語 I b	FZBA021000S1	◎			○	◎
専 門 教 育 科 目	フランス語 II a	FZBA021000S2	◎			○	◎
	フランス語 II b	FZBA021000S2	◎			○	◎
	中国語 I a	FZBA021000S1	◎			○	◎
	中国語 I b	FZBA021000S1	◎			○	◎
	中国語 II a	FZBA021000S2	◎			○	◎
	中国語 II b	FZBA021000S2	◎			○	◎
科 部 共 通	教養演習	FBBA070011S2		○	○	○	○
	統計学	FBBA120401L1	○	○			
	キャリア開発論 III	FBBA090201L3	○	○	○	○	○
	キャリア開発論 IV	FBBA090201L3	○	○	○	○	○
	日本事情 I	FBBA800101S1	○		○	○	
	日本事情 II	FBBA800101S1	○		○	○	
専 門 基 础 科 目	経営学総論 I	FBBA070805L1	○	○	○		
	経営学総論 II	FBBA070805L1	○	○	○		
	経営管理論	FBBA070805L2	○	○	○		
	経営組織論	FBBA070805L2	○	○	○		○
	簿記 I	FBBA071005L1	○	○	○		○
	会計学	FBBA071005L2	○	○	○		○
	情報科学概論 I	FBBA600105L1	○	○			

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
経営分野専門科目	マーケティング論	FBBA070906L2			○		○
	経営戦略論	FBBA070806L2	○	○	○		○
	人的資源管理論	FBBA070806L2	○	○	○		○
	中小企業論	FBBA070806L2	○	○	○	○	
	サービス経営論	FBBA070806L3	○	○	○	○	○
	財務管理論	FBBA070606L3	○	○			○
	生産管理論	FBBA070806L3	○	○	○		○
	流通経営論	FBBA070806L3			○		○
	国際経営論	FBBA070806L3	○	○			
	地域経営論	FBBA070806L2	○	○	○		
	販売管理論	FBBA070906L3			○		○
	サービスマーケティング	FBBA070906L3			○		○
	観光経営論	FBBA800206L3	○	○	○	○	○
	物流管理論	FBBA070806L4			○		○
	国際マーケティング	FBBA070906L3			○		○
	企業倫理	FBBA070806L4	○	○	○		○
	ファイナンス	FBBA070606L3	○	○			○
	ホスピタリティ論	FBBA800206L4	○	○	○	○	○
	ビジネスコミュニケーション	FBBA070806L2	○	○	○	○	○
	民法概論	FBBA050606L2	○	○			
	商法概論	FBBA050606L2	○	○			
	経営学特別講義A	FBBA070806L2	○	○	○	○	○
	経営学特別講義B	FBBA070806L2	○	○	○	○	○
	企業研修	FBBA090206S2			○		○
専門教育科目	簿記II	FBBA071006L1	○	○	○		○
	上級簿記	FBBA071006L2	○	○	○		○
	工業簿記	FBBA071006L2	○	○	○		○
	財務諸表論	FBBA071006L3	○	○	○		○
	原価計算論	FBBA071006L3	○	○	○		○
	管理会計論	FBBA071006L3	○	○	○		○
	経営分析論	FBBA071006L4	○	○	○		○
	会計監査論	FBBA071006L4	○	○	○		○
	税務会計論	FBBA071006L3	○	○	○		○
情報分野専門科目	情報科学概論II	FBBA600106L1	○	○			
	経営情報システム論	FBBA600106L2	○	○			
	プログラミング	FBBA600106L2	○	○	○	○	○
	データベース	FBBA600806L3	○				
	情報ネットワーク	FBBA600606L3	○				
	マルチメディア	FBBA600106L3	○				○
	e-コマース	FBBA070906L3	○	○	○		
経済分野専門科目	経済学総論	FBBA070206L1	○	○			
	ミクロ経済学	FBBA070106L2	○	○			
	マクロ経済学	FBBA070106L2	○	○	○		
	金融論	FBBA070606L2	○	○			○
	日本経済論	FBBA070206L2	○	○			
	地域産業論	FBBA070406L3	○	○			
	観光学	FBBA800206L3	○	○	○	○	○
研究・卒業	環境経済論	FBBA070406L3	○	○			
	専門基礎演習	FBBA070029S2	○	○	○	○	○
	専門演習I	FBBA070039S3	○	○	○	○	○
	専門演習II	FBBA070039S3	○	○	○	○	○
	卒業研究I	FBBA070049S4	○	○	○	○	○
	卒業研究II	FBBA070049S4	○	○	○	○	○

<◎：大いに該当する ○：該当する △：一部該当する>

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
全学共通科目	教養セミナー	FZHN000010S1	◎	○	○	○	◎
	人間力セミナー	FZHN000010S1	○	◎	○	○	◎
	キャリア開発論 I	FZHN090200L1	◎	○	○	○	◎
	キャリア開発論 II	FZHN090200L2	○	◎	○	○	◎
	文学	FZHN020000L1	◎	◎	○		
	哲学	FZHN010000L1	◎	◎	○		
	歴史学	FZHN030000L1	◎	◎	○		
	芸術学	FZHN010000L1	○	◎	○		
	国際文化論	FZHN060000L1	◎	◎	○		
	心理学	FZHN100000L1	◎	◎	○		
	法学（日本国憲法を含む）	FZHN050000L1	◎	◎	○		
	社会学	FZHN080000L1	◎	◎	○		
	教育学	FZHN090000L1	◎	◎	○		
	政治学	FZHN060000L1	◎	◎	○		
	経済学	FZHN070000L1	◎	◎	○		
	数学	FZHN110000L1	◎	◎	○		
	物理学	FZHN130000L1	◎	◎	○		
	化学	FZHN320000L1	◎	◎	○		
	生物学	FZHN450000L1	◎	◎	○		
	環境科学論	FZHN170000L1	◎	◎	○		
	情報科学	FZHN600000L1	◎	◎	○		
	体育講義	FZHN590000L1	◎	◎	○		
	英語コミュニケーション I	FZHN021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーション II	FZHN021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーション III	FZHN021000S2	◎			○	◎
	英語コミュニケーション IV	FZHN021000S2	◎			○	◎
	情報リテラシー I	FZHN090700S1	◎			○	◎
	情報リテラシー II	FZHN090700S1	◎			○	◎
	体育実技A	FZHN590000P1	◎			○	◎
	体育実技B	FZHN590000P1	◎			○	◎
	ドイツ語 I a	FZHN021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語 I b	FZHN021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語 II a	FZHN021000S2	◎			○	◎
	ドイツ語 II b	FZHN021000S2	◎			○	◎
	フランス語 I a	FZHN021000S1	◎			○	◎
	フランス語 I b	FZHN021000S1	◎			○	◎
	フランス語 II a	FZHN021000S2	◎			○	◎
	フランス語 II b	FZHN021000S2	◎			○	◎
	中国語 I a	FZHN021000S1	◎			○	◎
	中国語 I b	FZHN021000S1	◎			○	◎
	中国語 II a	FZHN021000S2	◎			○	◎
	中国語 II b	FZHN021000S2	◎			○	◎
学部共通科目	健康プロデュース概論	FPHN590013L1	○	○	○		
	健康プロデュース展開論	FPHN590013L1		○	○	○	○
	健康プロデュース活動演習	FPHN590013S1		○	○	○	○
	健康プロデュースインターンシップ	FPHN590023S3		○	○	○	○
	いのちの科学と倫理	FPHN010103L1	◎	○	△		
	総合科目 A	FPHN590003L1	○			○	○
	総合科目 B	FPHN590003L1	○			○	○
専門基礎分野	科基礎科目	健康栄養科学概論	◎		◎	○	◎
		生物有機化学	◎			△	
	社会健・康環境と	公衆衛生学 I	◎	○			
		公衆衛生学 II	◎	○			
		公衆衛生学実習	○	○			
		健康栄養情報検索実習	○	○			
		看護・介護論	◎			○	
		保健医療福祉論	◎			○	
	人体の構造と機能及び	人体構造・機能論 I	◎		○	○	○
		生化学 I	◎				
		生化学 II	◎				
		生化学実験	◎	○	○		
		病態生理学	◎	○	○		
		人体構造・機能論 II	◎	○	○		
		人体構造・機能論 III	◎	○	○		
		人体構造・機能実験	○		○		○
		臨床検査学実習		○	○		○
		運動生理学	◎				
		病理学	◎	○			

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
専門基礎分野	食べ物と健康	食品・栄養科学基礎実験	FPHN380505E1	◎	◎		○
		食品学 I	FPHN380505L1	◎			○
		食品学実験	FPHN380505E2	◎	◎		○
		食品学 II	FPHN380505L2	◎			○
		食品衛生学	FPHN380505L2	◎		△	
		食品衛生学実験	FPHN380505E2		◎	○	○
		調理学	FPHN080305L1	◎		△	
		調理学実習 I	FPHN080305P1	○	◎		○
		調理学実習 II	FPHN080305P2	○	◎		○
		食品学 III	FPHN380505L3	◎		○	
		食品安全論	FPHN380505L2	△	◎		○
		フードスペシャリスト論	FPHN080305L2		◎		○
		フードコーディネート論	FPHN080305L2	◎	○	○	
		食品官能評価・鑑別演習 I	FPHN080305S2	◎	○		
		食品官能評価・鑑別演習 II	FPHN080305S2	◎	○		
専門分野	基礎栄養学	基礎栄養学 I	FPHN590406L1	◎			
		基礎栄養学 II	FPHN590406L1	◎			
		栄養学実験	FPHN590406E2	◎	◎		○
		栄養・食品機能論	FPHN590406L3	◎			○
	応用栄養学	応用栄養学 I	FPHN590406L2	◎			
		応用栄養学 II	FPHN590406L2	◎			
		応用栄養学実習	FPHN590406P2	◎	○		
		食事摂取基準論	FPHN590406L2	◎			
		スポーツ栄養マネジメント論	FPHN590406L3	◎		○	○
		スポーツ栄養マネジメント実習	FPHN590406P3		◎	○	○
	栄養教育論	栄養教育論 I	FPHN590406L2	◎	○		
		栄養教育論 II	FPHN590406L3	◎	○		
		栄養教育論実習	FPHN590406P3	○	◎		
		栄養カウンセリング論	FPHN590406L3	○	◎		○
	臨床栄養学	臨床栄養学 I	FPHN590406L2	◎	◎	○	
		臨床栄養学 II	FPHN590406L3	◎			
		病態栄養管理実習	FPHN590406P3	△	◎		○
		臨床栄養学実習	FPHN590406P3	○	◎		△
		臨床栄養学 III	FPHN590406L3	◎	○	△	
		福祉栄養食支援実習	FPHN590406P3	○	◎	△	
		臨床栄養チーム医療論	FPHN590406L3		○	○	○
		ライフスタイル療法	FPHN590406L4	◎		○	
	公衆栄養学	ヘルスサポート論	FPHN590406L3	◎		○	
		公衆栄養学 I	FPHN590406L3	◎	○		
		公衆栄養学 II	FPHN590406L3	◎	○		
		公衆栄養学実習	FPHN590406P3		◎	△	○
	給食経営論	食育・保健指導演習	FPHN590406S3		◎	○	○
		給食経営管理論	FPHN590406L2	◎		○	△
		給食実務論	FPHN590406L2	◎	○		△
		給食経営管理実習	FPHN590406P3		◎	△	○
	総合演習	フードマーケティング論	FPHN410106L3	◎	◎	○	
		総合演習	FPHN590406S4		◎	△	○
		臨地実習演習	FPHN590406S3			○	△
		管理栄養士基礎演習	FPHN590406S3	◎			
	臨地実習	管理栄養士応用演習	FPHN590406S4	◎	◎	○	
		臨地実習 I (給食の運営)	FPHN590406P3			○	○
		臨地実習 II (臨床栄養)	FPHN590406P3		△	○	○
		臨地実習 III (給食経営管理)	FPHN590406P3			○	△
	卒業研究	臨地実習 IV (公衆栄養)	FPHN590406P4	△		○	
		卒業研究卒業ゼミ	FPHN590416T4	◎	○	○	○

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
教職科目	教職概論	FPLL090108L1					
	教育学概論	FPLL090108L1					
	学校と教育の歴史	FPLL090108L3					
	教育心理学	FPLL100208L1					
	学習・発達論	FPLL100208L1					
	教育経営論	FPLL090108L2					
	教育制度論	FPLL090408L3					
	特別支援教育	FPLL090608L3					
	教育課程編成論	FPLL090408L1					
	道徳教育指導論	FPHN090408L2					
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	FPHN090408L4					
	教育方法・技術論	FPHN090708L3					
	生徒指導論	FPHN090208L3					
	教育相談の基礎	FPHN100308L4					
	教職実践演習（栄養教諭）	FPHN090408S4					
	事前及び事後の指導（栄養）	FPHN090408S4					
	学校栄養教育実習	FPHN090408P4					
	学校栄養指導論Ⅰ	FPHN090408L3					
	学校栄養指導論Ⅱ	FPHN090408L3					

<◎：大いに該当する ○：該当する △：一部該当する>

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
全学共通科目	教養セミナー	FZCH000010S1	◎	○	○	○	◎
	人間力セミナー	FZCH000010S1	○	◎	○	○	◎
	キャリア開発論Ⅰ	FZCH090200L1	◎	○	○	○	◎
	キャリア開発論Ⅱ	FZCH090200L2	○	◎	○	○	◎
	文学	FZCH020000L1	◎	◎	○		
	哲学	FZCH010000L1	◎	◎	○		
	歴史学	FZCH030000L1	◎	◎	○		
	芸術学	FZCH010000L1	○	◎	○		
	国際文化論	FZCH060000L1	○	◎	○		
	心理学	FZCH100000L1	○	◎	○		
	法学（日本国憲法を含む）	FZCH050000L1	○	◎	○		
	社会学	FZCH080000L1	○	◎	○		
	教育学	FZCH090000L1	○	◎	○		
	政治学	FZCH060000L1	○	◎	○		
	経済学	FZCH070000L1	○	◎	○		
	数学	FZCH110000L1	○	◎	○		
	物理学	FZCH130000L1	○	◎	○		
	化学	FZCH320000L1	○	◎	○		
	生物学	FZCH450000L1	○	◎	○		
	環境科学論	FZCH170000L1	○	◎	○		
	情報科学	FZCH600000L1	○	◎	○		
	体育講義	FZCH590000L1	○	◎	○		
	英語コミュニケーションⅠ	FZCH021000S1	○			○	◎
	英語コミュニケーションⅡ	FZCH021000S1	○			○	◎
	英語コミュニケーションⅢ	FZCH021000S2	○			○	◎
	英語コミュニケーションⅣ	FZCH021000S2	○			○	◎
学部共通科目	情報リテラシーⅠ	FZCH090700S1	○			○	◎
	情報リテラシーⅡ	FZCH090700S1	○			○	◎
	体育実技A	FZCH590000P1	○			○	◎
	体育実技B	FZCH590000P1	○			○	◎
	ドイツ語Ⅰa	FZCH021000S1	○			○	◎
	ドイツ語Ⅰb	FZCH021000S1	○			○	◎
	ドイツ語Ⅱa	FZCH021000S2	○			○	◎
	ドイツ語Ⅱb	FZCH021000S2	○			○	◎
	フランス語Ⅰa	FZCH021000S1	○			○	◎
	フランス語Ⅰb	FZCH021000S1	○			○	◎
専門教育科目（専門分野）	フランス語Ⅱa	FZCH021000S2	○			○	◎
	フランス語Ⅱb	FZCH021000S2	○			○	◎
	中国語Ⅰa	FZCH021000S1	○			○	◎
	中国語Ⅰb	FZCH021000S1	○			○	◎
	中国語Ⅱa	FZCH021000S2	○			○	◎
	中国語Ⅱb	FZCH021000S2	○			○	◎
	健康プロデュース概論	FPHN590013L1	○	○	○		
	健康プロデュース展開論	FPHN590013L1		○	○	○	○
	健康プロデュース活動演習	FPHN590013S1		○	○	○	○
	健康プロデュースインターンシップ	FPHN590023S3		○	○	○	○
基礎理論系科目	いのちの科学と倫理	FPHN010103L1	○	○	△		
	総合科目A	FPHN590003L1	○			○	○
	総合科目B	FPHN590003L1	○			○	○
	教育原理	FPCH090106L2	○	○			
	教育心理学（幼稚園）	FPCH100206L2	○	○			
	発達心理学	FPCH100206L1	○			○	
	教育と社会	FPCH090206L1	○	○			
	保育原理	FPCH090306L1	○	○			
基礎演習系	社会的養護Ⅰ	FPCH090206L2		○		○	○
	子ども家庭福祉	FPCH080206L1		○	○	○	
	子ども家庭支援の心理学	FPCH090306L1		○	○		
	こども健康概論	FPCH090306L2	○	○	○		
	音楽表現基礎演習	FPCH090306S1					○
	保育内容（音楽基礎Ⅰ）	FPCH090306S1					○

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
応用理論系科目	子どもの保健	FPCH090306L2	◎	○	◎		
	社会福祉	FPCH080206L2	◎				
	教育方法の理論と実践	FPCH090106L3	◎	○	○		
	幼児教育論	FPCH090306L3		◎		◎	
	家庭支援論	FPCH090306L3	◎	○			○
	子育て臨床家族社会学	FPCH080106L3		◎	◎		○
	教育の制度と経営	FPCH090106L3	◎	◎			○
	特別なニーズ教育の基礎と方法	FPCH090606L3	◎				○
	特別支援教育総論	FPCH090606L4	◎		○		○
	現代保育論	FPCH090306L4	◎	○			
専門教育科目（専門分野）	保育者論	FPCH090306L2	◎			◎	
	教育・保育課程論	FPCH090306L2	◎	◎			◎
	乳児保育論	FPCH090306L1	◎				
	子どもと健康	FPCH090306S2	◎	◎		○	
	子どもと人間関係	FPCH090306L3	◎	◎			
	子どもと環境	FPCH090306L2	◎	◎			
	子どもと言葉	FPCH090306L2	◎				◎
	子どもと音楽表現	FPCH090306L1					◎
	子どもと造形表現	FPCH090306L2	◎				◎
	保育内容総論Ⅰ	FPCH090306L1	◎		○		○
	保育内容総論Ⅱ	FPCH090306L1		◎	◎		
	保育内容（健康）	FPCH090306S2	◎	◎		○	
	保育内容（人間関係）	FPCH090306S2	◎				◎
	保育内容（環境）	FPCH090306S2	◎	○			○
	保育内容（言葉）	FPCH090306S2	◎				◎
	保育内容（音楽表現）	FPCH090306S2			◎	○	◎
	保育内容（造形表現）	FPCH090306S3	◎			○	○
応用演習系科目	子ども家庭支援論	FPCH090306L3	◎			◎	
	幼児理解及び教育相談の理論と方法	FPCH090306L4	◎	○	○		
	小児保健演習	FPCH090306S3	◎	◎		○	○
	学校保健指導論	FPCH580306L3	◎	◎			
	ピアノ奏法Ⅰ	FPCH010706S1				○	◎
	ピアノ奏法Ⅱ	FPCH010706S2	◎				◎
	ピアノ奏法Ⅲ	FPCH010706S2			○	◎	
	ピアノ演奏Ⅳ	FPCH010706S3	◎	◎			
	障害児保育	FPCH090306S2	◎	◎		○	
	乳児保育演習	FPCH090306S2	◎	◎			○
専門演習系	社会の養護Ⅱ	FPCH090206S2		◎		◎	○
	食農保育演習	FPCH090406S2	◎			◎	
	児童英語	FPCH021006S2					◎
	保育内容（音楽基礎Ⅱ）	FPCH090306S3	◎		○		◎
	子育て支援	FPCH090306S3	◎	◎			◎
総合表現活動演習	子どもの理解と援助	FPCH090306S2	◎	◎			
	子ども健康栄養学演習	FPCH590406S3	◎	◎			○
	こども健康学総合演習Ⅰ	FPCH090306S3	◎	○	◎		
	こども健康学総合演習Ⅱ	FPCH090306S3	◎	○	◎		
実習系科目	こども健康学総合演習Ⅲ	FPCH090306S4	○	◎			○
	こども健康学総合演習Ⅳ	FPCH090306S4	○	◎			◎
	教職実践演習（幼稚園）	FPCH090306S4	◎			◎	◎
	自然あそび	FPCH090306S1				◎	◎
	製作あそび	FPCH090306S1	◎				◎
	運動あそび	FPCH090306S1	◎				◎
	総合あそび	FPCH090306S3		◎			
	環境教育演習	FPCH090306S4	◎			◎	
	教育実習（幼稚園）	FPCH090306P3		◎		◎	◎
	保育基礎演習	FPCH090306S1			◎	◎	◎
	保育実習指導Ⅰ（保育所）	FPCH090306S2		◎		◎	◎
	保育実習Ⅰ（保育所）	FPCH090306P2			◎	◎	◎
	保育実習指導Ⅱ	FPCH090306S3		◎		◎	◎
	保育実習Ⅱ	FPCH090306P3		◎		◎	◎
	保育実習指導Ⅰ（施設）	FPCH090306S3	◎			◎	
	保育実習Ⅰ（施設）	FPCH090306P3	◎			◎	

<◎：大いに該当する ○：該当する △：一部該当する>

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
全 学 共 通 科 目	教養セミナー	FZIS000010S1	◎	○	○	○	◎
	人間力セミナー	FZIS000010S1	○	◎	○	○	◎
	キャリア開発論Ⅰ	FZIS090200L1	◎	○	○	◎	○
	キャリア開発論Ⅱ	FZIS090200L1	○	◎	○	○	◎
	文学	FZIS020000L1	◎	○	○		
	哲学	FZIS010000L1	◎	○	○		
	歴史学	FZIS030000L1	◎	○	○		
	芸術学	FZIS010000L1	◎	○	○		
	国際文化論	FZIS060000L1	◎	○	○		
	心理学	FZIS100000L1	◎	○	○		
	法学(日本国憲法を含む)	FZIS050000L1	◎	○	○		
	社会学	FZIS080000L1	◎	○	○		
	教育学	FZIS090000L1	◎	○	○		
	政治学	FZIS060000L1	◎	○	○		
	経済学	FZIS070000L1	◎	○	○		
	数学	FZIS110000L1	◎	○	○		
	物理学	FZIS130000L1	◎	○	○		
	化学	FZIS320000L1	◎	○	○		
	生物学	FZIS450000L1	◎	○	○		
	環境科学論	FZIS170000L1	◎	○	○		
	情報科学	FZIS600000L1	◎	○	○		
	体育講義	FZIS590000L1	◎	○	○		
	英語コミュニケーションⅠ	FZIS021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーションⅡ	FZIS021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーションⅢ	FZIS021000S2	◎			○	◎
	英語コミュニケーションⅣ	FZIS021000S2	◎			○	◎
学 部 共 通 科 目	情報リテラシーⅠ	FZIS090700S1	◎			○	◎
	情報リテラシーⅡ	FZIS090700S1	◎			○	◎
	体育実技A	FZIS590000P1	◎			○	◎
	体育実技B	FZIS590000P1	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅰa	FZIS021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅰb	FZIS021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅱa	FZIS021000S2	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅱb	FZIS021000S2	◎			○	◎
	フランス語Ⅰa	FZIS021000S1	◎			○	◎
	フランス語Ⅰb	FZIS021000S1	◎			○	◎
専 門 教 育 科 目	フランス語Ⅱa	FZIS021000S2	◎			○	◎
	フランス語Ⅱb	FZIS021000S2	◎			○	◎
	中国語Ⅰa	FZIS021000S1	◎			○	◎
	中国語Ⅰb	FZIS021000S1	◎			○	◎
	中国語Ⅱa	FZIS021000S2	◎			○	◎
	中国語Ⅱb	FZIS021000S2	◎			○	◎
	健康プロデュース概論	FPHN590013L1	○	○	○		
	健康プロデュース展開論	FPHN590013L1		○	○	○	○
	健康プロデュース活動演習	FPHN590013S1		○	○	○	○
	健康プロデュースインターンシップ	FPHN590023S3		○	○	○	○
基 幹 科 目	いのちの科学と倫理	FPHN010103L1	◎	○	△		
	総合科目A	FPHN590003L1	○			○	○
	総合科目B	FPHN590003L1	○			○	○
	健康科学概論	FPIS590405L1	◎	○			
	運動生理学概論	FPIS480205L1	◎				
	解剖学概論	FPIS480105L1	◎		△	◎	
	医学一般基礎	FPIS590205L1	◎				
	公衆衛生学概論	FPIS580305L2	◎		○		
	スポーツ心理学概論	FPIS590205L1	◎	○			
	心身関係論	FPIS590405L1	◎		○		
専 門 教 育 科 目	スポーツ社会学	FPIS590205L1	◎		○		
	身体運動文化論	FPIS590305L2	◎	○	○		
	リサーチデザインⅠ	FPIS600305S2	◎		△	◎	
	リサーチデザインⅡ	FPIS600305S2	○	○			
	生活習慣病論	FPIS590405L1	◎		○		
	健康発育発達論	FPIS590305L2	◎		△	◎	
	機能解剖学Ⅰ	FPIS480105S2	◎		△	○	
	機能解剖学Ⅱ	FPIS480105S2	◎		△	○	
	生理学	FPIS480205L2	◎				
	運動学	FPIS590205L2	◎	○			
	スポーツ生理学	FPIS590205L2	◎	△	○		
	健康スポーツ栄養学	FPIS590405L2	◎	○	○		
	トレーナー概論	FPIS590205L1	◎	○	△		
	トレーナー演習	FPIS590205S2	○		△		◎
	トレーニング概論	FPIS590205L1	◎	○	△		
	スポーツ評価測定法	FPIS590205S2		△	○	○	○
	スポーツ教育指導論	FPIS090105L2	◎			○	◎
	救急処置法	FPIS550605S2	◎			△	○

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
基幹科目	体育実技 (体つくり運動)	FPIS590305P1	○				○
	体育実技 (器械運動)	FPIS590305P2	○		○		○
	体育実技 (陸上)	FPIS590305P2	○		△		○
	体育実技 (水泳)	FPIS590305P1	○				○
	体育実技 (バレーボール)	FPIS590305P2	◎		○		○
	体育実技 (バスケットボール)	FPIS590305P2	○		○		○
	体育実技 (剣道)	FPIS590305P2	○		○		○
	体育実技 (ダンス)	FPIS590305P2	○		○		○
	体育実技 (サッカー)	FPIS590305P2	○		○		○
	体育実技 (卓球)	FPIS590305P2	○		○		○
	体育実技 (バドミントン)	FPIS590305P2	○		○		○
	体育実技 (テニス)	FPIS590305P2	○		○		○
	体育実技 (柔道)	FPIS590305P2	○		○		○
	体育実技 (野外活動: スキー)	FPIS590305P2	○		○		○
	発達心理学	FPIS100205L1	○	○			
	臨床心理学	FPIS100305L2	○	○			
	応用スポーツ心理学	FPIS590205L2	○	○	○		
	人格心理学	FPIS100105L2	○	○	○	○	
	臨床スポーツ心理学	FPIS590205L2		○	○		
	スポーツボランティア論	FPIS090505L3	△		○	○	
	スポーツ史	FPIS590205L1	○	○	○		
	生涯スポーツ論	FPIS090105L1	○	○		○	
	スポーツマネジメント論	FPIS590205L2		○			
	障害者スポーツ論	FPIS590205L3	○			○	
	障害者スポーツ演習	FPIS590205S3		○	△		○
	安全教育学	FPIS090105L2		○	○		
	健康教育学	FPIS090105L2	○	○	○		
	体育経営管理学	FPIS590305L3	○	○	△		
	学校保健	FPIS590305L3		○	○		
専門教育科目	健康運動指導論	FPIS590406L2	○	○	○		
	運動処方論	FPIS590406L3	○	○	○		
	運動処方演習	FPIS590406S3		○		○	○
	健康運動指導論演習 (心身マネジメントインターンシップ)	FPIS590406S4	○				○
	介護予防運動演習	FPIS590406S3	○				○
	健康づくり運動演習	FPIS590406S2	○				○
	エアロビック運動演習	FPIS590406S3	○				○
	スポーツバイオメカニクス	FPIS590206L3	○	○	△		
	ジュニアスポーツ演習	FPIS590206S3		○			○
	コーチング論	FPIS590206L3	○	○	△		
	トレーニング演習	FPIS590206S3	○				○
	スポーツ整形外科学	FPIS590206L2	○				
	スポーツ内科学	FPIS590206L3	○				
	ファーストエイド	FPIS590206S2	△	○			○
	コンディショニング論・演習	FPIS590206S2	○	○		△	
	スポーツ傷害評価法	FPIS590206S2	△	○			○
	リハビリテーション論・演習	FPIS590106S3	○	○			△
	アスレティックリハビリテーション	FPIS590106S3	○	○			△
	人間関係論	FPIS100306L2	○	○	○	○	
	心理療法論	FPIS100306L2	○	○			
	障害児心理学	FPIS100206L3	○	○	○	○	
	心理臨床テスト論・演習	FPIS100306S3	○	○	○	○	○
	心理サポート論	FPIS100306L3	○	○		○	
	心理療法演習	FPIS100306S3		○			○
	グループアプローチ論・演習	FPIS100306S3			○	△	○
	スポーツビジネス論	FPIS590206L2	○	○			
	スポーツ振興論	FPIS590206L3		○	○	○	
	スポーツの思想	FPIS590206L2	○	○	○		
	武道文化論	FPIS590306L2	○	○	○		
	生涯スポーツ演習	FPIS590206S3		○			○
専門科目	専門演習 I	FPIS590216S3	○	○	○	○	○
	専門演習 II	FPIS590216S3	○	○	○	○	○
	卒業研究 I	FPIS590226T4	○	○	○	○	○
	卒業研究 II	FPIS590226T4	○	○	○	○	○

<◎：大いに該当する ○：該当する △：一部該当する>

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
全学共通科目	教養セミナー	FZAM000010S1	◎	○	○	○	◎
	人間力セミナー	FZAM000010S1	○	○	○	○	◎
	キャリア開発論Ⅰ	FZAM090200L1	◎	○	○	○	○
	キャリア開発論Ⅱ	FZAM090200L2	○	○	○	○	○
	文学	FZAM020000L1	◎	○	○	○	
	哲学	FZAM010000L1	◎	○	○	○	
	歴史学	FZAM030000L1	◎	○	○	○	
	芸術学	FZAM010000L1	◎	○	○	○	
	国際文化論	FZAM060000L1	◎	○	○	○	
	心理学	FZAM100000L1	◎	○	○	○	
	法学（日本国憲法を含む）	FZAM050000L1	◎	○	○	○	
	社会学	FZAM080000L1	◎	○	○	○	
	教育学	FZAM090000L1	◎	○	○	○	
	政治学	FZAM060000L1	◎	○	○	○	
	経済学	FZAM070000L1	◎	○	○	○	
	数学	FZAM110000L1	◎	○	○	○	
	物理学	FZAM130000L1	◎	○	○	○	
	化学	FZAM320000L1	◎	○	○	○	
	生物学	FZAM450000L1	◎	○	○	○	
	環境科学論	FZAM170000L1	◎	○	○	○	
	情報科学	FZAM600000L1	◎	○	○	○	
	体育講義	FZAM590000L1	◎	○	○	○	
	英語コミュニケーションⅠ	FZAM021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーションⅡ	FZAM021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーションⅢ	FZAM021000S2	◎			○	◎
	英語コミュニケーションⅣ	FZAM021000S2	◎			○	◎
	情報リテラシーⅠ	FZAM090700S1	◎			○	◎
	情報リテラシーⅡ	FZAM090700S1	◎			○	◎
	体育実技A	FZAM590000P1	◎			○	◎
	体育実技B	FZAM590000P1	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅰa	FZAM021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅰb	FZAM021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅱa	FZAM021000S2	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅱb	FZAM021000S2	◎			○	◎
	フランス語Ⅰa	FZAM021000S1	◎			○	◎
	フランス語Ⅰb	FZAM021000S1	◎			○	◎
	フランス語Ⅱa	FZAM021000S2	◎			○	◎
	フランス語Ⅱb	FZAM021000S2	◎			○	◎
	中国語Ⅰa	FZAM021000S1	◎			○	◎
	中国語Ⅰb	FZAM021000S1	◎			○	◎
	中国語Ⅱa	FZAM021000S2	◎			○	◎
	中国語Ⅱb	FZAM021000S2	◎			○	◎
学部共通科目	健康プロデュース概論	FPHN590013L1	○	○	○		
	健康プロデュース展開論	FPHN590013L1			○	○	○
	健康プロデュース活動演習	FPHN590013S1			◎	○	○
	健康プロデュースインターナシップ	FPHN590023S3			○	○	○
	いのちの科学と倫理	FPHN010103L1	◎	○	△		
	総合科目A	FPHN590003L1	○			○	○
専門教育科目	総合科目B	FPHN590003L1	○			○	○
	健康科学概論	FPAM590206L1	○	○			
	運動生理学概論	FPAM480206L1	○				
	トレーニング概論	FPAM590206L1	○	○			
	身体運動文化論	FPAM590206L2	○	○	○		
	スポーツ心理学概論	FPAM590206L1	○	○			
	トレーナー概論	FPAM590206L1			○		
	生活習慣病論	FPAM590206L1	○	○			
	健康発育発達論	FPAM590206L2	○		○	○	
	障害者スポーツ論	FPAM590206L3	○		○	○	
	スポーツの思想	FPAM590206L2	○	○	○		
	安全教育学	FPAM090106L2	○		○	○	
健 康 運 動 学	健康教育学	FPAM090106L2	○	○	○		
	生涯スポーツ論	FPAM590206L1		○		○	

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
基礎医学	解剖学概論 I	FPAM480106L1	◎	○			
	解剖学概論 II	FPAM480106L1	◎	○			
	機能解剖学概論 I	FPAM480106L2	◎	○			
	機能解剖学概論 II	FPAM480106L2	◎	○			
	機能解剖学 I	FPAM480106L3	◎	○			
	機能解剖学 II	FPAM480106L3	◎	○			
	生理学 I	FPAM480206L1	◎	○			
	生理学 II	FPAM480206L1	◎	○			
	運動生理学 I	FPAM480206L2	◎	○	△		
	運動生理学 II	FPAM480206L2	◎	○	△		
	病態生理学	FPAM480206L3	◎	○	△		
	解剖生理学実習	FPAM480206P4	◎	○	△		
	運動学	FPAM590206L2	○	○	○		
	衛生学	FPAM580306L1	◎	○		△	
	公衆衛生学	FPAM580306L2	◎	○		△	
	病理学 I	FPAM490206L2	○				
	病理学 II	FPAM490206L2	○				
	臨床医学 I	FPAM520106L2	○		○	○	
	臨床医学 II	FPAM520106L2	○		○	○	
	内科学	FPAM520106L3	○		○	○	
	鑑別診断学	FPAM520106L3	○		○	○	
専門教育科目	外科学概論	FPAM550106L3	◎	△	○		
	外科学各論	FPAM550106L3	◎	△	○		
	医療概論	FPAM580106L1	○		○		
	リハビリテーション医学概論	FPAM590106L3	○	○	○		
	リハビリテーション医学各論	FPAM590106L3	○	○	○		
はりきゅう学	東洋医学概論 I	FPAM520106L1	◎				
	東洋医学概論 II	FPAM520106L1	◎	△			
	東洋医学臨床論 I	FPAM520106L2	◎	○	○		◎
	東洋医学臨床論 II	FPAM520106L2	◎	○	○		◎
	はりきゅう診断学 I (東洋)	FPAM520106L2	○		○	○	
	応用実習 I (東洋)	FPAM520106P3	◎	○	△	○	◎
	経絡経穴学 I	FPAM520106L1	◎				
	経絡経穴学 II	FPAM520106L1	◎				
	経絡経穴学実習	FPAM520106P1	◎				
	臨床経穴学	FPAM520106L2	○	○			
	臨床経穴学実習	FPAM520106P2	○	○	○		
	基礎療法実習 I	FPAM520106P1	◎			○	◎
	基礎療法実習 II	FPAM520106P1	○		△		◎
	基礎実習 I	FPAM520106P1	○	○			◎
	基礎実習 II	FPAM520106P1	○	○			◎
	基礎実習 III	FPAM520106P2	◎	○	○		
	はりきゅう触診実習	FPAM520106P2	◎	△			
	臨床はりきゅう学 I	FPAM560206L3	◎	○	△		
	臨床はりきゅう学 II	FPAM560206L3	◎	○	△		
	はりきゅう症候学 (現代)	FPAM520106L4	○		○	○	
	はりきゅう診断学 II (現代)	FPAM520106L3	◎	○	○		○
	応用実習 II (現代)	FPAM520106P3	◎			○	◎
専門演習	はりきゅう臨床特論 A	FPAM520106S2	◎	○	◎		○
	はりきゅう臨床特論 B	FPAM520106S2	○		△		◎
	応用療法実習 A	FPAM520106P4			○		◎
	応用療法実習 B	FPAM520106P4			○		◎
	はりきゅう理論	FPAM520106L3	◎	○			
	臨床生理学	FPAM480206L4	◎	○			○
	社会はりきゅう学	FPAM520106L3	○	○	○		
	介護福祉はりきゅう学	FPAM520106L4	◎	○	△		
	はりきゅう経営学	FPAM520106L4	○	○	○		
	臨床コミュニケーション	FPAM520106S2	△	○	△	◎	○

<◎：大いに該当する ○：該当する △：一部該当する>

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
全学共通科目	教養セミナー	FZJS000010S1	◎	○	○	○	◎
	人間力セミナー	FZJS000010S1	○	◎	○	○	◎
	キャリア開発論Ⅰ	FZJS090200L1	◎	○	○	○	◎
	キャリア開発論Ⅱ	FZJS090200L2	○	◎	○	○	◎
	文学	FZJS020000L1	◎	◎	○		
	哲学	FZJS010000L1	◎	◎	○		
	歴史学	FZJS030000L1	◎	◎	○		
	芸術学	FZJS010000L1	○	◎	○		
	国際文化論	FZJS060000L1	○	◎	○		
	心理学	FZJS100000L1	○	◎	○		
	法学（日本国憲法を含む）	FZJS050000L1	◎	◎	○		
	社会学	FZJS080000L1	○	◎	○		
	教育学	FZJS090000L1	○	◎	○		
	政治学	FZJS060000L1	○	◎	○		
	経済学	FZJS070000L1	○	◎	○		
	数学	FZJS110000L1	○	◎	○		
	物理学	FZJS130000L1	○	◎	○		
	化学	FZJS320000L1	○	◎	○		
	生物学	FZJS450000L1	○	◎	○		
	環境科学論	FZJS170000L1	○	◎	○		
	情報科学	FZJS600000L1	○	◎	○		
	体育講義	FZJS590000L1	○	◎	○		
	英語コミュニケーションⅠ	FZJS021000S1	○			○	◎
	英語コミュニケーションⅡ	FZJS021000S1	○			○	◎
	英語コミュニケーションⅢ	FZJS021000S2	○			○	◎
	英語コミュニケーションⅣ	FZJS021000S2	○			○	◎
	情報リテラシーⅠ	FZJS090700S1	○			○	◎
	情報リテラシーⅡ	FZJS090700S1	○			○	◎
	体育実技A	FZJS590000P1	○			○	◎
	体育実技B	FZJS590000P1	○			○	◎
	ドイツ語Ⅰa	FZJS021000S1	○			○	◎
	ドイツ語Ⅰb	FZJS021000S1	○			○	◎
	ドイツ語Ⅱa	FZJS021000S2	○			○	◎
	ドイツ語Ⅱb	FZJS021000S2	○			○	◎
	フランス語Ⅰa	FZJS021000S1	○			○	◎
	フランス語Ⅰb	FZJS021000S1	○			○	◎
	フランス語Ⅱa	FZJS021000S2	○			○	◎
	フランス語Ⅱb	FZJS021000S2	○			○	◎
	中国語Ⅰa	FZJS021000S1	○			○	◎
	中国語Ⅰb	FZJS021000S1	○			○	◎
	中国語Ⅱa	FZJS021000S2	○			○	◎
	中国語Ⅱb	FZJS021000S2	○			○	◎
学部共通科目	健康プロデュース概論	FPHN590013L1	○	○	○		
	健康プロデュース展開論	FPHN590013L1			○	○	○
	健康プロデュース活動演習	FPHN590013S1			○	○	○
	健康プロデュースインターンシップ	FPHN590023S3			○	○	○
	いのちの科学と倫理	FPHN010103L1	○	○	△		
	総合科目A	FPHN590003L1	○			○	○
	総合科目B	FPHN590003L1	○			○	○

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
専門基礎科目	解剖学概論 I	FPJS480102L1	◎	○		○	
	解剖学概論 II	FPJS480102L1	◎	○		○	
	機能解剖学概論 I	FPJS480102L1	◎	○		○	
	機能解剖学概論 II	FPJS480102L2	◎	○		○	
	機能解剖学 I	FPJS480102L2	◎	○		○	
	機能解剖学 II	FPJS480102L3	○			○	◎
	生理学 I	FPJS480202L1	○		○		
	生理学 II	FPJS480202L1	○		○		
	運動生理学 I	FPJS480202L2	○		○		
	運動生理学 II	FPJS480202L2	○		○		
	病態生理学	FPJS480202L3	○		○		
	解剖生理学実習	FPJS480102P2	○			○	◎
	運動学	FPJS590202L2	◎	◎	○		
	衛生学	FPJS580302L1	◎		○		
	公衆衛生学	FPJS580302L2	◎		○		
	病理学 I	FPJS490202L2	◎		○		
	病理学 II	FPJS490202L2	◎		○		
	臨床医学 I	FPJS520102L2	○		◎	○	
	臨床医学 II	FPJS520102L2	○		◎	○	
	内科学	FPJS520102L3	○		◎	○	
	鑑別診断学	FPJS520102L3	○		◎	○	
	画像診断学	FPJS520402L3			◎	○	
	外科学概論	FPJS550102L3	○		◎	○	
	外科学各論	FPJS550102L3	○		◎	○	
	整形外科学概論	FPJS560202L3	◎	○			
	整形外科学各論	FPJS560202L3	◎	○			
	リハビリテーション医学概論	FPJS590102L3	◎	○			
	リハビリテーション医学各論	FPJS590102L3	◎	○			
	関係法規	FPJS050702L4	◎	○	△	△	
	職業倫理	FPJS580102L4	○		△	◎	
	社会保障論	FPJS070502L4	◎	○			
	医学史	FPJS580102L2	◎	○			
	生命科学 I	FPJS420302L2	◎	○	△		
	生命科学 II	FPJS420302L2	◎	○	△		
	柔道実技 1	FPJS590302P1			△	○	◎
	柔道実技 2	FPJS590302P1	○			○	◎
	柔道実技 3	FPJS590302P2			◎	○	
	柔道実技 4	FPJS590302P2	○	△	△	△	△
健 康 運 動 学	トレーニング概論	FPJS590202L1	◎	○	△		
	スポーツ心理学概論	FPJS590202L2	◎	○			
	健康発育発達論	FPJS590202L1	◎		○	○	
	トレーナー概論	FPJS590202L2			◎		
	健康運動学セミナー 1	FPJS590202L3	◎	○	△		
	健康運動学セミナー 2	FPJS590202L4	◎	○	△		
専門教育科目	柔道整復学 1 (骨折総論)	FPJS560206L1	◎			○	
	柔道整復学 2 (関節損傷総論)	FPJS560206L1	◎	○			
	柔道整復学 3 (保存療法)	FPJS560206L1	◎	○	△		
	臨床柔道整復学 1 (上肢 1)	FPJS560206L2	◎	○	△	△	
	臨床柔道整復学 2 (上肢 2)	FPJS560206L2	◎	○	○	△	○
	臨床柔道整復学 3 (上肢 3)	FPJS560206L2	◎	○			△
	臨床柔道整復学 4 (下肢 1)	FPJS560206L3	◎	○	○	○	
	臨床柔道整復学 5 (下肢 2)	FPJS560206L3	◎	○	○		
	臨床柔道整復学 6 (下肢 3)	FPJS560206L3	◎	○	△		
	臨床柔道整復学 7 (頭部・体幹)	FPJS560206L3	◎	○	△		◎
	臨床柔道整復学 8 (機器管理)	FPJS560206L1	◎	○	△		
	臨床柔道整復学 9 (鑑別・判断)	FPJS560206L3	◎	◎			
	整復総合演習 1	FPJS560206S4	◎	○	△		
	整復総合演習 2	FPJS560206S4	◎	○	△		

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)					
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>	
専門教育科目	総合演習	基礎柔道整復実技 1 (基礎固定法1)	FPJS560206P1				△	◎
		基礎柔道整復実技 2 (基礎固定法2)	FPJS560206P1	○	△			◎
		基礎柔道整復実技 3 (応用固定法)	FPJS560206P1	○	△			◎
		基礎柔道整復実技 4 (評価法 1)	FPJS560206P2	○	△			◎
		基礎柔道整復実技 5 (評価法 2)	FPJS560206P2			△	○	◎
		臨床柔道整復実技 1 (上肢 1)	FPJS560206P2			△	○	◎
		臨床柔道整復実技 2 (上肢 2)	FPJS560206P2	○	○	△	○	◎
		臨床柔道整復実技 3 (上肢 3)	FPJS560206P2	○	○	△	○	◎
		臨床柔道整復実技 4 (下肢 1)	FPJS560206P3		○	△		◎
		臨床柔道整復実技 5 (下肢 2)	FPJS560206P3		○	△		◎
		臨床柔道整復実技 6 (下肢 3)	FPJS560206P3		○	△		◎
		臨床柔道整復実技 7 (頭部・体幹)	FPJS560206P3	○	○		△	
		臨床柔道整復実技 8 (介護予防)	FPJS560206P2	○	○	△	△	△
		臨床柔道整復実技 9 (コテ・パヨンガ)	FPJS560206P3	○	○	○		○
		応用柔道整復実技 1 (臨床応用 1)	FPJS560206P4	○				◎
		応用柔道整復実技 2 (臨床応用 2)	FPJS560206P4	○				◎
		応用柔道整復実技 3 (臨床応用 3)	FPJS560206P4	○				◎
専門演習	臨床実習	臨床実習 1	FPJS520106P2	○	○	○	◎	△
		臨床実習 2	FPJS520106P3	○	○	○	◎	△
		臨床実習 3	FPJS520106P3	○	○	○	◎	△
		臨床実習 4	FPJS520106P4	○	○	○	◎	△
専門演習	専門演習	専門演習 1	FPJS520106S3	○	○	○	◎	◎
		専門演習 2	FPJS520106S3	○	○	○	◎	◎
		卒業研究 1	FPJS520106T4	○	○	○	◎	◎
		卒業研究 2	FPJS520106T4	○	○	○	◎	◎

2024年度 保健医療学部 理学療法学科 カリキュラムマップ ナンバリングコード

<◎：大いに該当する ○：該当する △：一部該当する>

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
全 学 共 通 科 目	教養セミナー	FZPT000010S1	◎	○	○	○	◎
	人間力セミナー	FZPT000010S1	○	○	○	○	◎
	キャリア開発論Ⅰ	FZPT090200L1	◎	○	○	○	○
	キャリア開発論Ⅱ	FZPT090200L2	○	○	○	○	○
	文学	FZPT020000L1	◎	○	○	○	
	哲学	FZPT010000L1	◎	○	○	○	
	歴史学	FZPT030000L1	◎	○	○	○	
	芸術学	FZPT010000L1	◎	○	○	○	
	国際文化論	FZPT060000L1	◎	○	○	○	
	心理学	FZPT100000L1	◎	○	○	○	
	法学（日本国憲法を含む）	FZPT050000L1	◎	○	○	○	
	社会学	FZPT080000L1	◎	○	○	○	
	教育学	FZPT090000L1	◎	○	○	○	
	政治学	FZPT060000L1	◎	○	○	○	
	経済学	FZPT070000L1	◎	○	○	○	
	数学	FZPT110000L1	◎	○	○	○	
	物理学	FZPT130000L1	◎	○	○	○	
	化学	FZPT320000L1	◎	○	○	○	
	生物学	FZPT450000L1	◎	○	○	○	
	環境科学論	FZPT170000L1	◎	○	○	○	
	情報科学	FZPT600000L1	◎	○	○	○	
	体育講義	FZPT590000L1	◎	○	○	○	
	英語コミュニケーションⅠ	FZPT021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーションⅡ	FZPT021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーションⅢ	FZPT021000S2	◎			○	◎
	英語コミュニケーションⅣ	FZPT021000S2	◎			○	◎
	情報リテラシーⅠ	FZPT090700S1	◎			○	◎
	情報リテラシーⅡ	FZPT090700S1	◎			○	◎
	体育実技A	FZPT590000P1	◎			○	◎
	体育実技B	FZPT590000P1	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅰa	FZPT021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅰb	FZPT021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅱa	FZPT021000S2	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅱb	FZPT021000S2	◎			○	◎
	フランス語Ⅰa	FZPT021000S1	◎			○	◎
	フランス語Ⅰb	FZPT021000S1	◎			○	◎
	フランス語Ⅱa	FZPT021000S2	◎			○	◎
	フランス語Ⅱb	FZPT021000S2	◎			○	◎
	中国語Ⅰa	FZPT021000S1	◎			○	◎
	中国語Ⅰb	FZPT021000S1	◎			○	◎
	中国語Ⅱa	FZPT021000S2	◎			○	◎
	中国語Ⅱb	FZPT021000S2	◎			○	◎
専門基礎科目	人体の構造と機能及び発達	解剖学A	FMPT480102L1	◎			
		解剖学B	FMPT480102L1	◎			
		解剖学実習A	FMPT480102P1		◎		
		解剖学実習B	FMPT480102P1		◎		
		生理学A	FMPT480202L1	◎			
		生理学B	FMPT480202L1	◎			
		生理学実習	FMPT480202P2		◎		
		運動学	FMPT901102L1	◎			
		運動学演習	FMPT901102S1		◎		
		体表解剖学演習	FMPT480102S2				◎
		痛みの病態生理学	FMPT510302L2	◎			

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
専門基礎科目	病理学	FMPT490202L2	◎				
	内科学A	FMPT520102L2	◎				
	内科学B	FMPT520102L2	◎				
	神経内科学A	FMPT520202L2	◎				
	神経内科学B	FMPT520202L2	◎				
	整形外科学	FMPT560202L2	◎				
	公衆衛生学	FMPT580202L2	◎				
	リハビリテーション医学	FMPT590102L2	◎				
	健康栄養科学	FMPT590402L2	◎				
	保健薬理学	FMPT470402L2	◎				
	小児科学	FMPT520502L2	◎				
	臨床心理学	FMPT100302L2	◎				
	現代の医療技術学	FMPT901302L2	◎				
	臨床検査学	FMPT520102L2	◎				
	老年医学	FMPT520102L2	◎				
	精神医学	FMPT520302L2	◎				
	保健医療福祉制度論	FMPT080202L1	○		◎		
	障害者スポーツ論	FMPT590202L1	○		◎		
	支援工学	FMPT901502L3	○		◎		
専門教育科目	理学療法概論	FMPT590106L1	◎				
	日常生活活動学演習	FMPT590106S2	○				◎
	基礎理学療法学演習A	FMPT590106S3	○	◎			
	基礎理学療法学演習B	FMPT590106S3	○	◎			
	基礎理学療法学特別演習A	FMPT590106S4	○	◎			
	基礎理学療法学特別演習B	FMPT590106S4	○	◎			
	理学療法管理学	FMPT580106L1			◎		
	理学療法評価学	FMPT590106L2	◎				
	理学療法評価学演習A	FMPT590106S2	○				◎
	理学療法評価学演習B	FMPT590106S2	○				◎
	理学療法評価学演習C	FMPT590106S2	○				◎
	理学療法評価学演習D	FMPT590106S2	○				◎
	運動・動作分析学演習	FMPT901106S2	○				◎
	理学療法	FMPT590106L2	◎				
	物理療法学	FMPT590106S2					
	運動療法学	FMPT590106L3	◎				
	運動器系障害理学療法学	FMPT590106L3	◎				
臨床実習	神経系障害理学療法学	FMPT590106L3	◎	○			
	循環器系障害理学療法学	FMPT590106L3	◎				
	呼吸器系障害理学療法学	FMPT590106L3	◎				○
	小児期障害理学療法学	FMPT590106L3	◎				
	義肢・装具学	FMPT901506S3	○				◎
	義肢・装具学演習A	FMPT901506S3	○				◎
	義肢・装具学演習B	FMPT901506S3	○				◎
	運動療法学演習A	FMPT590106S3		◎		○	
	運動療法学演習B	FMPT590106S4		◎			○
	理学療法学演習	FMPT590106S4		◎			
理研究療法	痛みの理学療法学	FMPT590106L2	◎				
	地域リハビリテーション学	FMPT590106S2	○		◎		
	福祉用具・生活環境論	FMPT901506S2	○		◎		
	地域医療・介護予防論	FMPT080206S2	○		◎		
臨床実習	臨床見学実習I	FMPT590106P1		△	◎	○	
	臨床見学実習II	FMPT590106P2		○	◎	△	
	臨床評価実習	FMPT590106P3		○		△	○
	臨床総合実習I	FMPT590106P3		○		△	◎
	臨床総合実習II	FMPT590106P4		○		△	◎
理研究療法	医療英語	FMPT020806S1	◎				
	理学療法研究方法論	FMPT590106S3	○			◎	
	医療統計学	FMPT600306L3	◎				
	理学療法研究演習	FMPT590106S3		○		◎	
	卒業研究	FMPT590116T4		○		△	◎

2024年度 保健医療学部 作業療法学科 カリキュラムマップ ナンバリングコード

<◎：大いに該当する ○：該当する △：一部該当する>

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
全 学 共 通 科 目	教養セミナー	FZIS000010S1	◎	○	○	○	◎
	人間力セミナー	FZIS000010S1	○	◎	○	○	◎
	キャリア開発論 I	FZIS090200L1	◎	○	○	○	◎
	キャリア開発論 II	FZIS090200L2	○	◎	○	○	◎
	文学	FZIS020000L1	◎	◎	○		
	哲学	FZIS010000L1	◎	◎	○		
	歴史学	FZIS030000L1	◎	◎	○		
	芸術学	FZIS010000L1	○	◎	○		
	国際文化論	FZIS060000L1	○	◎	○		
	心理学	FZIS100000L1	○	◎	○		
	法学（日本国憲法を含む）	FZIS050000L1	○	◎	○		
	社会学	FZIS080000L1	○	◎	○		
	教育学	FZIS090000L1	○	◎	○		
	政治学	FZIS060000L1	○	◎	○		
	経済学	FZIS070000L1	○	◎	○		
	数学	FZIS110000L1	○	◎	○		
	物理学	FZIS130000L1	○	◎	○		
	化学	FZIS320000L1	○	◎	○		
	生物学	FZIS450000L1	○	◎	○		
	環境科学論	FZIS170000L1	○	◎	○		
	情報科学	FZIS600000L1	○	◎	○		
	体育講義	FZIS590000L1	○	◎	○		
	英語コミュニケーション I	FZIS021000S1	○			○	◎
	英語コミュニケーション II	FZIS021000S1	○			○	◎
	英語コミュニケーション III	FZIS021000S2	○			○	◎
	英語コミュニケーション IV	FZIS021000S2	○			○	◎
専 門 基 础 科 目	情報リテラシー I	FZIS090700S1	○			○	◎
	情報リテラシー II	FZIS090700S1	○			○	◎
	体育実技A	FZIS590000P1	○			○	◎
	体育実技B	FZIS590000P1	○			○	◎
	ドイツ語 I a	FZIS021000S1	○			○	◎
	ドイツ語 I b	FZIS021000S1	○			○	◎
	ドイツ語 II a	FZIS021000S2	○			○	◎
	ドイツ語 II b	FZIS021000S2	○			○	◎
	フランス語 I a	FZIS021000S1	○			○	◎
	フランス語 I b	FZIS021000S1	○			○	◎
	フランス語 II a	FZIS021000S2	○			○	◎
	フランス語 II b	FZIS021000S2	○			○	◎
	中国語 I a	FZIS021000S1	○			○	◎
	中国語 I b	FZIS021000S1	○			○	◎
	中国語 II a	FZIS021000S2	○			○	◎
	中国語 II b	FZIS021000S2	○			○	◎
人 体 の 構 造 と 機 能 及 び 心 身 の 発 達	解剖学 A	FMOT480102L1	○				
	解剖学 B	FMOT480102L1	○				
	解剖学実習 A	FMOT480102P1		○			
	解剖学実習 B	FMOT480102P1		○			
	生理学 A	FMOT480202L1	○				
	生理学 B	FMOT480202L1	○				
	生理学実習	FMOT480202P2		○			
	運動学	FMOT901102L1	○				
	運動学演習	FMOT901102L1		○			
	体表解剖学演習 A	FMOT480102S2	○			△	◎
	体表解剖学演習 B	FMOT480102S3	○			△	◎
	痛みの病態生理学	FMOT510302L2	○				

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
専門基礎科目	疾患と回復過程の成り立ち	病理学	FMOT490202L2	◎			
		内科学A	FMOT490202L2	◎			
		内科学B	FMOT490202L2	◎			
		神経内科学A	FMOT520202L2	◎			
		神経内科学B	FMOT520202L2	◎			
		整形外科学	FMOT560202L2	◎			
		リハビリテーション医学	FMOT590102L2	◎			
		公衆衛生学	FMOT580202L2	◎			
		精神医学	FMOT520302L2	◎			
		健康栄養科学	FMOT590402L2	◎			
		保健薬理学	FMOT470402L2	◎			
		小児科学	FMOT520502L2	◎			
		臨床心理学	FMOT100302L2	◎			
		現代の医療技術学	FMOT901302L2	◎			
		臨床検査学	FMOT520102L2	◎			
		老年医学	FMOT520102L2	◎			
	保健医療アセスメント	障害者スポーツ論	FMOT590202L1	○	◎		
		地域ケア連携論	FMOT590102L2	○	◎		
		就労支援学	FMOT590102L3	○	◎		
		支援工学	FMOT901502L3	○	◎		
専門教育科目	療法基礎学	作業療法概論	FMOT590106L1	◎	○		
		基礎作業科学論	FMOT590106L1	◎	○		
		基礎作業科学論演習A	FMOT590106S1		○	△	◎
		基礎作業科学論演習B	FMOT590106S1		○	△	◎
	作業療法評価学	作業療法管理学	FMOT580106L4	◎			
		基礎作業療法評価学演習A	FMOT590106S1	○		△	◎
		基礎作業療法評価学演習B	FMOT590106S2	○		△	◎
		基礎作業療法評価学演習C	FMOT590106S2	○		△	◎
		基礎作業療法評価学演習D	FMOT590106S2	○		△	◎
		身体障害作業療法評価学演習A	FMOT590106S2	○			◎
	作業治療学	身体障害作業療法評価学演習B	FMOT590106S3	○			◎
		精神障害作業療法評価学演習	FMOT590106S3	○			◎
		発達障害作業療法評価学演習	FMOT590106S3	○			◎
		高齢期障害作業療法評価学演習	FMOT590106S3	○			◎
		日常生活活動論	FMOT590106L2	◎	○		
		自助具製作演習	FMOT901506S2	○			◎
専門教育科目	臨床実習	日常生活活動論演習	FMOT590106S2	○			○
		動作分析学演習A	FMOT901106S2	○			○
		動作分析学演習B	FMOT901106S3	○			○
		高次脳機能障害作業治療学	FMOT590106L3	◎	○		
		義肢装具学	FMOT901506L3	◎	○		
		スプリント製作演習	FMOT901506S3	○			◎
		福祉用具論	FMOT901506L3	◎	○		
		認知行動科学論	FMOT590106L3	◎	○		
		作業行動科学論	FMOT590106L3	◎	○		
		応用作業科学論	FMOT590106L3	◎	○		
作業療法	地域療法	身体障害作業治療学演習	FMOT590106L3	△	○		◎
		精神障害作業治療学演習	FMOT590106L3	△	○		◎
		発達障害作業治療学演習	FMOT590106L3	△	○		◎
		高齢期障害作業治療学演習	FMOT590106L3	△	○		◎
		総合作業療法学演習	FMOT590106L3	△	○		◎
		地域リハビリテーション学	FMOT080206L2	○	◎		
研究療法	臨床実習	福祉住環境論	FMOT901506S2	○	○		
		地域作業療法学	FMOT080206L3	○	◎		
		臨床見学実習	FMOT590116P1		○	◎	
		臨床評価実習	FMOT590116P2			○	○
		総合臨床評価実習	FMOT590116P3	○		○	
		臨床実習	FMOT590116P3	○		○	
研究療法	作業療法	地域作業療法実習	FMOT590116P3		○	○	
		総合臨床実習	FMOT590116P4	○		○	
		医療英語	FMOT020806S1	◎			
		作業療法研究方法論	FMOT590106L3	○	○		
		作業療法研究演習	FMOT590106S3		○		○
		卒業研究	FMOT590126S4		○		○

2024年度 社会環境学部 社会環境学科 カリキュラムマップ ナンバリングコード

<◎：大いに該当する ◯：該当する △：一部該当する>

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
全学共通科目	教養セミナー	FZSE000010S1	◎	○	○	○	◎
	人間力セミナー	FZSE000010S1	○	◎	○	○	◎
	キャリア開発論Ⅰ	FZSE090200L1	◎	○	○	○	◎
	キャリア開発論Ⅱ	FZSE090200L2	○	◎	○	○	◎
	文学	FZSE020000L1	◎	◎	○		
	哲学	FZSE010000L1	◎	◎	○		
	歴史学	FZSE030000L1	◎	◎	○		
	芸術学	FZSE010000L1	○	◎	○		
	国際文化論	FZSE060000L1	○	◎	○		
	心理学	FZSE100000L1	○	◎	○		
	法学（日本国憲法を含む）	FZSE050000L1	◎	◎	○		
	社会学	FZSE080000L1	◎	◎	○		
	教育学	FZSE090000L1	◎	◎	○		
	政治学	FZSE060000L1	○	◎	○		
	経済学	FZSE070000L1	○	◎	○		
	数学	FZSE110000L1	○	◎	○		
	物理学	FZSE130000L1	○	◎	○		
	化学	FZSE320000L1	○	◎	○		
	生物学	FZSE450000L1	○	◎	○		
	環境科学論	FZSE170000L1	○	◎	○		
	情報科学	FZSE600000L1	○	◎	○		
	体育講義	FZSE590000L1	○	◎	○		
	英語コミュニケーションⅠ	FZSE021000S1	○			○	◎
	英語コミュニケーションⅡ	FZSE021000S1	○			○	◎
	英語コミュニケーションⅢ	FZSE021000S2	○			○	◎
	英語コミュニケーションⅣ	FZSE021000S2	○			○	◎
	情報リテラシーⅠ	FZSE090700S1	○			○	◎
	情報リテラシーⅡ	FZSE090700S1	○			○	◎
	体育実技A	FZSE590000P1	○			○	◎
	体育実技B	FZSE590000P1	○			○	◎
	ドイツ語Ⅰa	FZSE021000S1	○			○	◎
	ドイツ語Ⅰb	FZSE021000S1	○			○	◎
	ドイツ語Ⅱa	FZSE021000S2	○			○	◎
	ドイツ語Ⅱb	FZSE021000S2	○			○	◎
	フランス語Ⅰa	FZSE021000S1	○			○	◎
	フランス語Ⅰb	FZSE021000S1	○			○	◎
	フランス語Ⅱa	FZSE021000S2	○			○	◎
	フランス語Ⅱb	FZSE021000S2	○			○	◎
	中国語Ⅰa	FZSE021000S1	○			○	◎
	中国語Ⅰb	FZSE021000S1	○			○	◎
	中国語Ⅱa	FZSE021000S2	○			○	◎
	中国語Ⅱb	FZSE021000S2	○			○	◎
学部共通科目	情報総合演習Ⅰ	FSSE600101S3			○		○
	情報総合演習Ⅱ	FSSE600101S3			○		○
	データベース基礎	FSSE600801S2			○		○
	Web制作基礎	FSSE620201S2			○		○
	プログラミング基礎	FSSE600501S2			○		○
	マルチメディア基礎	FSSE210201S2			○		○
	キャリア開発論Ⅲ	FZSE090201L3		△	○		○
	キャリア開発論Ⅳ	FZSE090201L3		△	○		○
専門教育科目	企業研修	FZSE090401P3		○	◎		△
	エコシステムⅠ	FSSE450405L1	○	○	◎		
	エコシステムⅡ	FSSE640405L1	○	◎	◎	○	○
	生物の系統と進化	FSSE450205L2	○	○	◎		
	統計学基礎	FSSE600305L2	○	○			◎
	自然災害	FSSE170305L1	○		○	△	
	都市計画	FSSE230305L2	○		○	△	
	環境社会学	FSSE080105L2	○	○			
	リスクの科学	FSSE250205L2	○	○	◎	○	○
	防災学概論	FSSE650205L1	○		○		
	自然体験実習	FSSE650105P1		○	○	○	◎
	社会心理学	FSSE100105L1		○	○	○	
	地域社会学Ⅰ	FSSE080105L2	○	○	○		
	地域データの分析	FSSE080105L2	○	○	○	△	◎

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
環境・自然再生コース	生命の科学Ⅰ	FSSE430307L1	◎	○	○		
	生命の科学Ⅱ	FSSE430307L2	◎	○	○		
	基礎化学実験	FSSE430207E1	△		○		◎
	地域環境論	FSSE650107L1	◎	◎	◎	○	○
	環境の化学	FSSE640107L2	◎	△	○		
	環境化学実験	FSSE640107E2	△		○		◎
	環境汚染物質と毒性	FSSE640107L2	◎	○	○		
	環境浄化技術	FSSE640207L3	◎	○	○		
	生命理解のための化学実験	FSSE430307E3	◎	○	◎		○
	物理学実験	FSSE130007E3		◎	○		
	自然エネルギーの活用	FSSE640307L3	◎	○	○		
	生物学概論	FSSE450507L1	◎	○	○	△	○
	植物の分類と形態	FSSE450307L1	◎	○	○	△	○
	動物の分類と形態	FSSE450307L1	◎	○	○	○	
	生物学実験	FSSE450407E2		○	○	◎	○
	生物と環境の調査	FSSE640407L2	◎	○	○	○	○
	環境再生の方法	FSSE640407L2	◎	○	○	○	
	ビオトープⅠ	FSSE640407L2	◎	◎	○	○	○
	ビオトープⅡ	FSSE640407L3	◎	◎	○	○	○
	地学概論	FSSE170007L1	◎		○	△	
	地学実験	FSSE170407E3	△	○			○
	水文と環境Ⅰ	FSSE040107L2	◎	○	○	○	○
	水文と環境Ⅱ	FSSE040107L2	◎	○	○	○	○
	水文学実習	FSSE040107P3	◎	○	○	○	○
	富士山巡検	FSSE170307P1	○		○	△	
	化学概論	FSSE340207L1	◎	△	○		
	物理学概論	FSSE130007L2	◎	○			
	地球物質の科学	FSSE170407L2	○	○	△		
	環境生理学	FSSE480207L2	◎	○	○		
	環境微生物学	FSSE490507L1	◎	○	○		
	分子生物学	FSSE430107L2	◎	○	○		
防災・地域安全コース	復旧・復興計画	FSSE650207L3	◎	△	○	△	
	防災人間工学	FSSE650207L3	◎	△	○	△	◎
	地理情報システム	FSSE600807L2	◎	○	○	△	○
	地震工学	FSSE220207L1	◎	○	○	○	○
	災害福祉	FSSE650207L3	◎	○	○	○	○
	災害医療システム	FSSE580807L3	◎	○	○	○	○
	防災教育実習	FSSE650207P2	◎	○	○	○	○
	災害過程論	FSSE250307L2	◎	○	○	○	○
	先端環境防災研究	FSSE650007L3	○	○	○	○	△
	防災法制度	FSSE050207L3		○		○	○
	防災行政論	FSSE060107L2	○	○	○	○	
	災害心理学	FSSE100107L3		○	○	○	○
	現代社会と安全	FSSE080107L3	○	○	○	○	○
	環境社会心理学	FSSE100107L3	○	○	○	△	○
	社会調査論	FSSE080107L2	○	○	○	△	○
総科目演習	質的調査研究	FSSE080107L3	○	○			
	地域サステナビリティ特論	FSSE390707L3	○	○	○	○	○
	環境行政論	FSSE060107L2	○	○	○	△	○
	防災社会情報論	FSSE650207L2	○	○	○	△	○
	災害の歴史と科学	FSSE650207L2	○	○	○		
	地域社会学Ⅱ	FSSE080107L2	○	○	○		
	環境防災調査法	FSSE650007L4	○	○	○	○	○
	ゼミナールⅠ	FSSE086319S3	○	○	○	○	○
	ゼミナールⅡ	FSSE086319S4	○	○	○	○	○
	卒業研究Ⅰ	FSSE086329T4	○	○	○	○	○
	卒業研究Ⅱ	FSSE086329T4	○	○	○	○	○

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
教職科目	教職概論	FSSE090108L1		◎	○	○	
	教育学概論	FSSE090108L1	◎	◎	◎		
	学校と教育の歴史	FSSE090108L2	◎		○		
	教育心理学	FSSE100208L2	◎	◎			
	学習・発達論	FSSE100208L2			○	○	○
	教育制度論	FSSE090108L2	◎	○	○		
	教育経営論	FSSE090408L2	◎	○	○		
	特別支援教育	FSSE090608L3	◎	○	○		
	教育課程編成論	FSSE090408L2	◎	◎			
	理科教育法Ⅰ	FSSE090408L2	○	◎			△
	理科教育法Ⅱ	FSSE090408L2	△	○			◎
	理科教育法Ⅲ	FSSE090408L3		○	△		◎
	理科教育法Ⅳ	FSSE090408L3		△	◎		○
	道徳教育指導論	FSSE090408L3	◎		○		
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	FSSE090108L4	○	◎	○	○	○
	教育方法・技術論	FSSE090408L2	◎		○		
	生徒・進路指導論	FSSE090408L2	◎		◎		◎
	教育相談の基礎	FSSE090408L2			○	○	○
	中等教育実習指導	FSSE090408S3	△	△	○	○	○
	中等教育実習A	FSSE090408P3	△	△	○	○	○
	中等教育実習B	FSSE090408P3	△	△	○	○	○
	教職実践演習（中・高）	FSSE090408S4	○	○	○	○	○

2024年度 保育学部 保育学科 カリキュラムマップ ナンバリングコード

<◎：大いに該当する ○：該当する △：一部該当する>

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
全 学 共 通 科 目	教養セミナー	FZEC000010S1	◎	○	○	○	◎
	人間力セミナー	FZEC000010S1	○	○	○	○	◎
	キャリア開発論Ⅰ	FZEC090200L1	◎	○	○	○	○
	キャリア開発論Ⅱ	FZEC090200L2	○	○	○	○	○
	文学	FZEC020000L1	◎	○	○		
	哲学	FZEC010000L1	◎	○	○		
	歴史学	FZEC030000L1	◎	○	○		
	芸術学	FZEC010000L1	◎	○	○		
	国際文化論	FZEC060000L1	◎	○	○		
	心理学	FZEC100000L1	◎	○	○		
	法学（日本国憲法を含む）	FZEC050000L1	◎	○	○		
	社会学	FZEC080000L1	◎	○	○		
	教育学	FZEC090000L1	◎	○	○		
	政治学	FZEC060000L1	◎	○	○		
	経済学	FZEC070000L1	◎	○	○		
	数学	FZEC110000L1	◎	○	○		
	物理学	FZEC130000L1	◎	○	○		
	化学	FZEC320000L1	◎	○	○		
	生物学	FZEC450000L1	◎	○	○		
	環境科学論	FZEC170000L1	◎	○	○		
	情報科学	FZEC600000L1	◎	○	○		
	体育講義	FZEC590000L1	◎	○	○		
	英語コミュニケーションⅠ	FZEC021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーションⅡ	FZEC021000S1	◎			○	◎
	英語コミュニケーションⅢ	FZEC021000S2	◎			○	◎
	英語コミュニケーションⅣ	FZEC021000S2	◎			○	◎
	情報リテラシーⅠ	FZEC090700S1	◎			○	◎
	情報リテラシーⅡ	FZEC090700S1	◎			○	◎
	体育実技A	FZEC590000P1	◎			○	◎
	体育実技B	FZEC590000P1	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅰa	FZEC021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅰb	FZEC021000S1	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅱa	FZEC021000S2	◎			○	◎
	ドイツ語Ⅱb	FZEC021000S2	◎			○	◎
	フランス語Ⅰa	FZEC021000S1	◎			○	◎
	フランス語Ⅰb	FZEC021000S1	◎			○	◎
	フランス語Ⅱa	FZEC021000S2	◎			○	◎
	フランス語Ⅱb	FZEC021000S2	◎			○	◎
	中国語Ⅰa	FZEC021000S1	◎			○	◎
	中国語Ⅰb	FZEC021000S1	◎			○	◎
	中国語Ⅱa	FZEC021000S2	◎			○	◎
	中国語Ⅱb	FZEC021000S2	◎			○	◎

区分	授業科目	ナンバリングコード	D P (ディプロマポリシー)				
			1<知識・理解>	2<思考・判断>	3<関心・意欲>	4<態度>	5<技能・表現>
専門教育科目	社会福祉	FCEC080106L1	◎		◎		
	子ども家庭福祉	FCEC090306L2	◎		◎		
	保育原理	FCEC090306L1	○		○	○	
	教育原理	FCEC090106L2	◎	○	○		
	教育心理学（幼稚園）	FCEC090306L2	◎				
	発達心理学	FCEC100206L1	◎	◎	◎	○	
	子どもの理解と援助	FCEC090306S2	◎	○		△	
	子ども家庭支援論	FCEC090306L3	◎	◎	◎		
	社会的養護Ⅰ	FCEC080206L2	◎		◎		
	保育内容総論Ⅰ	FCEC090306S2	◎	○	△		
	子どもの保健	FCEC090306L3	◎	○			
	子どもの健康と安全	FCEC090306S4	○	◎			
	子どもの食と栄養	FCEC090306S2	◎		◎	◎	
	家庭支援論	FCEC090306L3	◎		◎	◎	
	子ども家庭支援の心理学	FCEC090306L2	◎	◎	◎	○	
	保育内容（健康）	FCEC090306S2	◎	◎	○		
	保育内容（人間関係）	FCEC090306S2	◎	○	△		
	保育内容（環境）	FCEC090306S2	◎				○
	保育内容（言葉）	FCEC090306S2	◎	○	△		
	保育内容（音楽表現）	FCEC090306S2	○		○		○
	保育内容（造形表現）	FCEC090306S3	○		○		◎
	乳児保育論	FCEC090306L2	○	◎	○		
	乳児保育演習	FCEC090306S2		○	○		○
	障害児保育	FCEC090306S2	◎		○		○
	社会的養護Ⅱ	FCEC080206S3	○	◎	○		
	保育相談支援	FCEC090306S4	◎	◎	○		
	保育の理解と方法（音楽表現）	FCEC090306S2	◎				◎
	保育の理解と方法（身体表現）	FCEC090306S3	◎		○		△
	子どもと音楽表現	FCEC090306L2	◎				◎
	子どもと健康	FCEC090306L2	◎		○		△
	保育実習Ⅰ	FCEC090306P2	○	○	◎	◎	◎
	保育実習指導Ⅰ	FCEC090306S2	◎	○	◎	◎	○
	保育実践演習	FCEC090306S2	◎		○		○
	教職実践演習（幼稚園）	FCEC090306S3	○	○			○
	ゼミナールⅠ	FCEC090316S3	◎	○			○
	ゼミナールⅡ	FCEC090316S3	◎	○			○
	ゼミナールⅢ	FCEC090316T4	◎	○		○	
	ゼミナールⅣ	FCEC090316T4	◎	○		○	
	社会保障論	FCEC080206L3	○	◎			
	社会保障制度	FCEC080206L4	○	◎		○	
	子どもの発達論	FCEC080306L2	◎	○			
	特別なニーズ教育の基礎と方法	FCEC090606L3	◎	○			
	特別支援教育総論	FCEC090606L4	◎	○	○		○
	特別支援教育各論	FCEC090606L4	○	◎		○	○
	幼児教育評価論	FCEC090306L3	◎				○
	教育・保育課程論	FCEC090306L2	◎	○			○
	幼児理解及び教育相談の理論と方法	FCEC090306L4	◎	◎	◎		
	保育環境論	FCEC090306L4	○	○	○		
	障害児の支援の方法	FCEC090306L1	◎				○
	幼児のためのピアノ奏法Ⅰ	FCEC010706P1	◎		○		◎
	幼児のためのピアノ奏法Ⅱ	FCEC010706P2	◎		○		◎
	幼児のためのピアノ奏法Ⅲ	FCEC010706P3	◎		○		◎
	幼児のためのピアノ奏法Ⅳ	FCEC010706P4	◎		○		◎
	保育者のための音楽	FCEC090306S3	○	○			○
	幼児のための伝承音楽	FCEC090306L1	◎				○
	保育の理解と方法（表現基礎）	FCEC010706P1	○			○	○
	保育の理解と方法（造形表現）	FCEC010706S1	○		○		○
	子どもと造形表現	FCEC010706L1	○		○		○
	保育実習Ⅱ	FCEC090306P4	○	◎	◎	◎	○
	保育実習Ⅲ	FCEC090306P4	○	◎	◎	◎	○
	保育実習指導Ⅱ	FCEC090306S4	○	◎	◎	◎	○
	保育実習指導Ⅲ	FCEC090306S4	○	◎	◎	◎	○
	子どもと環境	FCEC090406L1	◎	◎		○	
	子どもと人間関係	FCEC090306L2	◎	○		△	
	子どもと言葉	FCEC090406L1	◎		○	○	
	保育者のための文章表現	FCEC090406L1	◎		○	○	
	保育者論	FCEC090306L2	○		○		○
	教育方法の理論と実践	FCEC090106L3	◎	◎			
	教育実習（幼稚園）	FCEC090306P3			◎	◎	◎
	保育者のための調査法	FCEC090306L1	◎			○	
	保育内容総論Ⅱ	FCEC090306L3	○	○	○		
	教育の制度と経営	FCEC090206L3	◎	○	○	○	○
	絵本論Ⅰ	FCEC090306L2	◎		○		○
	絵本論Ⅱ	FCEC090306L2	◎		○		○

常葉大学教養教育運営委員会規程

(令和6年6月24日制定)

(趣旨)

第1条 常葉大学の学士課程における教養教育科目的管理・運営責任を担う組織として常葉大学教養教育運営委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(目的)

第2条 大学教育において教養を学ぶことは、個々人の生涯学習を豊かにし、人生を豊かにする「学び」を導くものとして期待されている。常葉大学における教養教育は、専門分野に進む前の基礎としてだけでなく、豊かな人間性を身に付け、社会人としての資質を高め、より良い社会を築くための基盤を形成することを目的とする。

(運営委員長)

第3条 委員会に運営委員長を置く。運営委員長は、学長が指名する。

(委員会構成)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる副運営委員長及び運営委員をもって構成する。副運営委員長及び運営委員は、運営委員長が指名する。

- (1)副運営委員長
- (2)運営委員(外国語関係)
- (3)運営委員(情報関係)
- (4)運営委員(体育関係)
- (5)運営委員(キャリア関係)
- (6)運営委員(その他の科目 科目群Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)
- (7)運営委員(時間割関係)

2 人間力セミナーを除く各教養教育科目に実行委員を配置する。実行委員は、運営委員が推薦し、運営委員長が指名する。

(任期)

第5条 運営委員及び実行委員の任期は、原則2年ないし3年とする。ただし、再任を妨げない。

(業務)

第6条 運営委員の業務内容は次のとおりとする。

- (1)教養教育科目的運営に関すること
- (2)担当科目群における実行委員のとりまとめに関すること
- (3)教養教育科目の時間割に関すること
- (4)教養教育科目の非常勤講師の任用に関すること
- (5)数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの推進(自己点検・評価含む)に関すること

(6)その他 教養教育に関すること

2 実行委員の業務内容は次のとおりとする。

- (1)担当科目の時間割に関すること
- (2)担当科目の非常勤講師の任用に関すること
- (3)その他 担当科目に関すること

(事務)

第7条 委員会の事務は、教務部が行う。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、部長会の議を経て学長が行う。

(補足)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関する必要な事項は、学長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、令和6年6月24日から施行する。

附 則

この規程は、令和7年4月7日から施行する。

常葉大学教養教育運営委員会規程

(令和6年6月24日制定)

(趣旨)

第1条 常葉大学の学士課程における教養教育科目的管理・運営責任を担う組織として常葉大学教養教育運営委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(目的)

第2条 大学教育において教養を学ぶことは、個々人の生涯学習を豊かにし、人生を豊かにする「学び」を導くものとして期待されている。常葉大学における教養教育は、専門分野に進む前の基礎としてだけでなく、豊かな人間性を身に付け、社会人としての資質を高め、より良い社会を築くための基盤を形成することを目的とする。

(運営委員長)

第3条 委員会に運営委員長を置く。運営委員長は、学長が指名する。

(委員会構成)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる副運営委員長及び運営委員をもって構成する。副運営委員長及び運営委員は、運営委員長が指名する。

- (1)副運営委員長
- (2)運営委員(外国語関係)
- (3)運営委員(情報関係)
- (4)運営委員(体育関係)
- (5)運営委員(キャリア関係)
- (6)運営委員(その他の科目 科目群Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)
- (7)運営委員(時間割関係)

2 人間力セミナーを除く各教養教育科目に実行委員を配置する。実行委員は、運営委員が推薦し、運営委員長が指名する。

(任期)

第5条 運営委員及び実行委員の任期は、原則2年ないし3年とする。ただし、再任を妨げない。

(業務)

第6条 運営委員の業務内容は次のとおりとする。

- (1)教養教育科目的運営に関すること
- (2)担当科目群における実行委員のとりまとめに関すること
- (3)教養教育科目の時間割に関すること
- (4)教養教育科目の非常勤講師の任用に関すること
- (5)数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの推進(自己点検・評価含む)に関すること

(6)その他 教養教育に関すること

2 実行委員の業務内容は次のとおりとする。

- (1)担当科目の時間割に関すること
- (2)担当科目の非常勤講師の任用に関すること
- (3)その他 担当科目に関すること

(事務)

第7条 委員会の事務は、教務部が行う。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、部長会の議を経て学長が行う。

(補足)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関する必要な事項は、学長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、令和6年6月24日から施行する。

附 則

この規程は、令和7年4月7日から施行する。

大学等名	常葉大学	申請レベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	常葉大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム	申請年度	令和 7年度

取組概要

★ プログラムの目的 当該教育プログラムを通して、ICTを利用した課題解決のための基礎的素養と、数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な理解力を修得することを目的とする。

★ 身に付けられる能力

学生はファイル・フォルダ管理、情報収集・判断、ワープロの活用、メール操作、著作権・個人情報の理解を習得する。またデータ・AIの社会的影響や活用時の留意点を学び、ネットワーク上の自己防衛も理解する。さらに、表計算ソフトによるデータ分析・可視化、論理的なプレゼンテーション能力を身に付けることで実践的な情報活用力を養う。

★ 開講される科目の構成

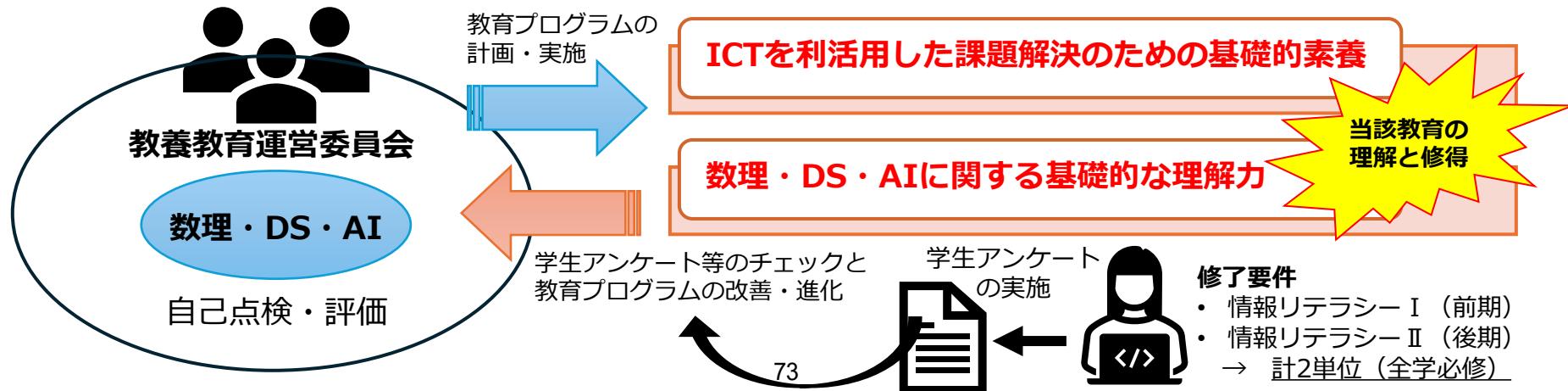
正規課程の「情報リテラシー I」（全学必修、前期1単位）と「情報リテラシー II」（全学必修、後期1単位）により構成

★ 修了要件

修了の要件は「情報リテラシー I」と「情報リテラシー II」 教養教育運営委員会により本教育プログラムを実施の2単位を履修して修得すること

★ 実施体制

教養教育運営委員会により本教育プログラムを実施



その他補足資料

- ▶ ②令和6年度のシラバス等について、**全学部でシラバスの内容を統一**している
- ▶ ④プログラムを改善・進化させるための体制（委員会・組織等）と、⑤自己点検・評価を行う体制（委員会・組織等）について、どちらの体制も「**教養教育運営委員会規程**」が該当する
- ▶ 文部科学省の事業となる「大学の数理及びデータサイエンス教育の全国展開」における協力校として採択を受けた**静岡大学と常葉大学**の間で「**常葉大学における授業動画用同意書**」を取り交わし（1年更新），数理・DS・AIに関連する**当該授業を進化させるアプローチ**を実践している